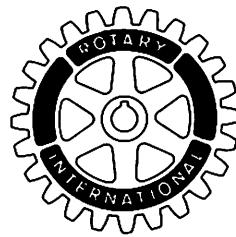


二十日の休み



1974~1984

福江ロータリークラブ



二十年の歩み

1974~1984
昭和49年~59年







当地特産のさんごで、大きく
友の輪を拡げ、ロータリーマ
ークを温く抱くようにデザイ
ンされたバナー

福江ロータリークラブ旗



認 証 状 訳 文

ここに日本、福江ロータリークラブを承認した。
このロータリークラブは正式に結成せられ、かつその役員および会員を通じ
国際ロータリーの定款ならびに細則を遵奉することを誓約することは、本証
書を受納することによって立証された。
よってここに国際ロータリーの会員たることを正式に承認せられ、かつその
会員としての権利と特典を享受するものであることを証明する。その証とし
て国際ロータリーの印章を押し、正規の権限を有するその役員がここに署名
するものである。

認 承 日 1964年5月4日
R I 会長 カール P・ミラー
事務総長 ジョージ R・ミーンズ
第370区ガバナー 嘉 村 平八

奉仕の理想を積み上げて

創立

20

授賞会長席

ROTARY CLUB
OF
FUKUE

宇高
中村
大輔
平山

▲創立20周年記念式典で挨拶する才津金人会長



▼式典会場
福江市役所会議室



20周年行事アルバム



◀来日交換学生



祝賀会の
逸見ガバナー ▶



◀会員夫人の舞踊



◀記念講演会



記念ゴルフ大会▶



◀登録



◀逸見ガバナー祝辞



野田実行委員長挨拶▶



◀故青山特別代表へ
感謝状贈呈



◀20年無欠席
池田敏郎君表彰



会員夫人による▶
太極拳



◀記念ゴルフ



◀手に手つないで



◀中村(繁)記念行事
委員長挨拶

発刊にあたって

創立20周年記念誌編纂委員長

宇 本 功

昭和39年3月12日発足しました福江ロータリークラブは本年創立20周年を迎えました。その記念行事の一環として記念誌発刊が企画され不肖私が編纂委員長という大任を仰せ付かりました。創立10周年には野田久雄君が「10年の歩み」を発刊され、さらに15周年には私が編纂の任にあたりましたが、その15周年記念誌の編集後記に「来る20周年の記念誌の資料の一部になるものであり云々」と記述を載せたゆきがかりからこの大役を再度仰せつかつたものと存じます。

編纂の方針としては10周年記念誌を基盤としてその上に後10ヶ年の主要行事、各委員会の奉仕活動を洩れなく登載するよう努め、予算の許す範囲でより多くの写真を収め、楽しくそしてしみ易い内容にしたいと心がけました。尚、創立以来の10年間は「思いでのアルバム」という含みを持たせて10周年記念誌から写真を再度掲載しました。

内容は私の非力なため不満足なものに終止しましたが、こゝに編集が終って皆様方のお手元へお届けできることは、編纂委員は勿論のこと才津金人会長はじめ会員の皆様方、歴代会長の絶大なご協力とご支援の賜物と厚くお礼を申しあげますと共に歴代記録保存委員会の皆様方のご努力に敬意を表します。

尚30年、50年と福江ロータリークラブの力強い歩みは永遠に続き輝かしい歴史は刻まれてゆきます。

福江ロータリークラブの益々のご発展を心から祈念しながら発刊の言葉といたします。

目 次

福江市街地を望む

福江ロータリークラブバナー並びにクラブ旗

認 証 状

20周年記念アルバム

発刊にあたって	創立20周年記念誌編纂委員長 宇本 功	功
福江ロータリークラブ概況		1	
福江ロータリークラブ創立20周年記念式典		3	
式 辞	福江ロータリークラブ会長 才津金人	才津金人	5
祝 辞	国際ロータリー第274地区ガバナー 逸見嘉彦	逸見嘉彦	7
	長崎県知事 高田 勇	高田 勇	9
	福江市長 西野 稔	西野 稔	10
	福江中央ロータリークラブ会長 平山 浩三	平山 浩三	12
20周年記念事業報告	記念事業委員長 嵩 則雄	嵩 則雄	13
記念式典ご来賓及び参加クラブ		15	
20周年記念行事実行委員会構成		16	
創立20周年記念講演会			
「霞ヶ関ビルから東京ディズニーランドまで」	三井不動産会長 江戸英雄先生	江戸英雄先生	17
各年度 役員・理事構成及主要行事			
昭和49年～59年（1974～1984）		22	
委員会活動の記録			
昭和49年～59年（1974～1984）		44	
職業奉仕委員会		45	
社会奉仕委員会		47	
国際奉仕委員会		53	
青少年奉仕委員会		55	
クラブ奉仕委員会		58	
出席委員会		60	
親睦委員会		62	
プログラム委員会		66	
雑誌会報委員会		70	
会員増強委員会		71	
会員選考委員会		72	

職業分類委員会	73
ロータリー情報委員会	74
広報委員会	75
記録・保存委員会	76
S・A・A	76
会 計	77
ロータリー財団	78
ロータリー桜	79
鬼 岳 桜 園	80
福江ローターアクトクラブ	81
歴代会長の思い出	
歳月20周年を省みて「あれこれ」	清瀧 實雄 82
あのときあのころ	伊達仲一 83
激動する社会とロータリー	野田久雄 84
幹事のころ	中村繁春 85
20年をかえりみて	嵩則雄 86
年齢とロータリー	山下弥太郎 87
会長時代を振り返って	宇本功 88
公式訪問 二つの想い出	池田敏郎 89
会長時代の想い出	堀本一造 90
想い出 委員会構成	中村和正 91
帰らざる会員	青山岩夫 92
ロータリー友情に支えられて	西津繁矢 93
19年目の思い出	山下昇 94
新世紀を目指して	才津金人 95
物故会員名簿	96
創立当時の思い出座談会	97
想い出のアルバム	102
各年度 会員役職一覧表	113
会員プロフィール	121
福江ロータリークラブ会員名簿	135
編集後記	137

福江ロータリークラブ概況

創立	1964年3月12日 (昭和39年)
R I 承認	1964年5月4日 (昭和39年)
地域	福江島一円 (福江市、富江町、岐宿町、三井楽町、玉之浦町)
事務所	福江市末広町8-4 福江工商会議所内
例会場	福江市中央町7 観光ビル はたなか
例会曜日	金曜日 (12時30分から)
チャーターメンバー	27名 (現在11名)
現在会員数	52名
創立時ガバナー	嘉村 平八
スポンサークラブ	長崎北ロータリークラブ
特別代表	青山 武雄
ロータリー財団寄附額	累計26,930.20ドル 5.100% (1984.5.31)
ポールハリスフェロー	21名
準フェロー	4名
米山功労者	1名
ロータークト	福江ロータークトクラブ
創立	昭和46年6月18日
現在会員数	23名 (男子11名、女子12名)
福江中央ロータリークラブ	
創立	昭和50年5月6日
スポンサークラブ	福江ロータリークラブ
特別代表	野田 久雄

ク ラ ブ 受 賞

1 9 6 9 ~ 1 9 7 0

年次大会で出席優秀クラブとして受賞。

1 9 7 4 ~ 1 9 7 5

年次大会でロータリー財団から 370地区で増加率 1位優秀クラブとして受賞。

1 9 7 5 ~ 1 9 7 6

ロータリー財団から 1.300%の感謝記念楯を受賞。

1 9 7 6 ~ 1 9 7 7

1 9 7 7 ~ 1 9 7 8

1 9 7 9 ~ 1 9 8 0

年次大会でロータリー財団寄附優秀クラブとして受賞。

1 9 7 9 年 1 2月 「社会を明るくする運動」 の協力に対し法務大臣から受賞。

1 9 8 0 ~ 1 9 8 1

1 9 8 1 ~ 1 9 8 2

1 9 8 2 ~ 1 9 8 3

年次大会でロータリー財団から寄附優秀クラブとして受賞。

1 9 8 3 ~ 1 9 8 4

年次大会で会員増強第 6位で受賞。

(1984. 5. 25現在)

福江ロータリークラブ

創立20周年記念式典

昭和59年5月27日

会場 福江市役所三階会議室

司会・幹事 牟田宣昭

12:30 式典開始

点鐘 会長 才津金人

開式の辞 實行委員長 野田久雄

国歌斉唱

ロータリーソング(奉仕の理想)斉唱

黙とう(物故者に対して)

来賓紹介 会長 才津金人

参加クラブ紹介 会長 才津金人

会長挨拶 才津金人

祝辞

第274地区ガバナー 逸見嘉彦

長崎県知事 高田勇

福江市長 西野稔

福江中央R.C会長 平山浩三

感謝状贈呈 会長 才津金人

故特別代表 青山武雄夫人 とし子

表彰状贈呈 会長 才津金人

無欠席者 20年無欠席会員 池田敏郎

15年以上無欠席会員

山下弥太郎、青山岩夫、中村和正

歴代会長

清瀧実雄、伊達仲一、野田久雄、中村繁春、

嵩則雄、山下弥太郎、宇本功、池田敏郎、

堀本一造、中村和正、青山岩夫、西津繁矢、

山下昇

記念品贈呈 会長 才津金人

逸見ガバナー、村上第6分区代理

祝電披露 記念誌編纂委員長 宇本功

20周年記念行事報告

記念事業委員長 嵩則雄

閉式の辞 副会長 平山禎己
14:00 点鐘 会長才津金人

祝賀会

会場 大波止ホテル

司会・親睦委員長 北島千代福
14:30 開会の辞 会長才津金人
乾 杯 県議会議長 虎島和夫
余 興
御 祝儀 「青海波」 若柳幸之助
太 極 拳 山下益子外会員夫人
舞 踊 ロータリー会員夫人
（才津重子、中村玲子）
向原智津子
舞 踊 「黒田節」 藤間朋久仁
ロータリーソング（手に手つないで）
万歳三唱 逸見ガバナー
閉会の辞 記念行事委員長 中村繁春

記念ゴルフ大会

○と き 5月26日(土) 13:00スタート
○と こ ろ 五島カントリークラブ
○競技方法 18ホールズ、ストロークプレー
オフィシャルハンダー

記念講演会

○と き 5月19日(土) 14:00
○と こ ろ 福江市役所三階会議室
○講 師 三井不動産会長 江戸英雄先生
○演 題 「霞ヶ関ビルから東京ディズニーランドまで」



式　　辞

福江ロータリークラブ

会長 才津金人

本日ここに福江ロータリークラブ創立20周年記念式典を挙行するにあたり、公私共に御多用の折にもかかわらず、国際ロータリー第274地区逸見ガバナーを始め、御来賓各位の御臨席を賜わり、まことに光栄に存じます。

当クラブは27名のチャーターメンバーにより創立され、昭和39年5月、国際ロータリーに加盟承認、ここに満20年を迎えた次第でございます。長崎北ロータリークラブの故青山武雄氏が特別代表として、当クラブ結成に多大な御尽力を賜わり、更に創立時のクラブ運営には、スポンサークラブ幹事として脇山氏には万般に亘り御指導と御援助をいただきました。謹んで御礼を申し上げる次第でございます。本日こゝに使用致して居ります卓話台は、創立記念としてスポンサークラブより贈られた20年の歴史のあるものでございます。

かえりみますと、ロータリーの理念などよく理解出来ぬまゝ、試行錯誤しながら当時の役員理事の方々の不断の努力により今日20年の伝統をもつクラブに成長発展出来ました事は、まことに感無量であり、ひとえに歴代ガバナーの懇切なる御指導と地域関係団体の皆様の御協力によるものであり、深甚なる謝意と敬意を表するものであります。

20年にしてクラブ会員も2倍に増強され地域に密着した活力あるロータリークラブを目指し微力ではありましたが相応の奉仕活動を推進して参り

ました。なかでも昭和46年度に、次代をになう青年諸君に、奉仕の精神を育むべくローターアクトクラブの創立と、昭和50年には同地域に複数クラブ設立の制度が出来ると同時に、スポンサークラブとして福江中央R・Cの結成を支援致して参りました。また空港道路へ桜の植樹の実施、更に創立10周年には国立公園の一角に鬼岳桜園の造成をし今日市民の皆さんに憩いの場として広く利用されております。

20周年記念事業といたしましては、一つは三井グループリーダーの江戸英雄氏のご好意による記念講演会を実施致しました。21世紀の五島発展には、民間の活力が必須であり何らかの形で中央から御力添えが得られる事を期待致して居る所でございます。二つは、ソーラーシステムによる太陽電池時計を市内4ヶ所の公園に設置致しましたので後ほど福江市に寄贈する事になって居ります。また昨日は、親睦を深め、友情の輪を更に広める意味で記念ゴルフコンペを開催致しました。盛況裡に終了致しました事を御報告申し上げます。

さて、本日の記念式典に色どりを添えるかの様に海外の学生諸君が出席されております。ロータリー財団活動の一つであります交換学生の諸君であります。中央クラブとの共催により2泊3日の旅行に当地にお招きしたのでございます。ロータリーが、国際的な組織であり、世界理解と平和に

寄与出来る独自の力をもっている事がよく解ります。

来て見ればさしたる事もなし20年と云う感がしないでも有りませんが、創立の時生れた赤ちゃんが、今年成人式である事を考えます時に、やはりこの20年の軌跡は貴重なものであり、誇れるものであると存する次第でございます。

会員一同これを契機に、会員相互の親睦を深め一枚岩となりクラブ活動の活性化に努め、華麗なる脱皮を試み乍ら、地域社会の発展に貢献致したいと思います。最後になりましたが、会員夫人の皆様のロータリーに対する御協力と御理解に敬意を表し御礼を申し上げ式辞と致します。



祝　　辞

国際ロータリー第274地区ガバナー

逸見嘉彦

昨年9月、ガバナーとして福江R Cを公式訪問させていたゞいた折に、どんなことがあっても来年5月の20周年には再度福江に来て貰わねばならぬと固い鎖をかけられてしまいました。その後私も楽しく出席出来るようにと自重自戒致しまして又こうして元気で参ることが出来ました。

心から20周年をお慶び申し上げます。

私は公式訪問で非常に印象を受けたのであります、福江クラブというの、五島の人というの、五島人は永い伝統と歴史のなかに培かわれた誇を持っており、福江は五島の中心の都市であるそこで生活しているんな仕事をしている私達という非常にクラブの皆様が誇と言いますか自信といいますか、或る意味で哲学を持たれているクラブと思います。

昨日私は国際ロータリーの本部に一年間ガバナーをやって報告書を書きましたが、沢山の項目があります。そのなかに、ガバナーとして一年やってみて、ロータリーはどういうふうに指導すべきか感想を書けというのがあります。私はロータリーは先づ楽しくやらなくてはならん、自分達の生活のオアシスにならねばならぬ、楽しいクラブでなければならぬ。そして余り規則の小さなことに眼角をたてないでガバナーはロータリー哲学を反復して皆さんと一緒に勉強し、語り合う、それがガバナーとしてこれからもやって行かねばならぬ

事だと私は思うと書いて出しました。

今後技術革命と情報化社会はどんどん押しよせて来ます。コンピューターの時代になります。マイコンとかパソコンを持って余り会社に行かず自宅にコンピューターを置いてテレビに写し出して会議が出来る、子供の教育でもなんでも電話回線は光ファイバーで6,000回線も入って、いろんな種類の電話がつきますから、何でも知りたいことがあったらテレビモニターで言えば百科辞典のようになって来ます。大変な時代が来ます。

お祝の席で話がそれますが、例えば夫婦の結婚という問題でも、人造人間がまもなく精密なのが出来てセンサーを付けてあらゆる感度で体も相手の感情によってキャッチして或程度それに答えるという、だから性生活も単身赴任者にはダッチャウイフの素晴らしいのが出来る。これから子孫繁栄の為に子供をつくらなければならないが、そういうものも、素晴らしい運動選手、唄のすごくうまい人とか、数学のすごくきれる人とか、素晴らしいプロポーションと顔を持った人とか、そういう人達の受精卵を冷凍して数十年も受精卵バンクに保存出来るのです。そして思いのまゝ優秀な遺伝子をもった卵を譲りうけ自分のお腹に着床させて出産することが出来る様になります。ロボット人間で性生活は満足させて子供は素晴らしいものを持って来て人工的に自分のお腹で育てることが出

来るようになったら結婚の意義はどこにあるか。コンピューター的な考えではこれで事足りるのでですが、我々夫婦というものが何十年もこの世の中で今でも地球上に40～50億もいる人間の中から二人が選ばれて20年も40年も生活を共にして努力してやって来ている、そのなかのコンピューターで出せない人間としての良さ、人世を生きてきた夫婦の意義といいますか、それから子供を生んで、そして親子のいろいろの交流があって、そうして大きくなつてゆく親子関係、そういうものゝいかに人間が生きてゆく上での価値があるかどうかということはコンピューター科学では計り知ることは出来ません。これが私は哲学だと思います。コンピューターでは最短の効果のあるものは出せます。しかし、こゝでちょっと効果は薄れるけれども道草をすると、さーといった時に得られない人世の得がたい素晴らしいものがあると、ちょっと道草しようではないか、これが哲学だと思います。

ほんとにこれから子供はそういったコンピューターの社会、技術革新、情報社会に生きてゆける様な教育を小さい時から受けていますね。学校で今の子供は○×式は素晴らしい才能を持っているが、こういう問題について記述せよというと全然だめですね。

ロータリーというのは私は決して寄附団体とか慈善団体ではないと思います。たんなる奉仕団体でもないと思います。ロータリーの一番大変な仕事、メダマの仕事は人づくり、地域のなかにこれから21世紀をせおってゆく、そういう人をつくつてゆく、その人づくりの中に一つどうかロータリーはコンピューター的なものでなくて、哲学、これからは頭のいゝ人はコンピューターが代わるのですから、今迄の成長社会では知能指数の高い人が必要であったが、これからは倫理指数、哲学指数の高い人が必要で、そういうものを持った人がこれからリーダーになってゆくわけです。どうか若い青少年の人づくり奉仕活動に我々もロータリー哲学を勉強して、哲学というのは難かしいのではないですね。自分の体験した人生の歩んでいる中で思索しないと哲学は生れて来ない、体験且つ思索、どうかひとつロータリアンというのは哲学をもった人の集団である、そしてその哲学を背景

にして地域社会に奉仕してゆく、そういうロータリーでありたいと思います。

今後益々福江RCのロータリアンとして地域からほんとうに望まれるロータリークラブをつくりて戴きますよう念願しまして私のお祝の言葉にかえさせていただきます。



祝　　辞

長崎県知事

高田　勇

福江ロータリークラブが、創立20周年を迎えるにあたり、一言お祝のことばを申し上げます。

皆様には、平素県政の推進につきましてひとかたならぬ御支援、御協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

福江ロータリークラブは、東京オリンピックが開催された昭和39年に、呱々の声をあげられましたが、当時はわが国の高度経済成長も軌道に乗り、わが国も国際社会の一員として認められた時期がありました。

一方、福江市では、37年の福江大火の復興に立ちあがり、近代都市への脱皮を図ろうとしていた頃でもあったのでございます。

このような折、職業を通じて社会に奉仕しようとのロータリー精神のもとに、27名のチャーターメンバーで、福江ロータリークラブを結成されたように伺っております。

当時の会員の皆様方の心意気が偲ばれ、感銘深いものを覚えるのは、ひとり私だけではあります。

今や20年の歳月は流れ、福江ロータリークラブは大きく発展いたしました。皆様方が青少年育成のためのローターアクトの結成や福江空港道路沿線の桜並木の植樹、桜園の造成、更には老人福祉施設の支援など数々の奉仕活動を続けられ、明る

い地域社会の建設、社会福祉の増進に貢献されましたことに、深く敬意を表します。

ロータリークラブは、1905年にアメリカで生まれ、その後カナダ、イギリス、日本へと拡大伸長し、今日の隆盛をみるにいたっております。このことは、ロータリー活動がつねに社会情勢の変化に即応しながら、新しい課題に取り組んできた結果によるものと存じます。

今日、人々の価値観が、物質的な豊かさから精神的な充実を求めるとする風潮の中で個人生活社会生活を通じて、社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕に努められるロータリアンの奉仕活動こそ、私どもが培っていかなければならないことであると考えます。

私も県政を進めるうえで、活力のあるふるさと、心のふれあう社会の実現を目指し、自主的、創造的なふれあいのあるまちづくり運動を進め、社会参加への促進を図っているところでございます。

皆様には、20周年を契機に、一層奉仕の誠を尽くされ、地域社会の生活、文化、福祉、青少年の育成に寄与されますようお願い申し上げます。

終わりに、福江ロータリークラブのますますの御発展と、皆様方の御健勝、御多幸をお祈りいたしまして、お祝のことばといたします。



祝　　辞

福江市長

西野　　稔

一言お祝の言葉を申し上げます。本日福江ロータリークラブの創立20周年記念式典が逸見ガバナーをはじめ県内各地区のロータリーの代表の方々、更には多くの御来賓の方々の御出席のもとに盛大に挙行されますことを心からお祝申し上げます。

ロータリークラブの皆様方には人類の平和と自由のために世界のロータリアンの皆様と共に相携えて献身的な奉仕活動を続けておられ、地域社会のために多大の貢献をされておられることに対してまして深甚なる敬意と感謝を致している次第でございます。

福江ロータリークラブは創立以来20周年を迎えたわけで御座いますが、今まで歴代会長さんをはじめ会員の皆様方の弛まぬ御努力によりまして順調に発展をとげて来られました。誠に喜びにたえないところで御座います。その間残された御功績は数多く、先程会長さんの御挨拶にもございましたように、空港道路沿線の桜並木、鬼岳公園の桜園の造成など、今日では見事に成長致しまして観光客をはじめ多くの方に喜ばれておるので御座います。その他福祉施設に対する奉仕活動等クラブ創立以来積極的に活動に参画され、又、本年度はクラブ創立20周年を記念致しまして福江中央公園をはじめ市内4ヶ所の公園に立派な太陽電池時計を設置して戴く等幅広い活動を続けておられます。このような会員の皆様のロータリー精神に

もとづいた熱意と実行力に対し衷心より厚く御礼申し上げる次第でございます。

御承知の通り、今日わが国は景気の低迷からいくぶん上向きの兆がみえたというものゝ依然として情勢はきびしく、貿易摩擦、行政改革、更には高令化社会への急速な移行、特に離島におきましてその傾向は強いわけで御座いまして極めて困難な課題が山積をしておるわけで御座います。この様な情勢のもとでわたくしどもは、市政の発展を願い、ふれ合いと潤いのある豊かな町づくりを目指しまして市民との対話と協調を基本理念しながら五島の中核都市として文化的な町づくりに努力を致している様な次第でございます。特に御承知のように本年は福江市市制施行30周年に当たります。これを一つの節目としてより着実な進展をはかるため、御承知のように文化会館の建設も着々と進んでおります。来年3月には完成の予定でございます。完成の暁には文化芸術の殿堂として広く五島の島民の皆様のためにお役に立てゝいたゞけるものと信じております。これまでの物優先の風潮から人間尊重、豊かな町づくりを目指しているところで御座いまして、この様な時だけにロータリークラブの奉仕の理念が大切であり皆様方によせる期待も大きいのでございます。

どうか本日の20周年記念を契機に福江ロータリークラブが更に飛躍的な発展をされ、明るく豊かな

郷土の建設と文化の薫り高いふるさとづくりにい
つそうの御尽力を賜わりますようお願い申し上げ
る次第で御座います。

終わりに福江ロータリークラブの益々の御発展
と会員皆様方の今後の御健勝と御多幸を祈念致し
まして祝辞と致します。



祝　　辞

福江中央ロータリークラブ

会長　平山　浩三

本日は福江ロータリークラブの創立20周年記念式典にお招きを頂きまして有難うございました。その上に祝辞を述べる機会まで与えて頂きまして、誠に光栄に存じます。

10年1昔と言いますが、20年と云う長い歳月に亘って歩いてこられました福江ロータリークラブの足跡は、坂の上の桜並木、鬼岳の桜園、大波止の時計台など、枚挙にいとまはありませんが、それにもまして私達福江中央ロータリークラブにとって忘れられないのは、全国に先駆けて福江市に2階建て方式として福江中央ロータリークラブを創設したことでございます。言うなれば私達福江中央ロータリークラブの産みの親であり本家でございます。それだけに本日の祝賀は誰よりも私達福江中央ロータリークラブにとっては慶賀の至りであり、快哉を禁じ得ません。誠におめでとうございます。

人生は有限ですが、奉仕は限りなく平和の旗持ちとして、その道を歩くことの大切さと、深遠さを今更ながらしみじみと受けとめていますが、それだけに20年間の奉仕の険しい道程が手にとるように解ります。改めてその御苦労に謝意を表し、偉大なるご功績を贊えたいと思います。

20年と言えば人間で申しますと成人式でございます。福江ロータリークラブも成人を迎えたのでございますが、現状に留まることは後退を意味

すると言う言葉がございます。これを機会に今後さらに20年のキャリアを生かして私達のためにも先輩として範を示して下さるよう祈らずにはおられません。甚だ粗辞ではございましたが最後に福江ロータリークラブのご功績を贊え今後益々のご発展を祈念致しまして祝辞と致します。

20周年記念事業報告

記念事業委員長 嵩 則 雄

記念事業委員をご紹介致します。堀本君、久米君、池田忠志君、川口君と私です。

昨年特別委員会で、記念事業費として200万円の予算が決まりました。

早速当委員会は記念事業として地域に何が相応しいかを検討するため、各委員で分担して調査を致しました。

本年2月、各委員から調査資料が集まりましたので特別委員会に提出協議致しました。資料の内容は救急車あり、記念植樹、図書寄贈、公園施設、時計塔がありました。最終的には青少年の健全育成のため、時間を守りながら、スポーツや遊びを楽しめるのに大いに役立つようにとの趣旨で太陽電池時計塔を寄贈することに決定しました。

早速時計の選定にかかり、会員が経営する青山電機商会に依頼しました。最初は予算内で四ヶ所に設置是不可能でしたが、青山君のご好意と奉仕により中央公園、外濠公園、東公園、末広公園の四ヶ所に去る4月25日設置致しました。本席から青山君のご高配に深甚の敬意を表します。

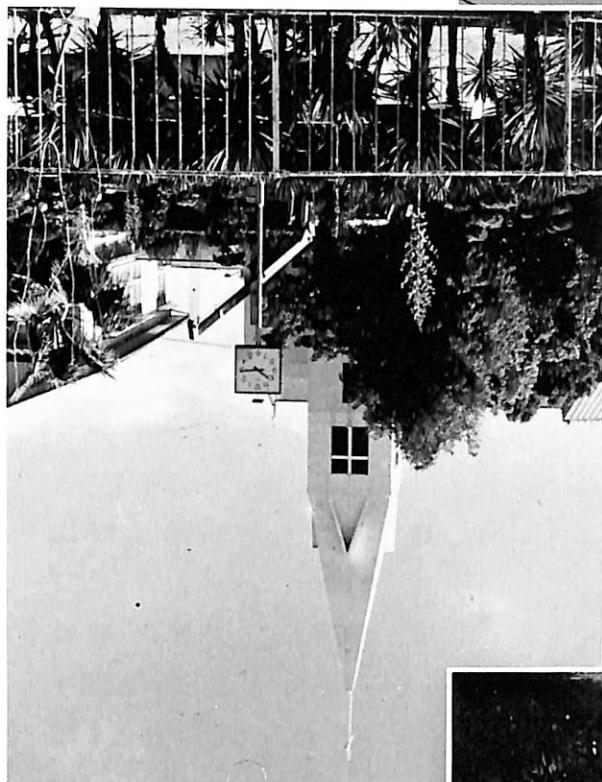
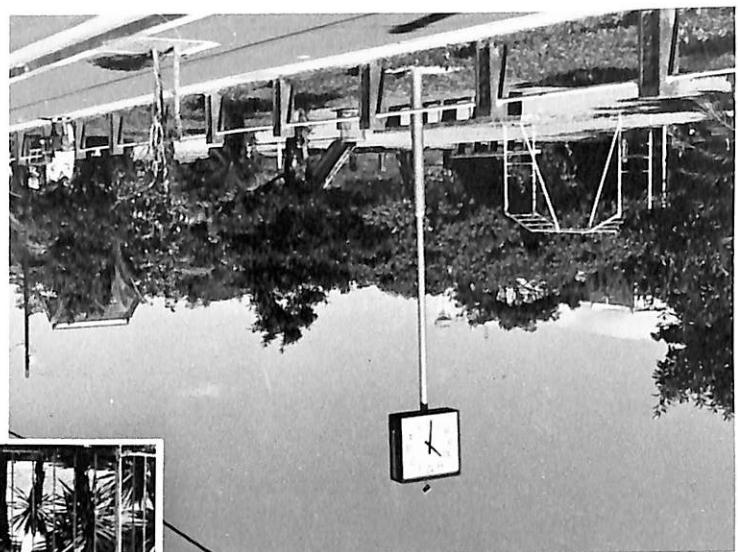
太陽電池時計の内容を簡単にご説明致します。本器はナショナル電気製品です。時計だけで時価49万円です。外型はポールの高さ4メートル、時計の文字盤は80種四角型で両面表示あります。特長として太陽エネルギーを電気エネルギーに変えて正確な時を刻みます。曇天、雨天が40日間続いても大丈夫です。ラジオの時報により1日2回時刻の修正を行います。（NHK第一放送の周波数に合せてある）時計は水晶時計で水晶発振周波回路を作動させ時計信号を発生させます。

設置以来約1ヶ月間委員による調査では正確に時を刻んでおります。

本日こゝに福江市長さんをお招きして贈呈の運びとなりました。

福江ロータリークラブ創立20周年記念事業として、奉仕のシンボルとして、太陽電池時計が地域の皆さんから愛用され、長く時を刻んでほしいと希いながら記念事業報告を終ります。





記念式典ご来賓及び参加クラブ

(敬称略)

国際ロータリー 第274地区ガバナー	逸見嘉彦	福江警察署長	円能寺 健
長崎県知事	高田 勇	福江税務署長	北島 喜一
福江市長	西野 稔	福江商工会議所会頭	今村 伊之次
福江中央RC会長	平山 浩三	九州商船福江支店長	太田 鶴来
特別代表夫人	青山 とし子	福江青年会議所理事長	井本 永錫
第6分区代理	村上 明	朝日新聞社	梶山 了
次期第6分区代理	黒崎 明	長崎新聞社	小川 完二
県議会議長	虎島 和夫	五島新聞社	椿山 公
五島支庁長	大塚 久治	福江RAC会長	卯田 達也
市議会議長	平山 源司	福江RAC幹事	田中典子

佐世保南RC 3名	大村北RC 4名	福江中央RC 45名
佐世保RC 1名	大村RC 2名	福江RC 52名
長崎北RC 1名	島原RC 2名	福江RC夫人 33名
長崎北東RC 1名	生月RC 4名	来日交換学生 5名
東長崎RC 3名		
諫早RC 2名		
諫早北RC 2名		

(総参加数 177名)

20周年記念行事実行委員会構成

総務企画委員会

委員長 野田久雄
委員 中村和正・山田和嘉・塙塙昭雄
貞方利夫・平山徳一・藤田七郎
安永克己・的野圭志

記念事業委員会

委員長 嵩則雄
委員 堀本一造・川口博正・久米哲彦
池田忠志

記念行事委員会

委員長 中村繁春
委員 才津卯喜男・北島千代福・山田和嘉
川口博正・江川京次

記念誌編纂委員会

委員長 宇本功
委員 平山禎己・才津圭策・山田和嘉
井上晃・福島義範・平山徳一
的野圭志



創立20周年記念講演会

「霞ヶ関ビルから

東京ディズニーランドまで」

三井不動産会長

江戸 英雄 先生

(要旨)

三井と言えば戦前では三菱、住友と並んで日本の三大財閥の一つでしたが戦後解体されました。私は三井合名、つづいて三井本社、さらに財閥が解体になり第二会社の三井不動産に入り今日に至っております。

五島には松園ヤクルト社長から紹介されて昨年はじめて参りました島内をくまなく歩きましたが、なかでも遣唐使の遺跡は特に考え深く拝見しましたが日本の文化はこゝから入って来たのかと感無量でございました。それから道路が非常に整備されており、日本のさい果ての地にこんなにもと公共施設が整備され風光明媚の自然に感銘を受けました。

本日は松園さん、福江ロータリーの会長さんの紹介で講演する機会を得たのでありますが先ほど御紹介のありましたように私は89才と9ヶ月になります。三井に入社した昭和のはじめは日本は金融恐慌で、現在石油オイルショック以来世界的に不況と言われますが、とてもとても比較にならぬ程の不景気のどん底がありました。特に農村の不景気はきびしく働いても食べてゆけません。東北地方では娘を売って生活を凌ぐという悲惨な状態が続出しました。この様な窮乏状態の中で革命気運が醸成されました。昭和7年には血盟団が結成され政治家、財閥の大物を倒して血祭にしようと

いうことで、2月には井上日銀総裁が殺され、3月7日には三井の総大将の田琢磨さんがやられたのであります。当時私は三井合名の文書課にいて現場に遭遇しました。更に5.15事件がおこり犬養首相が殺害され、遂に2.26事件が勃発したのであります。それから昭和12年には日支事変、昭和16年には太平洋戦争に突入して遂に日本は完敗したのであります。私は8月15日の敗戦のご詔勅の後、自転車で家に帰る途中、焼野ヶ原に立ってつくづく考えたのですが、これは日本の歴史の最悪の瞬間である。しかし日本は立ち上がらなければならん、立ち上がらせねばならん。それには戦前の倍も3倍も働くねばならん。俺はこれを実践しようと誓いまして、そのとおりやって来たつもりでございます。当時四つの島に7千万人の人が閉じこめられたのですが、日本人は優秀な民族であり勤勉であります。約10年にして立ち直ったのであります。その後昭和30年代の世界最高の高度成長を遂げ昭和48年のオイルショック迄続いた。石油ショックにより石油資源を殆んど持たない日本は大打撃を受けたのですが、世界的にみますと非常に巧みに対処して、今では世界の各国の中で米国に次いで豊かな国、人口は世界の3%でありながら世界の富の1割以上は日本というものが現状であります。勿論オイルショックにより世界同時不況となりその中で日本は安定経済へ移ったが、成長率4%程度は確保出来ているという豊かな国になりました。

私達の時代は短い歴史の期間に幾多の経験をし

ました。この体験をあらゆる機会に世の人々に訴えてお役に少しでも立てばよろしいと考えております実践しているわけで御座います。

前置が長くなりましたが御縁のある御当地に松園さんの御依頼でもございますのでまかり出来て私の乏しい経験を申し上げるということになつたのもこういう事情からでございます。演題として「霞ヶ関ビルより東京ディズニーランドまで」と申し上げていますが私が戦後やって参りましたことで世間的に知れていることを例示したものでございまして、それが一番分かり易いと思いました。

京葉工業地帯埋立浚せつ事業

ディズニーランドは最近世間で大変評判になっておりますが、これは私が昭和30年11月社長になりました後埋立に進出したわけで御座います。もともと三井不動産は三井本社の不動産部門で解体後の第二会社でございます。全く物にならない様な小さな会社でたったビルが2万坪でした。三菱地所は9万坪、その上日本一の設計陣を持ち私の方は規模に於て%しかない、なんとか三菱に追いつきたいというのが私の悲願でございました。併し三井にはビルがない、土地がない、そこで埋立に進出したことあります。当時の日本の状勢は敗戦のどん底からもり返して今や正に経済成長せんとしている、それについては日本は工業で生きて行くよりないんだ、それには原料が無い、総て輸入しなければならない。当時2万トン級の船が接岸出来る港が無かつたのであります。大きな船をもって材料を持って来て船を工場に横着けして製品をつくりその製品を輸出するということがぜひ必要であり、その最適地は東京湾であると通産省の後輩からすゝめられ私も検討していた時、千葉県当局から依頼がありましたので進んでこれに応じたのであります。190万坪埋立て工場地帯をつくり、大型タンカーが接岸出来るようにつくったのが今の京葉工業地帯の凌せつ埋立事業であります。これは順調にゆきまして続いて堺地区、瀬戸内海、大分湾、博多湾、四日市に埋立工業地帯をつくりました。はじめは銀行も慣れない土方の仕事をして失敗したると反対もありましたが断呼として仕事を進めたのであります。7年でもってやっと売上は三菱を追

い越しました。ディズニーランドはこの埋立に関連したものであります。

霞ヶ関ビル

どうやら埋立もうまくいった、体力もついたという時に東京の中央官庁街の一割に5,000坪という得がたいビル用地が手に入ったのであります。当時昭和36年は日本は地震があるという理由でビルの高さの制限があり31メートル、9階建以上は許可されませんでした。更に幸か不幸か、ビルストップ令が出ました。当時日本では国際収支が悪くなるとビル建設が抑えられました。その間に東大建築科教室の武藤博士が多年に亘る実験と理論と、コンピューター、地震計の発達と、又、五重の塔はどんな地震にも倒れないことにヒントをえて、武藤博士の柔構造理論が開発されました。ビルは陥没な地盤に基礎を置けば高い程地震に対して安全であるという理論でございます。そこで政府はこれを認め建築基準法を改正しビルの高さの制限は撤廃する、容積で制限するということになりました。そこで検討した結果、建設省、東京都の賛成協力を得まして36階をつくることになりました。150億円の費用を要し50億円は敷金としてとれる100億円がいる、これが金融困難な時代で大変難かしい、開発銀行より超高層ビルの技術開発ということで60億出そうと励まされて決意しました。着手しますと新聞、テレビ等マスコミに大変評判になりました。昭和43年4月に完成し一階の商店街と一番上はすぐ貸せましたが真中のオフィス街はなかなか貸せず自分も乗り出して営業をやり結果7割まで入ってスタートしました。36階は真中が機械室で周囲が約15メートルあり廊下を展望台にしました。大変なお客さんでございます。はじめの計算では数年赤字ということでありましたが、初年度からとんとん、今は満室となりうちの会社の非常な財源となっております。私が三井会社に入った時三井本館が出来ましたが材料、機械も全部輸入でございました。40年後に出来た霞ヶ関ビルは全部国産であり、40年間における日本の工業力が発展したことが具体的に明かな例だと思います。その後今では全日本に100メートル以上の超高層ビルが40、31メートル以上が200あります。高いビルをつくると周

囲を空けなければならぬ、立体化することによって空地が多くなり緑を多くすることが出来る。道路を広くすることが出来る。一つの都市再開発でございます。都市再開発のモデルケースとして大きな意味をみいだしたということも私が霞ヶ関ビルを決意した一つの大きな理由であり、公的な理由であります。現在中曾根首相が提唱している国有地を民間の活力によって開発しようとするのもこれが一つの例でございます。霞ヶ関ビルは関東大地震の5倍の地震までは大丈夫と言われており、超高層ビルのあけばのであります。

東京ディズニーランド

23年前でございますが埋立を始めた頃、別口をもって千葉県京成電鉄と他一つの会社が千葉県に270万坪の埋立をする、そして東京に一番近い処はレジャー施設にしてくれというのが千葉県の条件でございました。私は60万坪のレジャー施設は出来ないと辞退したのでありますが、両社長とも長いつき合いがあり、事業も共同経営者でありましたので遂に参加したのであります。途中で一社はつぶれましたが、もともと京成は遊園地を持っており積極的でありますし、あの様な広い処ではディズニーランドを持って来る以外はないということになりました。ディズニーランドは大きな施設をロサンゼルスとポーランドにもっており、両方共年間1,200万人の観客を動員しております。向うから来て調査して貰ったのですが、今のところは世界一の立地である。東京都心から15kmの圏内にある。更に現地の周間に2,500万人の非常に経済成長豊かな都市がある。これは世界的立地で必ず繁昌する。それには40余年蓄積した吾吾のノウハウをもってすれば必ず繁昌するという判断であった。その方針で着々進め、4年前に基本契約をやったのであります。向うの会長、社長はあんなふうに言うが日本は全く事情が違う、向うは1年間に1週間位しか雨が降らぬ、日本では10日に1度は雨が降る、冬は寒い、暴風雨もある、はたして向うのいう様な観客が動員出来るか疑問であり私としては二の足を踏んでいたのであります。地元及び千葉県が非常に熱心でぜひやってくれ、実際に使うのは30万坪で残りは必要あれば

住宅として転換して売ってもよろしいという約束を貰いました。金融機関に6~7百億で出来ると思ったが1千億をこしました。最悪の場合は住宅に転換して売れば会社に損がかかるないだろうということで進めたわけです。沢山の職員がいますが、向うの学校へやりいろいろ勉強させて貰ったわけでございます。世評によりますと従業員がお客様に対して大変愛敬がある、不愉快な思いは絶対にさせないと好評でございます。次第と物価が上り、今1,700億円の借金があります。1年間に1,000万人というのが向うの概算であります。この4月、1年間の決算をみると1,050万人で入った金が800億円、カレーライスが1日に800万人分、物が非常に売れる、消費単価が5,000円位と思ったら7,000円です。お客様は関東地方が65%、その他35%、外国のお客さんが10%、子供は案外少なく30%を割っております。驚いたのは東北地方とか長野、富山県あたりからバスで乗りこんで来て、東京の高級ホテルに泊ってディズニーランドで1日遊びお土産をしこたま買って帰るという例が続出しており、昨年東京のホテルの稼働率は夏枯れにも拘わらず約10%増えております。その結果としてアメリカにノウハウ料として2,500万ドル総50億払います。地元の市へ15億位の固定資産税を出します。雇用は常時2,000人、臨時が3~5,000人で非常に雇用が促進され大変な波及効果であると思います。まずまず吾々の心配はふっ飛んで大きな成功をかち得たと思います。その後も大変盛況でございます。向うへ払う2,500万ドルは入場料の10%、売れる品物の5%となっており、貿易摩擦に大変役立っております。私はこれを始めるとき松下幸之助さんに相談しまして大変賛成してスポンサーになってくれ40数億出してくれました。スポンサーが約450位あります。ディズニーランドの盛況は日本が非常に豊かになった、特に農村が豊かになりレジャー嗜好となり、余暇が出来たためだと思います。

長崎県の開発

先般、長崎開発審議会の総会が東京であり、私は常任理事をしておりますので気が付いたことがあれば発言せよということで、私は五島に去年行

ったのですが、長崎県全体としても日本の経済情勢が変っているから重工業の立地はもう不可能である。低経済下ではハイテクノジーとよく言われますが、それには広い土地は必要がない、たゞ空港による製品輸送が必要で、九州では熊本や大分がよく話にのぼっている。私は長崎としては素人考えでありますが非常に観光資源が豊富である。長崎市でしかり、何処でも見られないキリシタンの遺跡がある、五島列島についても、かくれキリシタン、遣唐使船の出たところ、私は大変感銘を受けたのでありますが、日本の中央文化をもたらして来ている。しかも道路交通がよくなっているたゞ問題は長崎空港とのコネックションである。この間は霧が出て帰りは船で帰ったのでありますが、観光資源を十二分活用することではないか、それにホテルをもっと完備しなければならぬ、空港施設についてももう一工夫あってもいいのではないか、ちょっとと思いつきですが発言したのであります。又、なんといっても漁業資源が豊富でございます。これが一つの観光資源にもなるのではないかと考えたのであります。もう少しつつここで平田敬一郎さんあたりに御依頼になって答申を貰えばもっと組織的な方向が得られるのではないかと思います。



各年度 役員・理事構成及び主要行事

**昭和49年～59年
(1974～1984)**

1974～1975（昭和49～50年）蟻川ガバナー

「ロータリー精神を振り起せ！」

ウイリアムス R・ロビンズ（米）

役員及び理事

会長 山下弥太郎、副会長 有福 勇
幹事 山口七之助
クラブ奉仕 山下 昇(理事)
職業奉仕 真名井六三(理事)
社会奉仕 西津繁矢(理事)
国際奉仕 浦雄一郎(理事)
会計 三浦二男(職権上理事)
S.A.A 福島良商、副幹事 良島良商
副S.A.A 青山岩夫

会長の方針

①会員の融和と出席率の向上、②会員増強、③ロータリー広報活動の強化、④ロータリー桜園の整備、⑤クラブのロータリー資料及び書類の整理

概要

チャーターメンバー 27名（現在15名）
新入会員 福島義範君、井上 晃君、近藤俊樹君
昨年度末会員数 47名
年度末（1975.6末）会員数 50名
会員平均年令 53.7才、最年長者 72才
最年少者 35才
会費年額 78,000円、食費 550円、ビジターフィー 800円

主要行事

49.6.23 地区協議会（福岡市電気ホール）
7.19 蟻川ガバナー公式訪問
分区代理 岩永光治（長崎R.C.）
10.1 福江地区新クラブ結成につき当クラブがスポンサークラブに、野田久雄

君が特別代表に委嘱される。

10.16 新クラブ結成促進委員会発足（元会長、元幹事 16名）
11.23～24 第370・373地区連合地区大会（熊本市）
50.2.23 国際ロータリー創立70周年記念式典（五島バスセンター4F）
来賓 五島支庁長、福江市長、福江警察署長、報道関係者、新クラブ結成準備委員、ローターアクト役員
会長挨拶 卓話 野田ロータリー情報委員長（ロータリーの原点）
職業奉仕賞の贈呈
大波止ホテルで記念パーティー
1.22 第10分区会長・幹事会議（長崎市東急ホテル）I.C.G.Fの打ち合せ
3.9 I.C.G.F（8・9・10分区）
佐世保市 親和銀行本店（ホストクラブ佐世保東R.C.）
3.28 年次総会 次期次期会長に池田君を選出
5.6 福江中央R.C.創立総会（五島バスセンター4F）蟻川ガバナー、岩永分区代理、挨拶
野田特別代表、経過報告。福江R.C.会員一同出席。
（チャーターメンバー27名
来賓、清島パストガバナー、佐々野支庁長、山本市長、伊達福江商工会議所会頭）
5.30 第370地区来日交換学生 12名来福
6.8～12 モントリオール国際大会（カナダ）
井関敏則君夫妻出席



1975～1976（昭和50～51年）岡野ガバナー

「人間に威信を！」

エルネスト・インバッサイ・デ・メロ（ブラジル）

—みんなでやろう クリーン370—

役員及び理事

会長 宇本 功、副会長 堀本一造
幹事 山田和嘉
クラブ奉仕 早瀬博道（理事）、職業奉仕 才津
卯喜男（理事）、社会奉仕 山本鶴男（理事）
国際奉仕 近藤俊樹（理事）
会計 眞田辰良（職権上理事）、
会長エレクト 池田敏郎（職権上理事）
S.A.A 眞名井六三、副幹事 平山禎巳
副S.A.A 豊増富四郎

会長方針

①会員の親睦と友情を深めよう。②クラブ例会地区大会、都市連合会に出席しよう。
③クラブのプログラムに全員参加しよう。④各委員会の奉仕活動に参加し敢行しよう。⑤ロータリー財団に関心をもとう。⑥当クラブの細則内規を見直そう。⑦鬼岳桜園を市民の憩いの場として発展させよう。⑧ローターアクトの増強と育成に協力しよう。⑨前年度期末（5月6日）に誕生したばかりの福江中央R.Cのスポンサークラブとしてその発展に協力しよう。

概要

チャーターメンバー 27名（現在15名）
昨年度末会員数 50名
新入会員 道津安石君
退会者 三浦二男君（転勤）、眞崎朔義君（一
身上の都合）、石井 勇君（転勤）
年度末会員数（1976.6月末）48名
会員平均年令 54.1才、最高年令者73才、最
少年令者36才
会費 年額96,000円、食費 800円、ビジャーフ
ィー 1,000円

年要行事

50. 6. 22 地区協議会 小倉市（九州歯科大学）
7. 25 福江中央R.Cへ卓話台を贈呈
8. 2～3 福江R.A.C公式訪問及び長崎地
区懇親会
8. 22 岡野ガバナー公式訪問
(池田泉地区幹事（門司西R.C）
宮本軍次分区代理（長崎南R.C）)
10. 10～11 第370地区年次大会 小倉市
(市民会館)
10. 19 福江中央R.C認証状伝達式（福江国
際会館）
来賓 久保県知事、山本市長、岡野
ガバナー、立花、清島、蟻川、パス
トガバナー、宮本分区代理、岩永直
前分区代理、遠くは矢島R.C（秋田
県）等から250名余出席。野田特別代
表より紹介並に経過報告次で岡野ガ
バナーから平田会長に認証状が伝達
された。祝辞、次いで宴会、郷土民
芸の披露と秋晴れのもと盛会であつ
た。当クラブはスポンサークラブと
して会場設営、登録、接待、出迎え
等と分担し、夫人同伴で出席してお
祝をした。
11. 9 第370地区ロータリー情報研究会（福
岡市西日本相互銀行）カウンセラー
松本卓臣パストガバナー
11. 21 鬼岳桜園特別委員会発足（3年間の
予定）委員長 清瀧君

12.26 年次総会 次期次期会長に堀本君を選出	従業員に金一封を贈呈（次年度より例会々場 五島バスセンターへ）
51.1.6 福江中央R.Cと合同の新年例会	50.7.1 クラブ奉仕部門に記録・保存委員会を新設、雑誌委員会を雑誌・会報委員会と改定
4.17 I.C.G.F(第8・9・10分区)長崎東急ホテル(ホストクラブ長崎東R.C)	51.7.1 福江ロータリークラブ内規を改定
6.25 最終例会 翠仙閣に感謝状贈呈並に	



1976～1977（昭和51～52年）田中丸ガバナー

「奉仕」ロータリーを私は信奉する

ロバートA・ウンチエスターII（米）

— 奉仕に生きよう 370 —

役員及び理事

会長 池田敏郎、副会長 西津繁矢
幹事 福島良尚
クラブ奉仕 浦雄一郎（理事）、職業奉仕 才津
為夫（理事）、社会奉仕 今村伊之次（理事）、
国際奉仕 青山岩夫（理事）
会計 道津安石（職権上理事）、会長 エレクト
堀本一造（職権上理事）
S.A.A 山下 昇、副幹事 山田和嘉
副S.A.A 久保浩助

会長の方針

「出席」、「奉仕」、「友情と親睦」

概要

チャーターメンバー 27名（15名）
昨年度末会員数 48名
本年度入会者 松下留之助君、塙塚昭雄君、
平山久仁俊君
退会者 近藤俊樹君 昭51.8.15病死
年度末会員数（1977.6月末） 50名
会員の平均年令 55.2才、最年長者 74才
最年少者 37才
会費 年額96,000円、食費 800円
ビジタフィー 1,000円

主な行事

- 51.6.26～27 第370地区協議会
佐世保市（親和銀行本店）
9.17 田中丸ガバナー公式訪問
分区代理 岡野 弘（長崎北R.C.）
10.31 I.C.G.F（第8・9・10分区）
諫早市民センター（ホストクラブ諫
早北R.C.）
12.5 ロータリー情報研究会 福岡市（西
日本相互銀行）
カウンセラー 末永直行パストガバ
ナー
12.17 年次総会 次期次期会長に眞名井君
を選出
52.4.8～9 第370地区年次大会
島原市文化会館（ホストクラブ島原
R.C.）
6.5～9 サンフランシスコ国際大会
井関敏則君夫妻出席

—————
本年度から例会場を五島バスターミナルビル4
Fホールに変更



1977～1978（昭和52～53年）七條ガバナー

「全人類を結びつけるために奉仕せよ」

W・ジャックデービス（カナダ）

— 心のふれあいを大切に 270 —

役員及び理事

会長 堀本一造、副会長 才津金人
幹事 才津卯喜男
クラブ奉仕 井上 晃(理事)、職業奉仕 畑中一徳(理事)、社会奉仕 川口博正(理事)
国際奉仕 豊増富四郎(理事)、青少年奉仕 松本規純(理事)
会計 真田辰良(職権上理事)、会長エレクト
眞名井六三(職権上理事)
S.A.A 山本鶴男、副幹事 道津安石、
副S.A.A 才津圭策

会長方針

①出席 ②例会の充実 ③会員増強 ④ロータリー財団の強化 ⑤ローターアクトの強化育成

概要

チャーターメンバー 27名（現在14名）
昨年度末会員数 50名
本年度入会者 長谷川庫一君、貞方利夫君
退会者 松本規純君（病気のため）
年度末会員数 1978.6月末 51名
会員の平均年令 56.1才、最年長者 75才
最年少者 38才
会員 年額 108,000円、食費 900円
ビジターフィー 1,000円

主な行事

- 52.6.25～26 第270地区協議会
雲仙（国際観光会館）
7.16 福江地区青少年健全育成市民協議会
夏季防犯市中パレードに協賛
10.22 雑誌委員長懇談会 福岡市(東急ホテル)
10.30 I.C.G.F (9・10・11分区)
佐世保市(親和銀行本店)、ホストクラブ佐世保R.C
11.12～13 第270地区年次大会
武雄市(文化会館)、ホストクラブ武雄R.C
11.21 七條ガバナー公式訪問
分区代理 金子三郎(長崎R.C)
12.18 ロータリー情報研究会 佐賀市(医師会看護学院)、カウンセラー千宗室バストガバナー
12.23 年次総会 次期次期会長に中村和正君を選出
53.1.6 福江中央R.Cとの合同新年例会
(五島バスセンター2F)
3.12 次期会長研修会 福岡市(電気ホール)
5.14～18 東京国際大会(国立代々木競技場)
当クラブの出席者 会員14名 家族12名)

○本年度から地区名変更「第270地区」となり、
地区分区の再編成により7月1日より11分区となる。

○青少年ローターアクト委員長を理事とする。



1978～1979（昭和53～54年）新家ガバナー

「手をさし伸べよう……」

クレム・レヌフ（オーストラリヤ）

役員及び理事

会長　眞名井六三、副会長　今村伊之次
幹事　井上　晃
クラブ奉仕　福島良岡(理事)、職業奉仕　青山
岩夫(理事)、社会奉仕　才津金人(理事)、国際
奉仕　久保浩助(理事)、青少年奉仕　山下弥太
郎(理事)
会計　道津安石(職権上理事)、会長エレクト
中村和正(職権上理事)
S.A.A　山田和嘉、副幹事　才津卯喜男
副S.A.A　才津卯喜男(兼)

会長方針

①出席　②社会奉仕　③会員増強　④青少年奉
仕　⑤魅力ある例会

概要

チャーダーメンバー 27名（現在14名）
昨年度末会員数 51名
新入会員 才津祐造君、久米哲彦君、松本繁男君
退会者 浦雄一郎君（一身上の都合）
現在会員数（1978.12末） 53名
会員平均年令（S.53.10.10現在） 57.50才
最年長者 76才、最年少者 39才
会費 年額 120,000円、食費 900円
ビジターフィー 1,000円

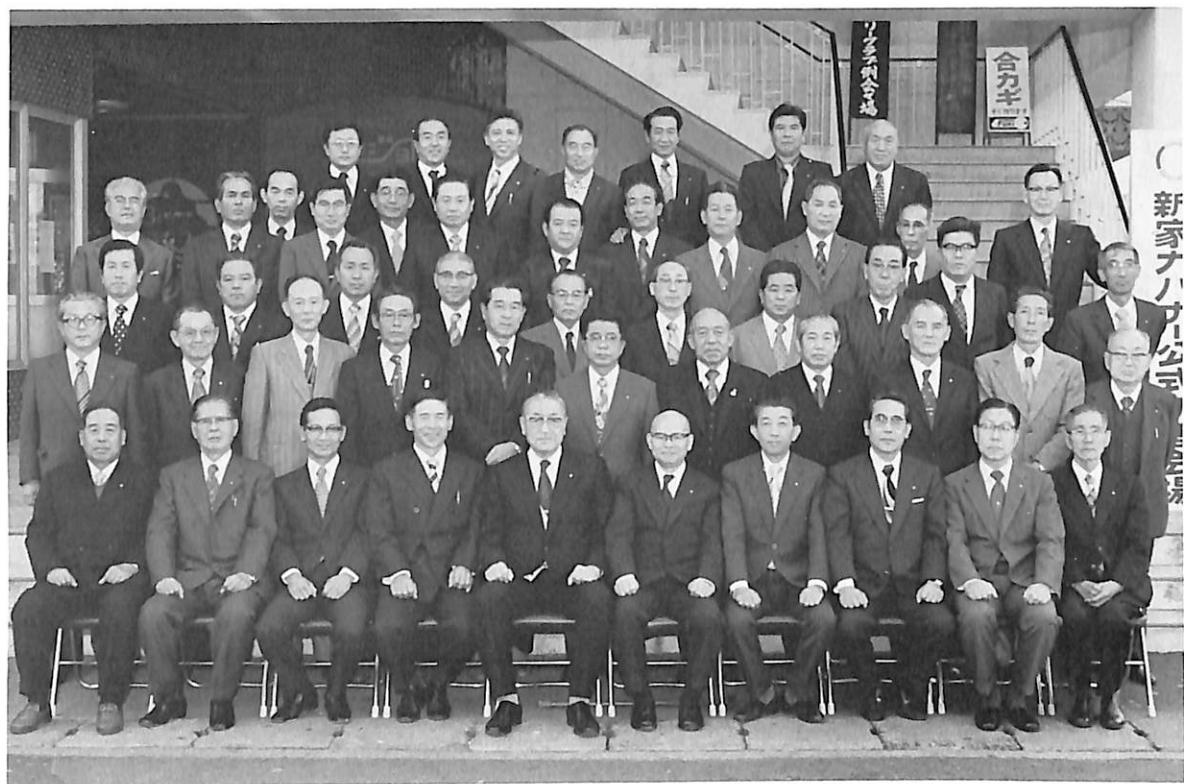
主 要 行 事

- 53.3.21 次期会長研修会（福岡市電気ホール）
6.17～18 第270地区協議会（福岡市電気ホ
ール）
7.21 中沢分区代理來訪、福江中央R Cと
合同例会
9.8 長崎地区会長幹事会（長崎東R C）
10.6 福岡正中会17名来福、懇親会
11.1 新家ガバナー公式訪問
分区代理中沢忠雄（長崎東R C）
12.15 年次総会 次期次期会長に青山君を
選出
54.3.16 福江R C創立15周年記念祝賀会
来賓 西野福江市長、伊達福江商工商
會議所会頭、西川N H K記者、本田
長崎新聞記者、椿山五島新聞記者、
福江中央R C山口会長以下32名、西
津福江J C理事長、中山福江R A C
会長。
表彰 無欠席者・池田君、佐々野（懶）
君、チャーダーメンバー14名に記念
品贈呈（大波止ホテル）
3.25 I G F 長崎グランドホテル
9.10・11分区（ホストクラブ長崎R C）
4.14～15 年次大会 九電記念体育館
（ホストクラブ 福岡南R C）
6.10～13 ローマ国際大会

特別積立金を従来15万円を今年より20万円に増
額した。

15周年記念誌「15年の歩み」発刊。

編集委員長 宇本 功



1979～1980（昭和54～55年）喜多村ガバナー

奉仕の灯で道を照らそう

ジェームス L ポーマ Jr (米)

役員及び理事

会長 中村和正、副会長 豊増富四郎
幹事 川口博正
クラブ奉仕 野田久雄(理事)、職業奉仕 宇本功(理事)、社会奉仕 堀本一造(理事)、国際奉仕 中村繁春(理事)、青少年奉仕 才津卯喜男(理事)、会計 森田英治(職権上理事)、会長エレクト 青山岩夫(職権上理事)、S.A.A 塩塚昭雄、副幹事 山田和嘉、副S.A.A 山本鶴男
75周年特別委員長 中村繁春

会長方針

①親睦と出席、②会員増強 ③委員会活動の活性化 ④青少年問題 ⑤身障者に暖い手を ⑥R I 75周年記念行事と広報 ⑦ロータリー財団への協力 ⑧創立以来の奉仕事業（時計台等）の総点検

概要

チャーターメンバー 27名（現在14名）
昨年度末会員数 53名
新入会員 森田栄治、平山徳一、牟田宣昭
退会者 眞田辰良（転勤）、福地正登（一身上の都合）、佐々野源一郎（死亡）
現在会員数 53名（昭和55.6末）
会員平均年令 55.29才 最年長者 77才
最年少者 36才
会費 年額 120,000円、食費 900円
ビジターフィー 1,000円

主な行事

- 54.6.23 第270地区協議会 久留米市石橋文化センター
7.20 11分区代理 森本宗一郎（長崎南RC）クラブを訪問
9.28 R I 創立75周年記念事業として①R I 75周年記念基金に会員1人当たり15ドルの協力を行った。②3H奉仕計画に対し人間尊重の立場から視力障害者協会五島支部へ10万円の助成金を贈呈した。
11.9 喜多村ガバナー公式訪問、森本分区代理同伴
12.28 年次総会 次期次期会長に西津繁矢君を選出
55.3.4 國際ロータリー創立75周年記念講演会及び祝賀会、福江中央RCと合同で開催
講師 清島省三パストガバナー、終了後祝賀会（大波止ホテル）
3.16 IGF（9・10・11分区）雲仙国際観光ホテル
4.12～13 年次大会 長崎市公会堂 市民会館
5.6 福江中央RC創立5周年記念式典
5.30～6.4 シカゴ国際大会
-
- 54.8.3 内規改正
(1) 退会者の後任者の入会金の件
(2) ロータリー諸会合に参加する場合の出席義務者の登録料の件



1980～1981（昭和55～56年）樋口ガバナー

時間を捧げよう 奉仕のために

ロルフ・J・クラリッヒ（フィンランド）

役員及び理事

会長 青山岩夫、副会長 山下 昇

幹事 塩塚昭雄

クラブ奉仕 才津圭策（理事）、職業奉仕 才津祐造（理事）、社会奉仕 福島良間（理事）、国際奉仕 川口博正（理事）、青少年奉仕 向原正雄（理事）、会計 宇田和馬（職権上理事）、会長エレクト 西津繁矢（職権上理事）、S.A.A 平山久仁俊、副幹事 早瀬博道、副S.A.A 井上晃

会長の方針

(1) 会員相互の親睦と友情を深め、例会に進んで出席するよう督励する。

(2) 新会員獲得にあたっては若年会員3名を目標に積極的に活動する。

社会奉仕：17年にあたり歴代会長によって実施された諸種事業の再点検を行う。

職業奉仕：奉仕の理想を自から実践するとともに職業関係の仲間のすべてに及ぼすように努力する。

国際奉仕：ロータリー財団に関する知識を広めこれに対する支援を促進し、ロータリー財団のプログラムにクラブレベルで参加するよう努力する。

青少年奉仕：ローターアクトは本年度10周年を迎えるのでこれが記念事業の推進に協力する。

概要

チャーチメンバー 27名（現在14名）

昨年度末会員数 53名

新入会員 池田忠志、杉山 嶽

退会者 平山久仁俊、眞名井六三（一身上の都合）
竹下利之右衛門、佐々野静衛、松下留之助（死亡）

現在会員数 50名（昭56.6.30） 会員平均年令

55.12才 最年長者 78才、最年少者 37才

会費 年額120,000円、食費 900円、ビジターフィー 1,000円

主な行事

55.3.22 次期会長研修会 福岡相互銀行本店
6.14 第270地区協議会 福岡市電気ビル
7.11 樋口ガバナー公式訪問
11分区代理 西 源一郎（長崎北RC）
9.14 福江R A C創立10周年記念式典
(福江国際会館)

来賓 岡野パストガバナー、西野市長外。山口八吉R A C会長挨拶としてローターアクトの一人一人がより一層成長するために努力すると誓い、岡野パストガバナー、青山会長等のお祝と激励の祝辞があり、本山小学校長による「発想の転換」と題して講演があった。式後祝賀会となり島外のローターアクト63名の参加のもと、カラオケ大会、地元のチャンココ踊りなど若き情熱を発散させてのレセプションが行われ、地元女性から献花の舞う裡に意義ある10周年の行事の幕を閉じた。

12.26 年次総会 次期次期会長に山下昇君を選出

56.3.8 I.G.F 佐世保市親和銀行本店
(ホスト佐世保南R.C)
4.11～12 年次大会 戸畠市文化会館
(ホスト戸畠R.C)
5.31～6.3 1981国際大会 ブラジル・サンパウロ市

55.8.26 内規の一部改正
(慶弔、褒賞、疾病及び見舞金、その他)



1981～1982（昭和56～57年）鈴木ガバナー

ロータリーを通じて世界理解と平和を

スタンレー E・マッキャフリー（米）

役員及び理事

会長 西津繁矢、副会長 川口博正
幹事 山本鶴男
クラブ奉仕 山田和嘉(理事)
職業奉仕 平山禎巳(理事)
社会奉仕 長谷川庫一(理事)
国際奉仕 早瀬博道(理事)
青少年奉仕 山口七之助(理事)
会計 森田英治(職権上理事)
会長エレクト 山下 昇(職権上理事)
S.A.A 貞方利夫、副幹事 宇本 功
副S.A.A 倉富不二夫

会長の方針

(1)会員相互の理解と友愛を更に深めよう！ (2)例会、会合に先づ出席を！ (3)クラブのプログラムは全員参加で完全消化を！ (4)ローターアクトの育成をみんなで努力しよう！ (5)ロータリー財団への協力を！ (6)身障者に暖い手を！

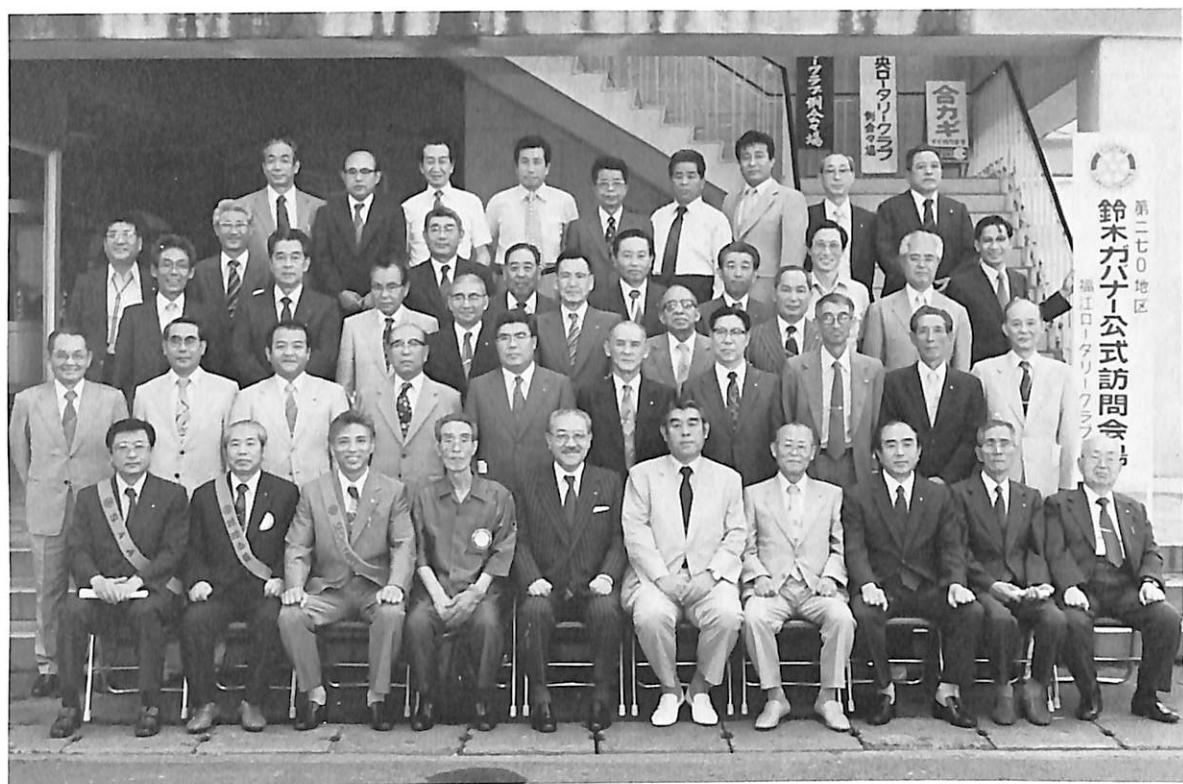
概要

チャーターメンバー 27名（現在11名）
昨年末会員数 50名
新入会員 佐々野邦久、秋元隆雄、藤田七郎、
退会者 宇田和馬、森田栄次（いづれも転勤）
昭和57.6末会員数 51名
平均年令 58.48才、最年長者 79才
最年少者 38才
会費年額 120,000円、食費 900円
ビジターフィー 1,000円

主な行事

56.3.1 次期会長研修会 長崎放送別館
6.20 第270地区協議会 長崎市民会館
7.24 鈴木ガバナー公式訪問
第11分区代理 沢山精次郎(長崎RC)
9.28 マッキャフリーR I会長歓迎会
(熊本市)へ西津会長出席
12.25 年次総会 次期次期会長に才津金人君
を選出
57.3.6 I.G.F (9.10.11分区)
長崎グランドホテル(ホスト長崎RC)
3.12 当クラブ創立記念日祝賀会
18年無欠席者 池田敏郎君を表彰
4.24 年次大会 福岡サンパレス
(ホスト福岡城西R.C.)
6.6～6.9 国際大会 ダラス(米国テキサス州)

国際ロータリー創立75周年、国際ロータリー第270地区史発刊 (1981.6.30)



1982～1983（昭和57～58年）北島ガバナー

人類はひとつ世界中に友情の橋をかけよう

向 笠 広 次

役員及び理事

会長 山下 昇、副会長 福島良尚
幹事 久米哲彦
クラブ奉仕 平山徳一(理事)
職業奉仕 嵩 則雄(理事)
社会奉仕 塩塚昭雄(理事)
国際奉仕 才津卯喜男(理事)
青少年奉仕 松本繁男(理事)
会計 藤田七郎(職権上理事)
会長エレクト 才津金人(職権上理事)
S.A.A 牟田宣昭、
監査 豊増富四郎、山口七之助

会長の方針

1. 親睦と友情をなお一層深め、クラブ活動の原動力としたい。
2. 青少年問題に絶えず関心を持ち、ローターアクトとともに密接な関係を保ちながら、やる気を起すよう運営したい。
3. 特に会員の増強を目指し、当クラブのみならず、新生第274地区を盛り立てたい。
4. ロータリー財団、米山奨学会に協力を呼びかけたい。

クラブ概要

チャーターメンバー 27名（現在11名）
昨年度末会員数 51名
入会者 安永克巳、平山平八郎、井関哲郎、原田 真、牟田恒昭
退会者 井関敏則、久保浩助、豊増富四郎（一身上の都合）、有福 勇（死亡）
昭和58年6月末 会員数 52名
平均年令 58.20才、最年長者 80才
最年少者 33才

会費年額 156,000円、食費 1,100円

ビジターフィー 1,500円

主な行事

- 57.2.28 次期会長研修会 佐賀市東急イン
6.27 地区協議会（佐賀市医師会看護学院）
9.21 北島ガバナー公式訪問
第6分区代理 細川正義（長崎東R.C.）
11.4 細川分区代理 クラブを訪問
12.31 年次総会 次期次期会長に
平山禎己君を選出
58.2.29 I.G.F（6分区）長崎グランドホテル（ホスト長崎南R.C.）
3.12～13 年次大会（佐賀市民会館）
（ホスト 佐賀西R.C.）
6.5～6.8 トロント国際会館（カナダ）
才津金人君出席

○新生 274地区となる。

（270地区が第270地区と274地区とに分かれ、長崎県（壱岐島及び対馬島を除く）と佐賀県（鳥栖市を除く）が7月1日より274地区となった。）

○会場変更

7月1日より例会会場が「観光ビルはたなか」となった。



1983～1984（昭和58～59年）逸見ガバナー

みんなにロータリーをみんなに奉仕を

ウイリアムE・セルトン（米）

役員及び理事

会長 才津金人、副会長 平山禎巳
幹事 牟田宣昭
クラブ奉仕 中村和正(理事)
職業奉仕 才津為夫(理事)
社会奉仕 貞方利夫(理事)
国際奉仕 井上 晃(理事)
青少年奉仕 佐々野邦久(理事)
会計 秋元隆雄(職権上理事)
会長エレクト 平山禎巳(職権上理事)
S.A.A 池田忠志
監査 西津繁矢、伊達仲一

会長の方針

1. R I 会長テーマの実践と10%会員純増をめざす。
2. 債例にとらわれず、革新的な事業計画を推進する。
3. 委員会活動のより以上の活潑化をはかる。
4. 全会員の英知を結集して創立20周年記念事業を成功させよう。

クラブ概要

チャーターメンバー 27名（現在11名）
昨年度末会員数 54名
入会者 江川京次、的野圭志、松村行一、川尻伊之昭、引地 寛、水田亘昭
退会者 平山平八郎、倉富不二夫、大渕貞雄
(一身上の都合)、原田 真、秋元隆雄
(転勤)、塙塚昭雄(死亡)
昭和59.6 末会員数 52名
平均年令 57.06才 最年長者 78才
最年少者 34才
会費 年額 156,000円、食費 1,100円
ビジターフィー 1,500円

主な行事

- 58.2.27 次期会長研修会 佐世保市
(ホテル松蔵)
6.19 地区協議会 佐世保市医師会館
8.12 第6分区代理 村上 明(長崎北)
クラブに来訪
9.28 逸見ガバナー公式訪問
村上分区代理同伴
9.25 会報雑誌広報委員長懇談会
(大村市長崎空港観光ホテル)
11.5～6 年次大会 佐世保市民会館
12.23 年次総会 次期次期会長に福島良商君
を選出
59.2.12 I.G.F (第5. 第6分区)
諫早文化会館 (ホスト諫早北R.C)
5.27 福江R.C創立20周年記念式典
福江市役所会議室
祝賀会 大波止ホテル
6.3～6.6 バーミンガム国際大会
野田久雄君夫妻出席



S.50年 6月
モントリオール国際大会
井関夫妻出席



S.58年 6月
トロント国際大会
才津金人君出席



S.59年 6月
バーミンガム国際大会
野田夫妻出席



委員会活動の記録

昭和49年～59年

(1974～1984)

職業奉仕

昭和49年 委員長 真名井 六三

- 「奉仕こそわが務め」を全会員に配布。毎月始めの例会で約10分間朗読。四つのテスト及び綱領を配布。
- 職業奉仕賞：「社会奉仕的なことを自己の専門職としている人」を対象として調査の結果、奥浦慈恵院の保母さん6名（石川スエさん70歳、47年勤務。木口フジエさん64歳、46年勤務。江口サヨさん60歳、38年勤務外）をR I創立70周年記念式典に於て表彰し、金一封を添えて職業奉仕賞を贈呈した。
- 私の仕事体験発表。卓話「企業経営と自動車事故」
- 地元就職者歓迎激励大会開催。（昭和45年から継続）

昭和50年 委員長 才津 卯喜男

- 1、四つのテスト配布。
- 2、自分の仕事を通じて5分間スピーチ。（毎月1回）7名
- 3、事故防止のための自動車運転競技会の開催。
- 4、地元就職者の激励大会の開催。

昭和51年 委員長 才津 炳夫

- 本年度は身近で行いうる奉仕、例えば客への応待、電話の応待を通じて従業員の姿勢をもう一度見直す運動を行った。
- 四つのテスト再配布。
 - 地元就職者の激励会の実施。
 - 4月、全会員にチューリップの苗を配布。
清滝君を委員長として花の審査を行い、社会奉仕委員長と相談の上各事業所、老人ホームへ寄贈した。

昭和52年 委員長 畑中一徳

- 毎月第1例会で「四つのテスト」唱和。
職業奉仕「四つの反省」を全員に配布。
ローター・アクト職業奉仕委員会と懇談、指導。
地元就職者の激励大会の開催。

昭和53年 委員長 青山 岩夫

- 1、地域社会全般に四つのテストを基とするロータリーの理想を分ち合うため、四つのテストの看板30枚を制作して、公民館、学校、バス停等人の多く集まる所に取りつけた。
- 2、毎月1回例会時四つのテストを唱和し、反省する。
- 3、地場産業に人材を確保するため、商工会議所と連絡をとり、新卒者の地元就職者の歓迎激励会を実施。
- 4、「奉仕こそわが務め」の熟読を奨励し、心の自覚と奉仕の実施に務めた。
- 5、自己の職業に関する体験発表。

昭和54年 委員長 宇本 功

- 1、「奉仕こそわが務め」の抄読。（八幡RC発刊のダイゼストから）
- 2、職業奉仕事例の紹介。（藤原パストガバナー編集）
- 3、「四つのテスト」の例会に於ける唱和及び再配布。
- 4、ローター・アクト職業奉仕委員会と関係を密にして四つのテストを中心として雇主、従業員の問題にとりくんだ。
- 5、地元就職者の歓迎激励大会の開催。

昭和55年 委員長 才津 祐造

- クラブ全会員が「職業奉仕」に対する各自の義務並びに意義について再認識するため、「ロータリー綱領」を精読し、又「職業奉仕の理想」について理解するよう推奨した。
- 「奉仕こそわが務め」を全会員が読書するよう奨励。

「四つのテスト」を第一例会で唱和、「四つのテスト」利用推進。

職業奉仕週間に卓話。地元就職者激励会の実施。

昭和56年 委員長 平山 稔己

- 1、「奉仕こそわがつとめ」全会員に読書奨励。
- 2、「四つのテスト」を第一回例会で齊唱。
- 3、「四つのテスト」を全会員の職場に掲示。
- 4、ローター・アクト職業奉仕委員会と関係を密にして四つのテストを中心にして話し合

いを行った。

5、職業を明るくする運動を行った。

6、地元就職者歓迎激励会の開催。

昭和57年 委員長 嵩 則 雄

会員の職業奉仕の理念の理解と実践を促すために本年度は部内活動に重点をおいた。

1、毎月第二例会に於いて「四つのテスト」ソング唱和。

2、職業奉仕の立場からフォーラムを実施。

1) 職業奉仕からみたバーゲンセール

2) 職業奉仕と労使関係

3、職業奉仕週間。卓話「私の職業」「従業

員の性と職場の規律」

4、ローターアクト職業奉仕委員会との懇談会。

5、「私の職業」3分間スピーチ。

6、地元就職者の歓迎激励大会の開催。

昭和58年 委員長 才 津 炳 夫

毎月第二例会において「四つのテスト」ソング唱和。部外卓話「実務的な労働法規の解説」を労働基準監督署福江駐在所長に依頼して実施。

職場見学として福江電報電話局を訪問。

地元就職者の歓迎激励大会の開催。



社会奉仕

昭和49年 委員長 西 津 繁 矢

7月：六方海水浴場監視台の補修、交通警官人形の衣替。
8月：親睦委員会主催の海水浴のとき、人口呼吸の講習会の実施。
9月：老人ホーム松寿園慰問、福江マッサージクラブ会員13名の協力を得、アンマを行い大変喜ばれた。
11月：鬼岳桜園植樹、除草。
12月：奥浦慈恵院クリスマス慰問。
1月：成人式で記念品贈呈。
3月・4月：鬼岳桜園追肥除草。
5月：空港道路沿線のロータリー桜、下払除草。

昭和50年 委員長 山 本 鶴 男

7月：六方海水浴場監視台補修。(ペンキ塗り替え)
ロータリー桜下払除草、人口呼吸講習会。
9月：老人ホーム松寿園慰問。
10月：火災防止講習会。(下五島広域圏消防本部長 坂谷芳朗氏)
鬼岳桜園除草、全会員汗を流す。
11月：交通安全卓話。(野田福江警察署長)
12月：奥浦慈恵院クリスマス慰問。
1月：成人式206人に記念品贈呈。(福江国際会館)
2月：鬼岳桜園に焼却炉を設置。
5月：ロータリー桜下払、除草。
6月：社会を明るくする運動。(50. 11. 20 県知事より感謝状)

6月：美化運動「クリーン370」、福小、緑小生徒によるポスターを募集し、市内商店等のウィンドウに展示。

昭和51年 委員長 今 村 伊之次

今年度の活動目標として、①継続事業の完全実施。②老人問題に関する事業。③辺地学童に関する事業として、予算を45万円と昨年(23万円)の倍近く増額したので、継続事業の鬼岳桜園の維持管理費用として5万円を特

別委員会へまわし、施肥、除草の実施。空港沿道ロータリー桜の除草を行った。

老人問題として、ホームヘルパーが一番困難している洗濯物の処理を容易にする為、老人センターへ全自動洗濯機を寄贈した。

又、市内に寝たきり老人、独居老人等不自由な方が144名おられ、その中で最も必要とされる30数名の方に懐中電燈を寄贈した。

辺地学童の問題では、遠距離通学のため、通学用の靴の消耗が烈しい実態にあり、辺地中小学生へズック、ズボンをおくり援助した。

9月：老人ホーム松寿園の慰問には福江市理容師組合の応援を得て理髪を行い喜ばれた。

12月：慈恵院クリスマス慰問、社会を明るくする運動の実施。

5月：福江空港に全五島の観光案内板を費用186,000円で設置した。

昭和52年 委員長 川 口 博 正

7月：海水浴場2ヶ所に「ちり籠」を設置。
福江地区青少年健全育成市民協議会夏期防犯市中パレード協賛。
9月：老人ホーム松寿園を敬老の日に慰問。
アンマ機2台を贈呈し喜ばれる。(ガバナー月信6号に紹介)
12月：奥浦慈恵院クリスマス慰問。才津幹事扮するサンタのおじさんからのプレゼントに子供達は大喜び。

3月：交通安全旬間に協力。

昭和53年 委員長 才 津 金 人

(A) 環境保全

夏のリゾートエリアとして昨今、都市より流入が増加した結果、海浜、その他自然破壊の問題が生じつゝあり、8月、六方海水浴場の清掃を行い、ステッカーを同海水浴場を初め、大浜、香珠子海水浴場にも立て美化運動の促進をはかった。(R.A.C 5名協力)

(B) 老令化社会問題

老人の日を前にして、福江市福祉事務所の方と福江中央R.Cと共に懇談会を行いひとり暮らしの老人問題、寝たきり老人問題

等、老人福祉対策の容易なことないことを痛感した。物質面だけでなく、精神的な奉仕の推進をはかりたい。

(C) 青少年健全育成

慈恵院クリスマス慰問（12月25日）8ミリカメラで児童の記録をとり映写会を行った。その他不良化防止運動、交通安全推進文化活動の推進、身障者援護推進（視力障害者の援助）を行った。

パネル討論会「奉仕とは」を行った。

昭和54年 委員長 堀 本 一 造

1、R I 75周年記念事業として、当クラブが創立5周年記念事業として福江港ターミナルビル前に設置した時計台が10年余の風雨に暴され腐蝕したので新しいものと交換した。（予算15万円）

2、立看板の設置

環境の美化、交通安全、水難危険防止のため主要な個所に設置した。

3、老人ホームの慰問

今年は市内遊覧を計画し、4月21日朝から弘法大師祭へ参詣。引き続き鎧瀬公園で演芸会を開催、市内の見学をして午後3時過ぎ無事帰園、大変賑わい、お年寄に大変喜ばれた。

4、12月、青少年委員会と一緒に慈恵院クリスマス慰問、今年度は先方の希望でギター2個を寄贈、子供達にはサンタのおじさんからお菓子をプレゼントした。

5、ロータリー桜園の追肥除草を行った。

昭和55年 委員長 福島 良岡

1、六方海水浴場の清掃、大浜海水浴場に水難防止の立看板を2ヶ所設置。香珠子及び六方海水浴場にチリ箱を寄贈。

2、ロータリー桜案内標柱の立替。

西津さんの全面協力によりレッカーカー車、人夫、パイルを無料提供して戴き2ヶ所立替を行い、11月、ペンキ塗りをして完成した。

3、老人ホーム松寿園にレクリエーション用のアトラクション2組、レコードプレイヤー式を寄贈。

4、奥浦慈恵院クリスマス慰問、カラーテレビ寄贈。

5、5月、保健所、市の協力を得て黄島住民検診。

6、青少年委員会と共に少年サイクリング実施。

7、「社会を明るくする運動」を実施、県知事より感謝状をうける。

昭和56年 委員長 長谷川 庫一

毎月第一火曜日に朝食会を兼ねて委員会を開き当月又は次月の活動計画の実施等について協議した。

1、7月、海水浴場の整備（大浜、香珠子、六方）を行い、環境美化、水難防止の立看板を立てた。

2、障害者体育大会へ贊助金贈呈。

今年は国際障害者年であり、福江市障害者団体連合会が実施する体育大会に贊助金3万円を贈呈した。

3、11月「奉仕について」卓話

4、12月、奥浦慈恵院クリスマス慰問、楽器2ヶと園児34名にクリスマスプレゼントをした。

5、57. 5月、福江空港に当クラブが設置した観光案内板を15万円の予算で塗装補修をした。

又、鬼岳桜園の看板を才津卯喜男さんの奉仕で塗替した。

昭和57年 委員長 塩塚 昭雄

7月：青少年非行防止パレードに参加。

海水浴場（大浜、六方、香珠子）の整備及び水難事故防止の立看板を設置。

9月：福江市障害者団体連合会のスポーツ大会に協賛金をおくる。

12月：五島育成園を訪問、園児に作業靴を寄贈。

奥浦慈恵院慰問、クリスマスプレゼント及び電気洗濯機2台を寄贈。

その他高校生ボランティア活動に援助。

昭和58年 委員長 貞方 利夫

7月：海水浴場の清掃及び事故防止の立看板を設置した。

8月：福江市老人ゲートボール大会に協賛し持回りの福江ロータリークラブの優勝旗を上崎山老人会チーム、準優勝のトロフィーを白寿会老人チームに贈呈した。

9月：離島在宅老人との集いを実施。赤島、黄島の在宅老人28名を福江に招き市内観光と福江市内の老人達との交歓を行った。

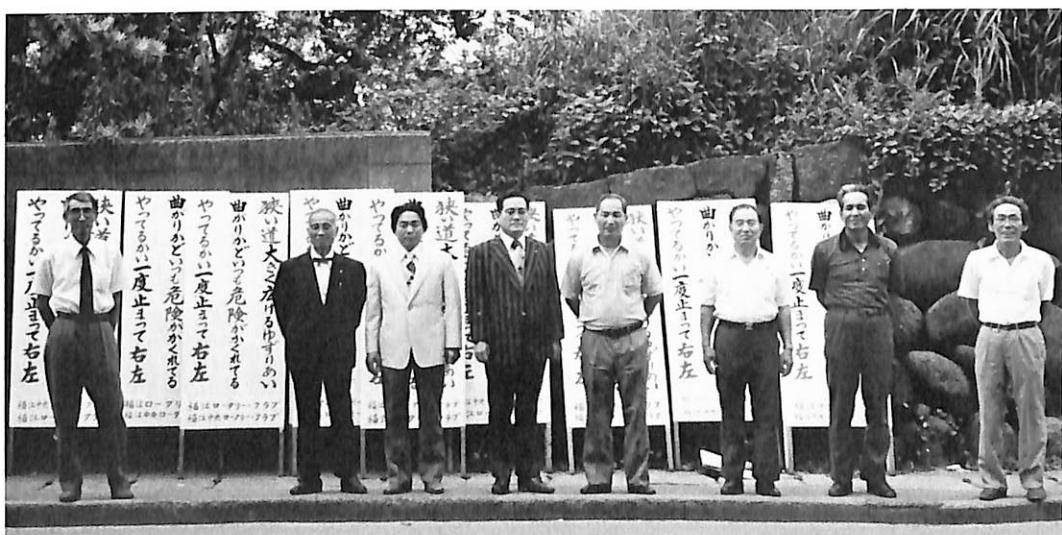
12月：奥浦慈恵院慰問。本年度は「もちつき」

を実施し、家庭的な雰囲気を味って貰った。

6月：福江市労働福祉会館へゴミ箱と灰皿を寄贈し各ロビーへ設置した。

又、街路美化の一環としてロータリ一桜の除草作業をした。

その他、社会を明るくする運動、防犯、交通安全、青少年非行防止運動の市中パレードへ積極的に参加した。









国際奉仕

昭和49年 委員長 浦 雄一郎

- ネパール救援古切手運動を推進した。
- 世界理解週間、卓話をを行う。
- 第370地区来日交換学生団体旅行で12名来福。

50. 5. 29～6. 2 立花地区青少年交換委員長、平田地区委員夫妻同伴。交換学生米国男2、女5、オーストラリヤ男1、女4、福江島周遊、例会出席、会員宅に分泊ローターアクトと交歓。

○釜山西RC・パストガバナー朴 正寛君来福。昭和46年交換クラブとして松本会長以下16名が釜山西RCを訪問したときのガバナーであり、関係会員が集り歓迎会が行われた。

昭和50年 委員長 近藤俊樹

- ネパール救援（愛の古切手）運動としてスターを作り、各会員の職場に掲示して強力に推進した。
- 来日交換学生の受入れの問題につき調査研究したが、当クラブとしては時期が早すぎると結論。

昭和51年 委員長 青山岩夫

- ネパール救援愛の古切手募集に努力した。
- 11月4日、来日交換学生（オーストラリヤ男子1、女子2）の旅行を福江中央RCと合同で引き受け、里親の家に一泊、例会出席、市内外の観光、ローターアクト、五島高校生、会員の子弟と懇談会を行った。

昭和52年 委員長 豊増富四郎

- 愛の古切手募集につとめ41,650枚を送った。

昭和53年 委員長 久保浩助

- ネパール救援のための「愛の古切手」収集運動を継続した。

昭和54年 委員長 中村繁春

- ネパールの結核患者救済のための「愛の古切手」を強力に推進した。10万枚を突破した。（124,834枚）

昭和55年 委員長 川口博正

- ネパール救援のための古切手収集を昨年同

様に活発に行った。（92,700枚）

- R Iより発表された3Hプログラム ロータリー財団に移管されたことによって、ロータリー財団委員会と協力してその資金の増額につとめた。
- 「マザーテレサがポールハリスに」例会に於て紹介、卓話を行った。

昭和56年 委員長 早瀬博道

- ネパールの結核患者救済のため「愛の古切手」収集を強力に行った。（102,175枚）
- 世界理解週間に卓話をを行う。
- 3Hプログラム、ロータリー財団に移管、その資金の増額に努力した。

昭和57年 委員長 才津卯喜男

- 愛の古切手収集に努力した。

（103,296枚）

- 組合わせクラブになった445地区ブラジルに先般学童の絵画、書道を送った。現在返事がないが、ブラジルから送ってくれれば幸いと思う。

昭和58年 委員長 井上晃

- 今年も引き続きネパール救援の古切手収集を推進した。（96,031枚）
- 来日交換学生を招待。

福江中央RCと合同で来日交換学生5名

（男子米国1名、オーストラリヤ1名、女子米国3名）を二泊三日のスケジュールで招待。ロータリアンの家庭が里親となり宿泊、例会に出席して日本語によるスピーチを行った。R A C会員との懇談、五島高校生と懇話会、島内の観光、創立20年記念式典に出席した。（5.25～5.27）

- 私費留学生支援

大村北RCが私費留学生（中国）2名の2年間にわたる奨学金を計画したが、单一クラブでは荷が重く第270地区各ロータリアンの支援をとのガバナーの要請にこたえた。



青少年奉仕

昭和49年 委員長 有 福 勇

- 社会を明るくする運動に協力。
- 成人式で成人者に「四つのテスト」及び記念品を贈呈。
- 地元就職者歓迎激励大会開催。
- 福江R.A.C創立4年目を迎えた。会員24名（男13、女11）毎例会にロータリアン2名宛出席指導した。
- 例会に於いてローターアクトに関するフォーラムを開催。
- ローターアクト年次大会に出席した。
- ローターアクトは毎月1日、15日の早朝掃除、チャリティーバザー、ダンスパーティ一、慈恵院慰問、成人者との集い、古切手の収集、長崎地区懇親会、長崎地区協議会370地区職業奉仕部門合同行事に出席、献血参加と活発な活動を行った。

昭和50年 委員長 有 福 勇

- ローターアクトは本年度は4名の停年退会者を出したが1名の増強により22名（男10女12）
- 8月：公式訪問、長崎地区懇親会（福江市鎧瀬公園）
- 9月：I.C.G.F.
- 1月：親睦会（佐世保市）、年次大会（佐賀市）。5周年を迎え地についた奉仕活動を活発に行った。
- 成人式に成人者に記念品を贈呈。（眞崎君退会に際しR.A.Cに10万円を寄附）

昭和51年 委員長 佐々野 利一郎

青少年といつても広範囲にわたるので、ローターアクトを通じて奉仕の精神を伝え高揚して行きたいと考え、ローターアクトの増強活動につとめた。創立以来6年を迎えたが会員の伸びが遅々として現在17名と減少しているのでロータリー会員の協力とアクト会員も交友知人に働きかけて増強につとめた。毎月1回の早朝清掃、慈恵院児童との「みかん狩り」近隣ローターアクトとの友交的交流、市内各

種青少年団体との交友的提携、成人式に成人者との懇談会、チャリティーバザー、後半には青少年の野外活動が活発に行われた。

昭和52年 委員長 松 本 規 純

ローターアクトを年度頭初に31名に増強、7月中旬より委員長長期病欠のため山下弥太郎副委員長が代行。約半数が新入会員のためアクトへ理解と興味を持たせる様努力し、R.Cより3名程例会へ出席した。

早朝清掃、野外活動、慈恵院児童との交流チャリティーバザー、古切手収集、献血等活発な活動を行った。

52. 12 : R.A.C、I.C.G.F(諫早文化センター)

53. 2 : 公式訪問

53. 5 : 年次大会（小倉市）

昭和53年 委員長 山 下 弥太郎

次の世代を担う青少年に対する教育指導は大人の責任であり、現代の青少年の非行化対策は急を要することで、その一環としてローターアクトの一層の充実を図る為、会員27名に増強されたが、今年度は委員及び役員が責任をもって指導にあたった。そのための予算を組んで今後のアクト委員会の行き方も充分検討した。

9月：離島と都市の青少年交流研修が長崎R.Cで企画され、当方より委員長及び委員佐々野源一郎君がアクト15名を引率して長崎一泊の旅行で長崎市に於て交歓、研修を行った。

アクト活動の主なもの

1、早朝清掃 2、野外活動（研修旅行、キャンプ、ハイキング、スポーツ大会）3、慈恵院の児童との交流 4、チャリティーバザー、会報誌 5、古切手収集、献血、映画鑑賞

福江市少年サイクリング大会を福江中央R.Cと共に実施。

昭和54年 委員長 才 津 卵喜男

- 「社会を明るくする運動」中・高弁論大会（玉ノ浦）に協力。
- 国際児童年市中パレード実施（福江地区青少年県民健全育成協議会と共に）

- 映画「左足のエース」育成会と共に。
- 講演会「子供の心理と家庭教育」
- 子供相撲大会の開催。
- 福江市内小・中学生サイクリング大会を福江中央R Cと共に実施。
- 少年剣道大会
- 成人式へ参加、250名の成人の方へ記念品贈呈。
福江R A Cは9年目を迎え軌道にのってその目的達成に頑張っている。
予算72万円、内ローターアクトへ42万円補助。
- 昭和55年 委員長 向原正雄**
- 青少年健全育成協議会と共に市中パレード。
- 「社会を明るくする運動」中・高弁論大会に協力。
- 少年相撲大会
- 少年サイクリング大会の実施（福江中央R Cと共に）80名参加。
- 下五島地区剣道大会（小・中学生）剣道協会と共に200余名の参加。
- 福江R. A. C創立10周年記念式典（9.14）
(於：福江国際会館)
来賓、岡野パストガバナー、福江市長外、島外ローターアクト会員63名の参加があった。式典、講演会後レセプションと盛大に行われた。
- 成人式に於て200人の成人に記念品を贈呈。
- 昭和56年 委員長 山口七之助**
- 社会奉仕委員会に協力して海水浴場の整備及び水難事故防止の立看板設置にローターアクト会員も参加。
- 「社会を明るくする運動」に協力、青少年健全育成協議会に共催して車輪による島内パレードに参加。
- 「青少年の健やかな成長を願う五島地区大会」へ出席。
- 成人式に於て成人者に記念品の贈呈。
- 第2回下五島地区少年剣道大会開催。
(1市5町、小・中学生214名出席)
- 少年サイクリング大会を福江中央R Cと共に

- 催で実施。参加者80名
- ローターアクトは11年目を迎え、彼等の自主的な活動を見守り指導。
 - 昭和57年 委員長 松本繁男**
 - 今年度はローターアクトの育成拡大に全力を注いだ。
 - 社会を明るくする運動（中高生弁論大会）に協力。
 - 青少年健全育成協議会と共に市中パレード実施。
 - 大円寺で緑蔭子供坐禅会を実施。
 - 子供相撲大会に協力。
 - 下五島剣道協会主催下五島小・中学生剣道大会を後援。240名参加。
 - ライラ大会へ出席。（国立諫早少年自然の家）
 - ローターアクトが実施する大波止ターミナル広場及び各公園の清掃に協力参加。
 - ローターアクト指導及び会員の増強に努めた。
 - 青少年活動週間に県立五島高校長を招聘して青少年健全育成の卓話を聞く。
 - 昭和58年 委員長 佐々野邦久**
 - 下五島地区保護司会主催「社会を明るくする運動」。
「下五島地区中学、高校生弁論大会」に協賛。優勝者にトロフィー授与。
 - 福江地区青少年健全育成協議会主催「防犯市中パレード」に参加。
 - 五島曹洞宗青年会主催「子供坐禅会」後援及び参加。
 - ローターアクトのサマーキャンプに参加。公式訪問。
 - 青少年健全育成協議会主催「子供相撲大会」協賛。
 - 毎月第1、第3土曜日午前6時からローターアクトが実施する大波止ターミナルビル広場及び市内アーケード街清掃奉仕に協力参加。
 - 第5回ライラ大会へ参加。（佐賀県三養基郡貴山）
 - 下五島小・中学生剣道大会後援。



クラブ奉仕

昭和49年 担当理事 山下昇

クラブ奉仕の任務を忠実に実行する為に各委員会の連絡協議を密に行い、各委員会とも重点的な施策を打ち出し完遂する、その為に隔月に1回委員長の会合を開き、会長の方針である会員の親睦融和及び会員の増強の実をあげるように努めた。

昭和50年 担当理事 早瀬博道

ロータリー活動の基本がクラブサービスである事を自覚し、当クラブは新に記録保存委員会構成による10委員会の活動行事計画が円滑に実行出来るように努めた。

- 出席率100%を目指しホームクラブ欠席者にメークアップの奨励。
- 各委員会の活動推進のため隔月1回委員長との協議会実施。
- 例会の運営と進行は、会長、幹事、S. A. A.、プログラム委員との緊密な連繋の下にスムーズに行われるよう努力した。
- 例会はユーモアに溢れる和やかな雰囲気になるように努めた。

昭和51年 担当理事 浦 雄一郎

- 出来るだけ頻繁に合同委員長協議会を開く。
- 出席率向上のため魅力ある肩のこらない例会の開催。興味あるプログラムの実施。
- 兄弟クラブ福江中央RCとの融和、交流の増進。
- 会長の方針である会員相互の親睦、融和及び出席奉仕の実をあげる様に努めた。

昭和52年 担当理事 井上晃

年間目標 (1)出席の向上 (2)親睦の強化拡大 (3)会員増強 (4)ロータリー情報の強化 (5)広報の充実徹底
10. 21「クラブ奉仕活動を活発にするにはどうすればよいか」のテーマでクラブフォーラムを開催。

毎月ミニターゲットを例会場に掲示。7月の目標「心のふれあいは例会の出席から」8月「例会での情報を活発に」9月「ヤーとあいさつにこやかに！」等

昭和53年 担当理事 福島良岡

重点目標：(1)出席率の向上を目指し、欠席者にはメークアップ奨励。

- (2)楽しい例会となるように例会の運営進行は、会長、幹事、S. A. A.、プログラム委員、親睦委員と連繋を密にする。
- (3)若い会員の確保に努力する。
- (4)会員相互の親睦は勿論、会員家族近隣クラブ、特に兄弟クラブの中央RCと親睦を深めてゆく。
- (5)本年度は創立15周年に当るので記念誌をつくるための特別委員会をつくり、その委員長を宇本君にお願いした。

昭和54年 担当理事 野田久雄

R I 創立75周年の記念すべき年に当る意義をふまえ、よりよくロータリーを理解するために、日常生活をとらえて単純、明快にロータリー精神を認識することへの相互研鑽の機会を努めて提供した。

「立派な例会」づくりとして魅力ある卓話の選択、内容の充実した読み易い週報の提供楽しい雰囲気の中で温い仲間意識を深め合えるよう心を配り1時間有意義に過ごすよう努力した。

本年度は新しい試みとして関連の深い小委員会を3つのパートに分け会合の度に情報交換等を容易ならしめることにした。

- A. 出席・親睦・雑誌会報・プログラム
- B. 広報、ロータリー情報、記録保存
- C. 会員増強、職業分類、会員選考

昭和55年 担当理事 才津圭策

例会は気楽に伸び伸びとしかも折目正しい例会に心がけ、調和のとれた卓話のプログラムを組み、雑誌会報は出席促進、親睦増進のため編集に工夫をこらし、若い会員を迎えるべく会員増強に努め、広報活動の活発化に努めた。各委員会の監督、調整に当っては昨年より始めた3つの組み合わせにより実施した。

昭和56年 担当理事 山田和嘉

クラブ奉仕の目的である綱領の「奉仕の機

会として知り合いを拡めること」を目指し、10の委員会並にS.A.A、会計を抱括調整して計画の推進に努めた。出席率の如何は種々の条件に左右されるので、各委員会の連繋した熱意ある行動で会員の自覚を促すようお願いした。

会員増強にあたっては慎重に取計らい、今年度は特に炉辺会合を推奨した。形式的な予算、冗費の使途に目を配った。

昭和57年 担当理事 平山徳一

「入っては学び、出ては奉仕するために前進しよう」のガバナーの言葉を噛みしめながら、和やかで魅力あるクラブにするために、各委員会の連絡を密にし、研鑽と反省を怠たらず、世界に友情の橋をかける第一歩となるため、各委員会の意見を理事会に反映させてゆくよう心がけた。具体的には出席の促進、親睦の増進、会員の研鑽と反省に資するための人的、物的環境の醸成に努力し、適切な会員増強を行った。

昭和58年 担当理事 中村和正

本年度の目標として

- (1)会員増強5～6名の増強をはかる。
 - (2)出席率100%を目指す。
 - (3)より一層の親睦の強化をはかる。
 - (4)月2回例会に於て情報を提供する等、情報の強化をはかる。
 - (5)委員会及び関連委員会の会合を開き活発化をはかる。
 - (6)各ロータリアンが積極的に友人や知己にロータリーをひろめ、知らせるよう呼びかけ広報の拡大をはかる。
- 以上を目標として努力した。

出席委員会

昭和49年 委員長 喬 則 雄

年度始めに会員の家庭に出席協力の例会日と年間行事を印刷したパンフレットを配布し御夫人の協力を求めた。

無届欠席者の内容を確かめ、例会場に年間の出欠表を掲示した。又メークアップの奨励を行った。

年間平均出席率86.78% 1年間無欠席者11名、永年皆勤者の表彰を行った。

昭和50年 委員長 井 上 晃

出席は義務ではない、各々の特権である。今年は福江中央RCの誕生により出席率の向上が期待出来る。反面ホームクラブの出席率の低下を憂慮する。無届欠席者をなくする様に配慮し、連続欠席者には督促を徹底した。平均出席率90.24%

創立記念日花見例会で池田、佐々野、松本(規)君の永年皆勤表彰、最終例会で15名の年間無欠席者の表彰を行った。

昭和51年 委員長 豊 増 富四郎

会員の出欠一覧表を例会場に掲示。出欠一覧表欠席番付表を週報に掲載して自覚を促した。又会員の家族に「例会日の昼食はロータリークラブで」というキャッチフレーズを印刷して配布した。創立記念日に池田、佐々野松本君3名の表彰、年度末に年間無欠席者15名を表彰。年間平均出席率89.81%

昭和52年 委員長 倉 富 不二夫

会員個人の出欠一覧表を例会場に掲示して出席の向上に努め、欠席者には必ず電話して理由を尋ねメークアップをお願いした。

53年2月、月間100%の出席率を当クラブ創立以来始めて達成した。創立記念日に永年皆勤者3名を表彰、年度末に年間無欠席者33名の表彰を行う。年間平均出席率97.54%

昭和53年 委員長 塩 塚 昭 雄

イ)、無届欠席をやめましょう。ロ)、メークアップを進んでしましょう。を年間努力目標として出席の向上に努めた。例会場に会員個人の出欠一覧表を作り、週報にも掲載して

出席の確認と促進をはかった。

年間の月別例会日を記入したデスクスタンドを会員別に作り例会席上に置いた。10月は出席率100%であった。年間無欠席者28名の表彰及び創立以来の無欠席者、池田君、佐々野君を15周年記念式典に於て表彰した。

年間平均出席率95.50%

昭和54年 委員長 松 下 留之助

ホームクラブの例会出席を強調努力し、無届欠席の絶滅、メークアップの督励、出欠一覧表の掲示及び週報に掲載。

年間地区の会合等の出席奨励をはかった。忘年会の時、創立以来の無欠席者、池田、佐々野両名を表彰。

最終例会に於て5年以上の無欠者8名、年間無欠席者28名を表彰。

年間平均出席率95.50%

昭和55年 委員長 貞 方 利 夫

ホームクラブの例会出席向上を図り、プログラム、親睦、雑誌会報の各委員会と連絡を密にして情報を交換して明るい若々しい魅力ある例会づくりに努力し欠席の絶滅を図り、メークアップを促進するため、隨時違った角度から作戦を開拓し、強制にならない様に心がけ100%達成に努めた。

年間100%の例会が7回あった。創立以来の無欠席者、池田君と年間無欠席者37名の表彰を行った。年間平均出席率96.72%

昭和56年 委員長 宇 田 和 馬

本クラブ例会の出席向上を計り会員の親睦と融合を深める。

プログラム委員や諸委員会と情報交換をし明るく楽しい例会づくりを図り、無届欠席を含む欠席のない様に努め、メークアップを促進した。クラブの出席率は週報に掲載。

創立記念日に無欠席者の池田君を表彰。最終例会に15年無欠席山下弥太郎君、5年7名1年20名の表彰を行った。

年間平均出席率94.84%

昭和57年 委員長 池 田 忠 志

例会は勿論、各種研究会、親睦会、奉仕活動等に出席するよう出席についての義務と責

任を認識させ、やむを得ず欠席する場合は必ずメークアップするよう督励した。出席記録を整理し例会毎に発表して出席に対する関心を高め、欠席の原因を除くよう努力した。

家族に出席に対する協力も要請した。

創立記念日に池田君の表彰、最終例会で15年無欠席者、中村和正君、5年3名、1年27名の表彰を行った。年間平均出席率94.45%

昭和58年 委員長 畑 中 一 徳

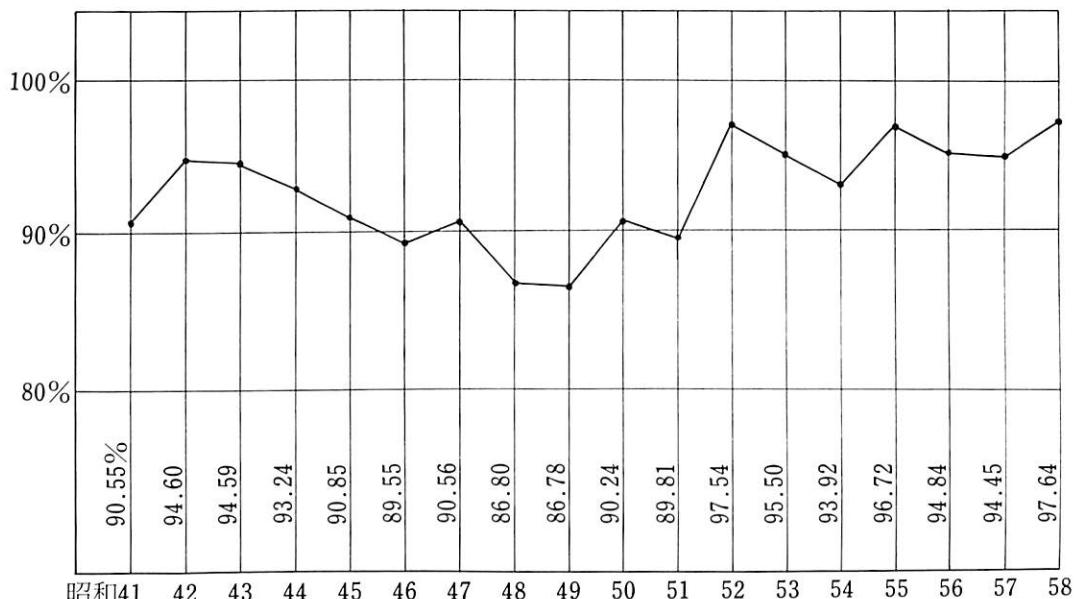
欠席した会員にメークアップ勧奨の葉書を

出し、例会毎に個人別出席表を掲出し、又クラブの出席率を発表し意識を高めた。又、地区年次大会等、地区規模の行事への出席を奨励した。

創立20周年記念式典に於て20年無欠席者、池田君、15年以上無欠席者山下弥太郎君、青山岩夫君、中村和正君を表彰し最終例会に於て10年間無欠席者、早瀬君、5年間、貞方君久米君、1年間無欠席者30名を表彰した。

年間平均出席率97.64%

＜年間平均出席率＞



親睦委員会

昭和49年 委員長 才津 卵喜男

会員、家族ぐるみの親睦を深めることを目標とした。

予算、クラブ奉仕117万円中75万円と大きく組んだ。

7月：例会に於て古稀祝 井関君、竹下君、佐々野(静)君、佐々野(利)君、松岡君 結婚記念祝 5名を行い記念品贈呈。

8月：香珠子海水浴、子供、家族同伴。

10月：ゴルフ、麻雀、囲碁大会。

12月：忘年会（会員のみ）はたなか。

2月：国際ロータリー創立70周年記念パーティー夫人同伴。

4月：花見例会、鬼岳桜園追肥作業。
会員の誕生祝、記念品贈呈、スマイルボックス 732,000円

昭和50年 委員長 中村 和正

7月：香珠子海水浴場で納涼親睦大会
福江中央RCと合同ゴルフコンペ（隔月）

9月：観月会（福江中央RCと合同）五島バ
スセンター

12月：忘年会（夫人同伴）翠仙閣
「狂院の午後」の演題によるアトラクションに会長をはじめ役員総出演。
結婚記念祝 4組

1月：福江中央RCと合同の新年例会懇親会

4月：花見会（創立記念日）親和銀行寮
還暦祝山下(弥)君、山口君
スマイルボックス 800,500円

昭和51年 委員長 佐々野 源一郎

8月：家族同伴海水浴（香珠子）
9月：福江中央RCと合同の観月会
12月：家族同伴忘年会（五島バスターーミナル
ホテル）
仕舞・高砂、記念撮影、結婚記念祝12組

1月：新年例会

3月：福江中央RCと合同親睦マージャン
(はたなか)

4月：花見（旧五島観光ホテル）

6月：新旧交代式、懇親会（五島バスターーミ
ナルホテル）

スマイルボックス 1,044,340円

昭和52年 委員長 中村 和正

9月：荒川温泉一泊親睦会

10月：福江中央RCとソフトボール試合。
優勝。

12月：忘年会、家族同伴（大波止ホテル）

余興「新名作劇場」等会長以下役員総
出演。

古稀のお祝 有福君、結婚記念祝 9名。

1月：福江中央RCと合同新年例会。

4月：創立記念花見例会。（鬼岳桜園）
福江中央RCとゴルフコンペ。

6月：福江中央RCとソフトボール試合。
敗戦。

新旧交替パーティー

スマイルボックス 897,850円

昭和53年 委員長 向原 正雄

10月：囲碁、マージャン、ボーリング大会。
福江中央RC、RACと親善ソフトボ
ール大会。

12月：忘年会（夫人同伴）五島バスターーミ
ナルホテル。

余興、踊り、座頭市、白浪五人男等
還暦祝、真名井君、結婚記念祝 9名

3月：創立15周年記念祝賀会

4月：花見例会鬼岳桜園追肥。
福江中央RCとゴルフコンペ。

6月：新旧交代式

スマイルボックス 962,400円

昭和54年 委員長 山本 鶴男

75周年特別記念会長賞争奪大会囲碁、麻雀
ゴルフ、ボーリング、魚釣り。

10月：福江中央クラブと親睦ソフトボール大
会

12月：忘年家族会（はたなか）、喜寿井関君
古稀大渕君、清滝君、佐々野(源)君、
還暦、嵩君、宇本君、5年ぎざみの結
婚記念祝 10組

6月：新旧交代パーティー

スマイルボックス 1,089,500円

昭和55年 委員長 才 津 為 夫

会員の誕生祝に記念品を贈呈。囲碁、麻雀ボーリング、ゴルフ、魚釣り大会実施。

9月：観月会（旧観光ホテル）今年は冷夏のため海水浴を中止。

12月：忘年会（大波止ホテル）、喜寿、佐々野（利）君、佐々野（静）君、古稀、野田君還暦、青山君、畠中君、結婚記念祝6組のお祝をした。

4月：鬼岳桜園親睦花見例会

6月：新旧交替パーティー

スマイルボックス1,038,135円

昭和56年 委員長 畑 中 一 徳

9月：中央クラブ合同観月会（旧観光ホテル）

10月：親睦ゴルフ大会

11月：囲碁大会

12月：忘年家族会、喜寿、松岡君、古稀、豊増君、還暦、今村君、結婚記念8組のお祝をした。

2月：麻雀大会（大波止ホテル）

4月：ロータリー桜花見宴（旧観光ホテル）

6月：新旧交替パーティー

スマイルボックス1,041,650円

昭和57年 委員長 向 原 正 雄

9月：ゴルフコンペ

10月：観月会（はたなか）

11月：囲碁大会

12月：忘年家族会（大波止ホテル）
還暦祝、池田君、才津（卯）君、結婚周年祝12組

5月：キス釣り大会

6月：R A Cと合同親睦ボーリング大会、マージャン大会、新旧交代パーティー

スマイルボックス789,898円

昭和58年 委員長 北 島 千代福

8月：荒川温泉1泊旅行、麻雀大会、魚釣り大会。

11月：ボーリング大会。

12月：忘年家族会（はたなか）

古稀祝、堀本君、還暦祝、福島（義）君
結婚記念博愛コンビ7組、カラオケ、

かくし芸表彰、会議所婦人グループハイアン等

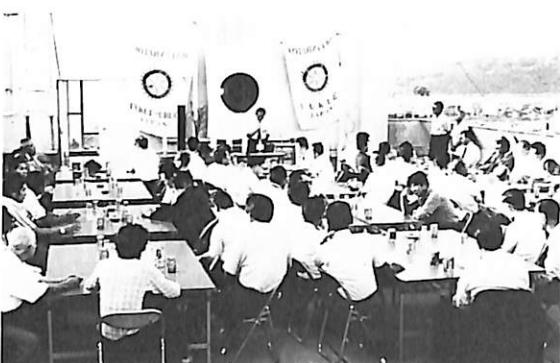
1月：新年会（毎週会員の誕生祝を行い記念品を贈呈）

5月：創立20周年記念祝賀会（大波止ホテル）

6月：新旧交代パーティー

スマイルボックス776,893円





30福江ロータリーフラフ忘年会



プログラム委員会

委員長・昭和49年宇本 功、昭和50年中村繁春、昭和51年嵩 則雄、昭和52年山田和嘉、昭和53年平山久仁俊、昭和54年長谷川庫一、昭和55年山本鶴男、昭和56年宇本 功、昭和57年川口博正、昭和58年早瀬博道

卓話の記録 (敬称略)

年月日	卓 話	氏 名	年月日	卓 話	氏 名
昭49. 7.19	ロータリー精神を振るい起せ	ガバナー蟻川五二郎	11.21	ロータリー財団週間について	会員 清滝 実雄
8.23	企業経営と自動車事故	安河内 邦夫	11.28	火災予防について	下五島広域圏消防本部長 坂谷 芳朗
9.20	ロータリー新入会員としての感想	会員 佐々野源一郎	12. 5	情報研究会報告	会員 野田 久雄
9.20	最近の日韓関係について	会員 浦 雄一郎		"	会員 才津 金人
9.27	福祉行政について	五島福祉事務所 薩 本 所 長			
10.25	トイレと健康	会員 山田 和嘉	12.12	お茶の指導	木場絢子・その他
11. 1	四つのテストについて	山 下 会 長	51. 1.23	福江市政の現状	会員 山口七之助
11. 8	スライド「相違を生じるか」	会員 中村 繁春	1.30	雑誌週間にあたって	会員 福島 義範
11.22	ロータリー財団週間でのそんぞく	会員 清滝 実雄	2.13	仏典の偈文について	"
11.22	交通安全について	林田福江警察署長	2.20	福江市政について	福江市長 西野 稔
11.29	地区連合年次大会報告	山 下 会 長	3.12	利益ふん尿論	滲透工業KK社長 西 淳
	"	会員 山下昇・福島義範			
12.20	五島史の謎	五島文化協会長 郡 家 真 一	3.26	医療の諸問題	会員 嵩 則雄
50.1.17	私の失敗談	会員 真名井六三	4. 9	私の仕事	会員 才津卯喜男
1.24	ロータリー雑誌週間	会員 真田 辰良	4.23	I.G.F 報告	宇本会長・才津金人
1.31	福江島の環境公害について	福江保健所長 牧 文 夫		"	才 津 卯喜男
2.14	ハワイ旅行	会員 井上 晃	5. 7	五島の行政について	五島支庁長 佐々野 泰 一
2.23	ロータリーの原点	会員 野田 久雄	6.11	交通安全について	野田福江警察署長
3.14	I.G.F 報告	会員 浦雄一郎・有福勇	昭51. 7.23	例会日誕生日ズバリ確率について	会員 佐々野利一郎
	"	近 藤 俊 樹	8.20	「さまざまな目」	会員 嵩 則雄
4.18	"	佐々野 源一郎	9.17	「奉仕」私はロータリーを信奉する	ガバナー 田中丸善三郎
5. 2	最近の金融経済動向	会員 真田 辰良	9.24	日常生活に関する法律の諸問題	会員 野田 久雄
6.27	モントリオール国際大会に参加して	会員 井関 敏則	10. 1	メークアップ雑感	会員 山下弥太郎
8.22	人間に威信を!	ガバナー 岡野 正実	10.22	身障者と健常者との心のぶれ合い	福江市身障者協会会長 杉 内 富 夫
8.29	私は職業奉仕をこう考える	会員 中村 繁春	10.29	私の職業	会員 堀本 一造
9. 5	アメリカ西海岸レポート	会員 才津 金人	11. 5	来日交換学生来福に際して	会長 池田 敏郎
9.12	ケニヤ旅行	郡家病院長 郡家 真一	11.12	フィリッピン・パリ島旅行	会員 倉富不二夫
9.26	私の仕事	会員 才津 金人	11.26	最近の労働基準行政の展望	福江中央RC 又 野 一 吉
	国際理解週間にあたって	会員 近藤 俊樹	12. 3	I.G.F. 報告	池 田 会 長
10.17	青少年理解週間について	会員 有福 勇	12.24	半数必中界	会員 才津 金人
10.24	私の仕事	会員 近藤 俊樹	昭52. 1.28	雑誌週間にあたって	会員 山下弥太郎
10.31	私の仕事、農業と職業について	会員 佐々野源一郎	2. 4	第370地区青少年委員会について	会員 佐々野利一郎
11.14	商工会議所の運営について	会員 伊達 伸一	2.14	五島とヨーロッパ文化	野 下 神 父
11.21	ロータリー情報研修会について	宇 本 会 長	2.25	国際ロータリー創立記念日にあたって	池 田 会 長

年月日	卓話	氏名	年月日	卓話	氏名
昭52.3.4	「ロータリー」を考える	会員 松本 規純	昭53.7.21	マスコミ問題、外国と日本の新聞 運、不運、2度も原爆にあって ジェットフォイル就航1年間の成果調査	分区代理 中沢忠雄 (長崎東RC)
3.11	予科練の想い出	会員 塩塚 昭雄	8.11	私の趣味	会員 井上 晃
3.18	福江市観光協会について	会員 久保 浩助	8.18	奉仕とは	会員 山口七之助
4.15	年次大会報告	池田 会長	8.25	敬老の日を前に考える	会員 平山久仁俊
5.13	20年間の疾病の推移	会員 宇本 功	9.1	順序の数について	会員 佐々野利一郎
5.20	私の職業	会員 清滝 実雄	9.8	言葉のあや	会員 嵩 則雄
5.27	私の職業	会員 山口七之助	9.22	ロータリーの職業奉仕について	ガバナー 新家 忠男
6.3	救急医療について	会員 井上 晃	10.13	長崎県親善訪中団に参加して	会員 西津 繁矢
昭52.7.29	ジェットフォイルに試乗して	会員 山口七之助	8.11	ロータリー財団週間にあたって	// //
8.5	航路標識について	福江航路標識 事務所長 塚本一司	11.10	星空をみて、おもいくま、に	会員 久米 哲彦
8.19	私の原爆体験記	会員 宇本 功	11.24	五島地方の現況	五島宮林署長 桜 田 南海男
8.19	私の終戦の頃	会員 中村 繁春	12.8	田口源といわれた、 七里内長老師のこと	会員 佐々野源一郎
8.26	私の終戦の頃	会員 池田 敏郎	昭54.1.19	五島の方言	森 田 栄次郎
9.2	台風について	福江測候所長 古 閑 賢 一	1.26	R I創立74周年記念日に当って	会員 野田 久雄
9.9	錯視	会員 山田 和嘉	2.2	『蝶、 或る老人との出会いと 悪戯事件について』	会員 宇本 功
10.7	仏教と私	会員 福島 義範	2.23	当クラブ創立15周年にあたって	会員 長谷川庫一
10.28	私の死生観	会員 嵩 則雄	3.2	鬼岳桜園について	眞名井 会長
11.4	I.G.F報告	堀本会長・その他	3.9	I.G.F報告	眞名井会長、外 //
11.11	ロータリー財団週間に当って	会員 野田 久雄	3.16	年次大会に出席して	会員 今村伊之次
11.18	年次大会報告	堀本会長・その他	3.23	4.27 ロータリー雑誌週間	会員 野田 久雄
11.21	全人類を結びつけるために奉仕せよ	ガバナー 七條 達夫	3.30	私の思い出	会員 竹下利之右衛門
12.16	名とは何でしょう？	会員 竹下利之右衛門	4.20	5.4 米山記念週間にちなんで	会員 平山久仁俊
昭53.1.13	私の奇跡的体験	会員 西津 繁矢	4.27	5.11 元号	福江市長 西 野 稔
1.13	私の奇跡的体験	会員 真名井六三	4.27	5.22 部門を行動的にするリーダーのあり方	会員 堀本 一造
1.27	雑誌週間にあたって	会員 宇本 功	5.4	6.8 市政の進め方	会員 才津 金人
1.27	誕生日雑感	会員 真田 辰良	5.11	7.20 日本の経済の現況	分区代理 森本宗一郎
2.3	民謡「岐宿の子守唄」その他	岐宿町教育委員会 松 山 勇	5.22	8.24 子供に対する私の家庭教育	会員 長谷川庫一
2.10	救急医療体制について	会員 嵩 則雄	6.8	9.7 シカゴ国際大会及び佛教講演会	中村和正会長
2.17	R I 73周年にあたって	会員 才津 金人	昭54.7.20	9.28 R I創立75周年記念事業	会員 中村 繁春
3.3	離島記者28年のメモ	元毎日新聞記者 月 川 武 夫	8.24	9.28 カナダ旅行記	会員 松本 繁男
3.11	検視のはなし	会員 井上 晃	9.7	10.12 社会奉仕の理念	会員 堀本 一造
3.17	孤島の想い出	福江警察署長 野 田 与三郎	9.28	10.19 職業奉仕週間に当って	会員 宇本 功
3.24	あなたは14分30秒づつ生 命を短縮している！	会員 浦 雄一郎	10.19	11.9 奉仕の灯で道を照そう	ガバナー 喜多村禎男
4.14	北欧のこども	会員 才津 金人	11.16	12.7 二日酔のおすすめ	会員 野田 久雄
4.21	米山記念週間にあたって	会員 野田 久雄	12.14	12.14 ネバールに医療奉仕する 岩村博士のこと	会員 貞方 利夫
5.12	「町の話題」 ボリ袋によるゴミ回収	会員 才津 金人	12.21	12.21 会員選挙の為に六段階の確認を	会員 中村 繁春
5.26	東京国際大会に出席して	堀 本 会 長			会員 才津 金人
6.2	"	会員 才津卯喜男			
6.2	"	会員 野田 久雄			
6.9	市政展望	福江市長 西 野 稔			

年月日	卓 話	氏 名	年月日	卓 話	氏 名
昭55. 1.11	物には寿命がある	会員 宇田 和馬	3.16	創立記念日に思う	会員 池田 敏郎
1.18	近距離航空移管について	会員 伊達 仲一	3.16	I.G.Fに参加して	青山 会長
1.25	椿の継木の要領と経験	会員 清滝 実雄	4.10	年次大会に参加して	青山 会長
2. 1	五島古代史の一面	五島文化協会 的 野 圭 志	4.17	炭鉱離職者の思い出	会員 宇田 和馬
2. 8	ヨガと健康	前市長 田口 馬次	4.24	雑誌週間に当って	会員 平山 徳一
2.15	趣味の園芸	会員 堀本 一造	5.22	自動車学校からみた国際	会員 杉山 巍
2.22	市政展望	西野福江市長	5.29	障害者年と青少年問題	
3. 4	R I 75周年記念講演	パストガバナー 清 島 省 三	6.12	黄島住民検診	会員 福島 良岡
3.21	I.G.F報告	会員 川口博正、外		常識と非常識	福江保健所長 川 越 武 慶
4.25	雑誌週間にあたって	会員 才津 圭策	7.24	長崎市姉妹都市アメリカのサン スト旅行の話、ガバナーの仕事	ガバナー 鈴木 徒道
5. 2	此の頃思うこと	会員 福島 義範	8.21	高血圧と食塩	会員 宇本 功
5. 9	互助精神に生きよう	善教寺住職 七 里 慎 章	8.28	「何故荒廃した」	五高校長 有江 正春
5.16	七里円長御老師をしのぶ	五島文化協会会長 郡 家 順 一	9. 4	九死に一生	西津 会長
5.23	歴史のブラックホール	会員 佐々野利一郎	9.11	ペンの罪	会員 平山 徳一
7.11	職業を通じて奉仕	ガバナー 橋口謙太郎	10. 9	R I 会長歓迎大会に出席して	西津 会長
9. 5	ソ連抑留記	会員 真名井六三	10.23	職業奉仕週間によせて	会員 嵩 則雄
9.12	「確からしさ」あれこれ	会員 佐々野利一郎	10.30	日本仏教と弘法大師について	明星院住職 増 田 正 純
9.13	無欠席は健康が鍵	会員 佐々野静衛	11. 6	奉仕について	会員 長谷川庫一
9.14	福江R A C 創立10周年記念式典に際して	パストガバナー 岡 野 正 実	11.13	くらしと税金	福江税務署長 島 崎 剛
		青山 会長	11.20	ロータリー財団週間にについて	会員 堀本 一造
9.14	発想の転換	本山小学校長 入 江 久 光	11.27	五島民謡	五島民謡の会 平 田 紀 典
9.19	青少年活動週間によせて	会員 野田 久雄	12.11	すまいと寒さ	会員 山田 和嘉
10. 3	米山週間を迎えて	会員 福島 義範	12.18	" (続)	"
10.17	ポールハリスの家族	会員 野田 久雄	昭57. 1.29	最近の経済環境	会員 秋元 隆雄
10.24	「創立75周年基金」について	会員 中村 繁春	2. 5	「過去と現在」	会員 川口 博正
10.24	職業奉仕週間に当って	会員 才津 祐造	2.12	石油後のエネルギー源は?	会員 久米 哲彦
10.31	下五島に於ける最近の犯罪情勢	福江警察署長 大 島 弘 道	2.19	国際ロータリー 創立記念日に当って	会員 長谷川庫一
11. 7	全国カードサービス	会員 宇田 和馬	2.26	世界理解週間に際して	会員 平山 徳一
11.28	マザーテレサが ポールハリスフェローに	会員 川口 博正	3. 5	ほほえみのために	会員 福島 義範
12. 5	私の趣味の盆栽	会員 清滝 実雄	3.12	当クラブ創立記念日を迎えて	西津 会長
12.12	機織に思う	会員 平山 徳一	3.12	創立当時の想い出	会員 清滝 実雄
12.19	欧洲の古都めぐり	会員 宇本 功	3.19	I.G.F報告	会員 塩塚 昭雄
昭56. 1. 9	1月のロータリー	会員 野田 久雄		"	会員 早瀬 博道
1.16	コンピューターの計算	会員 久米 哲彦	3.26	少年非行概要	福江警察署長 金 沢 誠 也
1.16	一笑一少一怒一老	会員 宇田 和馬	4. 9	I.G.Fに於ける 新会員のアンケート	会員 平山 徳一
1.23	創造的思考	会員 車田 宣昭		累計の概要	
2.13	最近の医療問題について	会員 嵩 則雄	4. 9	会報委員長研修懇談会について	会員 才津 祐造
2.20	ロータリー創立記念日に因んで	会員 野田 久雄	4.16	眼疾患と遺伝	会員 嵩 則雄
2.27	世界社会奉仕理解週間	会員 川口 博正	4.23	" (続)	"
2.27	法王歓迎集合に学ぶ	会員 平山 徳一	4.30	ロータリー雑誌週間にちなんで	会員 才津 祐造
3. 6	次期会長研修会に参加して	会員 西津 繁矢	5. 7	第270地区年次大会に参加して	西津 会長

年月日	卓話	氏名	年月日	卓話	氏名
昭57.5.14 6.4	五島の生活保護の現況 対馬島めぐり	会員 宇本 功 会員 野田 久雄	7.29 8.12	「四つのテスト」について 会員増強について	会員 長谷川庫一 分区代理 村上 明
8.6	ひとつの平和運動	堂崎天主堂館長 野下千年神父	8.19	少年問題について	円能寺福江警察署長
9.3	「天の声」私の嫌いなこと	会員 久米 哲彦	9.2	話しあいの進め方	会員 平山 徳一
9.10	青少年健全育成	五高校長 有江 正春	9.9	国政の現況について	衆議院議員 白浜 仁吉
9.21	人類は一つ、世界中に友情の橋をかけよう	ガバナー 北島 常一	9.16	誕生日とズバリについて	会員 佐々野利一郎
10.8	ドルの両替	会員 秋元 隆雄	9.30	学習・ロータリーの出逢い	ガバナー 逸見 嘉彦
10.15	私の職業	会員 嵩 則雄	10.28	青少年活動月間を終えて	会員 佐々野邦久
	"	会員 山下弥太郎	10.28	地区広報、雑誌、会報委員長懇談会に参加して	会員 宇本 功
	"	会員 秋元 隆雄		"	会員 長谷川庫一
10.22	米山週間にあたって	会員 今村 伊之次	11.11	財政と税務行政の現状	北鳴福江税務署長
10.22	三分間スピーチ「見る」	会員 山田 和嘉	11.18	地区年次大会に出席して	会員 野田 久雄
10.29	思い出の中に教育を語る	元教育長 川口 三吉	11.25	I.N.Sとは	会員 原田 真
11.5	税務行政の現状	福江税務署長 北島 喜一	昭59.1.13	地名の面白さ	会員 的野 圭志
11.12	奉仕の機会と知り合いを拡める	会員 長谷川庫一	1.20	学校が行う懲戒について	五島商高 山本愛三校長 長崎労働基準監督署福江 駐在所長 松本 守
11.12	三分間スピーチ「奉仕する心」	会員 平山 徳一	2.3	実務的な労務管理について	才津会長、その他
11.19	ロータリー財団週間	会員 佐々野利一郎	2.17	I.G.F報告	会員 平山 徳一
11.26	「天の声」定期法要を終えて	会員 福島 義範	3.2	世界理解と平和の日に	会員 久米 哲彦
11.26	中国を旅して	福江市農協専務 木場 弥一郎	3.23	太陽発電衛星	会員 平山 祐己
12.7	青少年活動週間に当って	会員 松本 繁男	4.6	次期会長研修会に出席して	会員 福島 義範
12.14	三分間スピーチ「高齢化社会とは」	会員 山下弥太郎	4.6	私の歩く道	会員 佐々野邦久
昭58.1.21	三分間スピーチ「老人ということ」	会員 嵩 則雄	4.13	相続について	会員 長谷川庫一
1.28	三分間スピーチ「聴談議」	会員 久保 浩助	4.20	雑誌週間にあたって 「友」についてのアンケート	会員 長谷川庫一
2.18	R.I創立記念日に当って	会員 平山 徳一	5.4	終戦	会員 江川 京次
3.4	I.G.F報告	山下会長、その他	5.11	新会員研修会報告	会員 平山 徳一
3.4	次期会長研修会に出席して	会員 才津 金人	5.18	20周年記念行事の準備状況について	会員 才津 会長
3.11	当クラブ創立記念日に当って	山 下 会 長	5.25	日米交換学生来訪について	会員 井上 晃
3.11	創立当時の想い出	会員 池田 敏郎	5.27	20周年記念事業報告	会員 嵩 則雄
3.18	年次大会に参加して	山下会長、その他			
3.25	労働基準行政における トピックス等	長崎労働基準監督署 松本福江駐在事務所長			
4.1	ライラ大会に出席して	会員 松本 繁男			
4.15	青少年健全育成について	福江市青少年健全育成連絡協議会長 藤原 正實			
4.22	ロータリー雑誌週間に当って	会員 宇本 功			
5.6	参議院選に伴う比例代表制について	福江市運営事務局長 川崎 久二			
5.13	五島の観光について	会員 久保 浩助			
5.13	随想「藍より出でて」	会員 杉山 巍			
5.20	福江市のサラ金の現況	会員 秋元 隆雄			
5.27	指導員の手記より	会員 杉山 巍			

雑誌・会報委員会

昭和49年 真田 辰良 昭和50年 福島 義範
昭和51年 山下弥太郎 昭和52年 宇本 功
昭和53年 山下 昇 昭和54年 才津 圭策
昭和55年 平山 徳一 昭和56年 才津 祐造
昭和57年 宇本 功 昭和58年 長谷川庫一

I. 会 報

各年度の委員会は毎週、週報を編集発行をした。週報は記録性を重要視し、毎例会におけるプログラム、会長、幹事、理事会の報告を記録すると共に、各委員会の奉仕活動を広報し、フォーラム、アッセンブリー、部内、部外卓話の内容を掲載した。又、親睦促進のため、全員の誕生祝の時のスピーチ、親睦委員会の報告するスマイルボックス等の掲載、ロータリー情報の記載に努め、出席に関しては出席委員会の報告する欠席者、メークアップ者の記載と共に毎月の出席率を記入して会員の出席に対する関心を高めるべく努力した。

昭和50年には別冊として前期、後期に分

け卓話集を発行した。昭和51年より写真が入り、第1回は香珠子海水浴場の親睦会であった。読み易く、親しみ易い週報の目的をもって、昭和54年度は表紙が従来のものとがらっと変って、青い海をバックにした大瀬崎灯台のカラー写真となり、余白に会員の揮毫や会員夫人の書画やスケッチをのせ編集、活字共に読み易い様に苦心した。その後昭和55年は鬼岳のカラー写真、昭和56年は石田城の鉄砲窓と教会のステンドグラスがアレンジされ、昭和57年度はR I 会長のテーマにそって、五島から東支那海を渡る遣唐使船が表紙になった。今年度は国際ロータリーのテーマのモチーフが表紙になった。

II. 雜 誌

「ロータリーの友」誌を全会員に配布。愛読のPRに努め、重要な、或は興味ある記事の紹介と共に、例会に於て抄読した年度もあり、毎年度週報に掲載した。ロータリー雑誌週間には卓話を行った。ザ・ロータリアン誌は毎年県立高等学校の図書館に寄贈している。



会員増強委員会

昭和49年 伊達 仲一 昭和50年 野田 久雄
 昭和51年 北島千代福 昭和52年 平山 稔己
 昭和53年 宇本 功 昭和54年 福島 良間
 昭和55年 真名井六三 昭和56年 中村 和正
 昭和57年 野田 久雄 昭和58年 山本 鶴男

年度	入会者	退会者	会員数
S.49	福島 義範 井上 晃 近藤 俊樹 3名	0名	50
S.50	道津 安石 1名	三浦二男、石井 勇(転勤)、眞崎朔義(一身上の都合) 3名	48
S.51	松下留之助 塩塚 昭雄 平山久仁俊 3名	近藤俊樹(死亡) 1名	50
S.52	長谷川庫一 貞方 利夫 2名	松本規純(病気) 1名	51
S.53	才津 祐造 久米 哲彦 松本 繁男 宇田 和馬 4名	道津安石(転勤) 浦雄一郎(一身上の都合) 2名	53
S.54	森田 栄治 平山 徳一 牟田 宣昭 3名	眞田辰良(転勤)、福地正登(一身上の都合)、佐々野源一郎(死亡) 3名	53
S.55	池田 忠志 杉山 巍 2名	平山久仁俊、眞名井六三(一身上の都合)、竹下利之右衛門、佐々野静衛、松下留之助(死亡) 5名	50
S.56	佐々野邦久 秋元 隆雄 藤田 七郎 3名	宇田 和馬 森田 栄治(転勤) 2名	51

年度	入会者	退会者	会員数
S.57	安永 克巳 平山平八郎 井関 哲郎 原田 真 牟田 恒昭 5名	井関 敏則、久保 浩助 平山平八郎、豊増富四郎(一身上の都合) 有福 勇(死亡) 4名	52
S.58	江川 京次 的野 圭志 松林 行一 川尻伊之昭 水田 亘昭 引地 寛 6名	平山平八郎、倉富不二男 大渕 貞雄(一身上の都合)、原田 真、 秋元 隆雄(転勤) 塩塚 昭雄(死亡) 6名	52

会員選考委員会

昭和49年 委員長 松岡 三十郎

被推せん会員の人格、実業、社会的地位を周到に調査し地域の特殊性を加味して選考した。

昭和50年 委員長 竹下利之右衛門

本年度は福江中央RCの会員増強に協力しなければならないので、当クラブの会員選考は少ないと予想されるが、当クラブに入会したいという本人の希望は尊重しなくてはならぬ。会員平均年齢の高齢化をさけるため、中堅以下の年齢層をより多く推せんされる様希望した。

昭和51年 委員長 山口 七之助

推せんの人物がクラブ会員として適格であるか否か、慎重に検討し会員選考に努め、ルールに従って相当理事とも連繋をとった。

昭和52年 委員長 竹下 利之右衛門

会員の質的向上を指向するとともに、地域の実情を考慮し現在の平均水準を目安として選考した。

昭和53年 委員長 伊達 仲一

新会員として推せんのあった人物について既クラブ会員の受け入れ易い人物であることは勿論、会員以外の地域の人々からも望ましい人格を適格者とした。

昭和54年 委員長 西津繁矢

推せんされた会員候補者は職業分類委員会とは別の面では当該候補者の資格要件を人格職業上及び社会的地位並びに同業者の風評等を調査し、会員になる資格の適否を決定し理事会に報告した。

昭和55年 委員長 山下 弥太郎

個人としての適格性、職業上からみた業界に於ける地位、社会的行動等を検討し、資質適性の基準も地域性を考え、現在若年で少々力不足と思われても将来性を考え選考に臨んだ。

昭和56年 委員長 中村繁春

本人の人格的な面に重点を置き、所属する業界に於ける名声と本人の将来性、地域社会

に於ける信用の評価に留意して選考した。

昭和57年度 委員長 清滝 実雄

職業分類、会員増強の各委員会と連繋を密にして身心共に健康で入会条件の整った会員としても適性豊かな人材を選考した。

昭和58年 委員長 嵩則雄

会員の質の向上を志すとともに地域の実情を考慮して現会員の平均的水準をめやすに人物本位の選考を行った。

職業分類委員会

委員長：昭和49年 才津 為夫 昭和50年松本 規純 昭和51年才津 為夫
 昭和52年早瀬 博道 昭和53年佐々野静衛 昭和54年山田 和嘉
 昭和55年有福 勇 昭和56年 牟田 宣昭 昭和57年青山 岩夫
 昭和58年青山 岩夫

○ 現正会員 △現シニア ● 過去充填 × 現在抹消項 ◎ 未充填

種別・職業分類	現況	職業分類	現況	職業分類	現況
医療業		食料乾物配布	○	宗教	
病院	○ △	履物配布	○	仏教	○ ○
歯科医	△	セメント配布	△	キリスト教	● ×
眼科医	△	薬局	△	金融業	
外眼科医	○	織維配布	△	商業	銀行
内科医	○	自動車配布	△	貯蓄	銀行
整形外科医	○	自動車部品配布	○	郵政事業	
小児科医	○	酒類配布	○	郵政事業	
産婦人科医	○	文房具配布	○	運輸業	
循環器科医	● ×	事務機配布	○	貨物自動車運輸	
耳鼻科医	● ×	陶芸品配布	● ×	海運業	
サービス業		時計配布	● ○	海沿岸業	運運
旅館	△	砂及砂利配布	● ○	林業	△
ホテル	△	建築材料配布	● ○	鉱業	△
自動車学校	○	自動車修理	○	農業	合栽培業
タクシー業	○	衣料配布	○	果樹農業	△
印刷業	△	家具配布	○	農業	△
電気通信業	○	清涼飲料配布	○	農業	△
学園経営業	○	米穀配布	×	果樹栽培業	× ×
バース亭業	● ○	サンゴ加工業	×	農業	○
生命保険業	● ○	建築業		漁業	
観光業	×	建築業	△	漁業	○
飛行場管理	×	建築設計業	△		
版殻業		港湾工設業	△		
木材配布	△	道路建業	△	会員 52名	
石油配布	△	塗装業	○	正会員 26名	
革袋及靴配布	△	由業		シニア・アクティブ会員	
牛乳配布	△	著述業		26名	
電気器具配布	△	司法書士業	○	未充填 11名	
菓子製造	△	税理士業	△	(昭和58. 9. 20現在)	
燃料配布	○	弁護士業	○		
鉄鋼配布	△	仕立業	×		
金物配布	△	洋服仕立業(婦人)	△		

ロータリー情報委員会

昭和49年 委員長 野田久雄

新会員並に会員にロータリーについての歴史、綱領、業績、任務について適切な知識を完全に理解せしめるために例会にロータリー情報の時間をとり、ロータリーの友を活用、委員交代で数回実施した。又、週報にロータリー情報を掲載した。

5.23.新入会員との炉辺会合を行った。

昭和50年 委員長 才津金人

毎週報にロータリー情報をもりこむ様に努めた。又、毎例会の事情の許す限り「ロータリーを主題」とする簡単な話を3分位交替で行った。ロータリー創立記念日のスライド映写会やロータリークイズも行った。5月には2回にわたってパネル討論会を実施。(1)社会奉仕について、(2)クラブ奉仕について。

昭和51年 委員長 福地正登

創立10年以上を経過した当クラブでは会員のロータリー経験が豊かで特別な企画も必要ない様に考えられるが、ともあれ初心にもどって情報活動を行った。

昭和52年 委員長 伊達仲一

会員候補者にロータリークラブ会員の特典と資務に関する情報を提供。新入会員を囲んで炉辺会合の実施。会員にロータリーに関する情報を提供。52.12.18、ロータリー情報研究会(佐賀市医師会看護院)へ出席。

昭和53年 委員長 竹下利之右衛門

なるべく具体的問題を中心としてロータリーの綱領、性格、ロータリー及びロータリアンの行動基準を考える資料を提供。又、教養に関する資料を提供。新入会員を囲む炉辺談話を年2回実施し、「四つのテストと職業奉仕」等の卓話を行った。

昭和54年 委員長 池田敏郎

例会におけるロータリー情報の時間を年間10回準備したが、プログラムの都合で全部消化出来なかつた。国際児童年について、交換学生について、新入会員研修会について、会員選挙の7段階について。又、週報にロータリー情報をもりこんだ。

昭和55年 委員長 野田久雄

各奉仕部門の奉仕活動を活潑にして、ロータリ

ー運動を推進してゆく為に、各会員がロータリーの実際的知識を充分身につけるよう努力した。毎週の週報に「ロータリー綱領」を初め、ロータリーの友を活用してロータリーに関する情報を掲載すると共に卓話及び定款改正の説明を行つた。又、情報委員会を開催して「当クラブ細則の見直しについて」討議し理事会に報告した。

昭和56年 委員長 才津金人

当クラブは創立以来18年を経て、シニア会員の構成比の高い成熟したクラブに位置している現状をふまえ、クラブの活性化を計る為、ロータリーの円滑な運営に資する活動を推進する為、毎週ロータリー運営に関するミニ情報の提供、会報、広報委員会と連動を計り理念の普及に推進した。ロータリー創立記念日、世界理解週間の卓話、IGFに於ける新会員のアンケートの累計の概要の報告を行つた。

昭和57年 委員長 長谷川庫一

クラブ細則による委員会の任務をふまえ、特にクラブの適正にして円滑なる運営に資するため、常に正しい情報を提供するよう努力した。例会に於てクラブ運営に関するミニ情報を提供すると共に、会報を通じてロータリーの概念について普及を計った。入会3年末満の会員6名の研修懇談会、会員候補者に対し入会前の研修として正しいロータリーの知識についての教育を実施した。又、例会に於て「奉仕について」の卓話を実施した。

昭和58年 委員長 平山徳一

クラブの適正にして円滑な運営に資するため常に正しい情報を提供し、新会員に対しては特典と義務を理解させるよう努力した。即ち、ロータリーの歴史、綱領、活動範囲などのミニ情報、最新のロータリー情報を収集して、週報紙上に或は卓話として会員へ提供した。又、クラブに対する会員の責務について研究の場を提供した。新入会員の研修懇談会を年2回実施した。

炉辺会合

今年度は全会員を5つのグループ、Aグループリーダー野田久雄、Bグループ嵩則雄、Cグループ宇本功、Dグループ中村繁春、Eグループ池田敏郎に分け、ロータリーの諸問題をテーマに炉辺会合が行われた。

広報委員会

昭和49年 委員長 中村繁春

当クラブの月間活動計画を地元新聞記者クラブに通報し、ロータリー活動の情報を報道に提供。クラブ内部に対する広報活動を重視し各委員会の活動計画を一括して伝達し、会員にクラブ全体の計画を把握理解させ、クラブの奉仕活動に対する連帯感の高揚につとめた。国際ロータリー創立70周年に当たり、五島新聞一頁にポール・ハリスの写真と共にロータリーの歴史、活動状況等編集し掲載した。

昭和50年 委員長 川口博正

部内広報、クラブ奉仕担当理事と協力して各委員会の主要な審議事項及び決議について例会場の玄関に黒板を新設して利用し伝達に努力した。外部広報、地域社会に活動状況を広く知らしめる為に地元に於て利用出来る総ての機関にそれを供給する様に努めた。福江中央R.Cと週報の交換を行った。

昭和51年 委員長 久保浩助

1) 部内広報、クラブ奉仕担当理事と協力して各委員会の重要な審議事項及び決議についての報告を伝達するよう努めた。
2) 部外広報：地域社会に対してロータリーの活動状況を広く知らしめる為に地元の報道機関に情報を提供した。
3) 中央クラブとの週報の交換を行った。

昭和52年 委員長 中村繁春

部内広報：地区内近隣クラブの活動状況についてプログラム等の資料を取り寄せ之を会員に発表して当クラブの今後の参考にした。福江R.A.Cの現状を報告し、クラブを構成する若い人達の考え方を把握して当クラブ会員に伝達し、これからR.A.Cの育成の有効な資料とした。

部外広報、当クラブの主要な奉仕活動について新聞記者クラブに対して文書をもって資料を提供。五島時間の追放、時間励行運動を通して地域住民に対してロータリーの存在を認識させてゆきたい。

昭和53年 委員長 松下留之助

部内広報、担当理事及び各委員会と横の連絡を密にして重要な審議など決議事項について部内広

報の徹底をはかった。又、近隣クラブの週報の交換を行い当クラブの広報の参考とした。

部外広報、広報の輪を各ロータリアンの家庭まで広げて広報活動に対する連帯感の高揚を計った。又、報道機関にロータリーの奉仕活動の情報を提供した。

ロータリー週報、ロータリーの友誌に対するアンケートの集計を行い報告した。

昭和54年 委員長 早瀬博道

今年も部内広報と部外広報の両方の伝達をふくむ広報活動を進めた。特に今年度はR.I.75周年に当り、この広報に力を入れた。中村特別代表、宇田委員の協力を得て、クラブ創立以来これまでロータリークラブが果した地域社会への奉仕活動の実践状況等をまとめて55.3.5発刊の五島新聞に寄稿発表した。

昭和55年 委員長 池田敏郎

地域社会に対し、ロータリー活動状況を広く知らしめる為、地元に於て利用出来る総ての機関に広報した。しかし、ニュースとして流してもなかなか記事として掲載してくれない今迄のいきさつもあってつい消極的になりがちになることを反省している。

昭和56年 委員長 野田久雄

地元地域社会の人々にロータリーの奉仕活動の眞の意義を正しく理解し、共感をよぶよう工夫すると共に、クラブ内伝達も留意し、全会員が広報委員であるように認識を深めるよう努力した。年間を通じ部外、特にマスコミに対しクラブ活動の広報に努め、報道関係の記者と懇談会を開催した。

昭和57年 委員長 池田敏郎

クラブの例会に報道関係その他各種団体の代表者を招き、ロータリーに対する理解を深めるよう努めた。

- ① 職業奉仕委員会の主催するフォーラムに地元報道関係者6名を招待。
- ② ローターアクト執行部7名を例会に招待。
- ③ 青年会議所執行部10名を例会に招待。

又、ロータリアン個々の行動こそ眞の広報であることをよく認識していたゞき、全員の積極的な協力を求めた。

昭和58年 委員長 宇本功

本年度は当クラブ創立20周年にあたり、記念式典及び諸行事が企画されたので、広報としてもこれに主力をそゝいだ。報道機関の協力をえて、五島新聞、長崎新聞紙上に記念式典や記念講演会、記念事業としての時計台について報道がなされた。五島新聞には江戸英雄氏の記念講演会の広告を出

し、一般市民の参加を呼びかけた。合同旅行で福江にやってきた来日交換学生と五島高校生との交歓の模様も報道された。又、ガバナー月信から依頼の「クラブ自慢の話」に池田敏郎君を紹介、20周年記念式典に関する寄稿をした。

記録・保存委員会

委員長

昭和50年	平山 稔巳	昭和51年	才津 圭策
昭和52年	福島 義範	昭和53年	平山 稔巳
昭和54年	福島 義範	昭和55年	井上 晃
昭和56年	井上 晃	昭和57年	福島 義範
昭和58年	平山 稔巳		

昭和49年、当クラブ創立10周年に当り記念誌「10年の歩み」が編集発刊されたが初期の年代の写真、記録集めに苦労した経験にかんがみ、将来15、20年と記念誌発刊も予想され、クラブの記録保存の重要性が認識され、昭和50年度にクラブ奉仕の小委員会として記録・保存委員会が新設された。

1. 週報及びガバナー月信の保存。
2. 重要な卓話、並に講演会等の録音と保存。
3. クラブ行事各委員会の活動状況の写真撮影及び保存。(ネガ、焼付け共)
4. 各年度の出席表の保存と創立よりの出欠一覧表の作成。
5. その他に重要文書、その他幹事と協議の上分類保存。

S · A · A

昭和49年	福島 良岡	昭和50年	眞名井六三
昭和51年	山下 昇	昭和52年	山本 鶴男
昭和53年	山田 和嘉	昭和54年	塩塚 昭雄
昭和55年	平山久仁俊	昭和56年	貞方 利夫
昭和57年	牟田 宣昭	昭和58年	池田 忠志

毎年のS.A.Aは秩序正しく品位と友情に溢れる例会である様下記の点に留意して努力した。

1. 会長、幹事、各理事、特にプログラム、親睦、情報、出席委員会と常に連絡を密にする。
2. 定刻より早めに会場に到着して会場の設備と装置の準備点検を行う。
3. 会員相互の親睦を深めるために席順を毎週置き換えをし、食事中はB.G.Mを流すなどリラックスした雰囲気づくりに配慮する。
4. プログラム委員会の作成したプログラムにより例会の司会進行を行う。
5. 例会の風紀維持のため、バッヂ着用、私語、遅刻、早退に留意し、特に卓話者に失礼にならぬよう会員間の調和に努める。
6. 来賓、ビジターによる印象を与えるように留意する。
7. 卓話、スピーチ等時間を厳守する。

会 計

昭和49年 三浦二男、昭和50年 真田辰良、昭和51年 道津安石、昭和52年 真田辰良、昭和53年 道津安石、昭和54年 森田英治、昭和55年 宇田和馬、昭和56年 森田英治、昭和57年 藤田七郎、昭和58年 秋元隆雄、

監査委員 昭和56年 佐々野利一郎、山下弥太郎、昭和57年 豊増富四郎、山口七之助、昭和58年 西津繁矢、伊達伸一

年 度	会計規模(特別積立金累計)	会 費(月額)	入 会 金
昭和 4 9 ~ 5 0 (1974~1975)	4,773,467円 (150,000円)	6,500円	10,000円
昭和 5 0 ~ 5 1 (1975~1976)	5,660,557円 (300,000円)	8,000円	30,000円
昭和 5 1 ~ 5 2 (1976~1977)	6,273,439円 (450,000円)	8,000円	30,000円
昭和 5 2 ~ 5 3 (1977~1978)	6,922,919円 (600,000円)	9,000円	30,000円
昭和 5 3 ~ 5 4 (1978~1979)	7,776,492円 (800,000円)	10,000円	30,000円
昭和 5 4 ~ 5 5 (1979~1980)	7,903,559円 (1,000,000円)	10,000円	30,000円
昭和 5 5 ~ 5 6 (1980~1981)	7,525,520円 (1,200,000円)	10,000円	30,000円
昭和 5 6 ~ 5 7 (1981~1982)	7,585,274円 (1,400,000円)	10,000円	30,000円
昭和 5 7 ~ 5 8 (1982~1983)	9,277,657円 (1,600,000円)	13,000円	30,000円
昭和 5 8 ~ 5 9 (1983~1984)	9,950,641円 (2,600,000円)	13,000円	30,000円

ロータリー財団

昭和49年 委員長 井 関 敏 則

400%→1,300%

ポール・ハリス・フェロー

井関敏則、清滝実雄、野田久雄、伊達伸一 4名

昭和50年 委員長 清 滉 実 雄

昭和50.12末 1.800%

年間1人1ドルの寄附以外に各会員からの寄附があった。

ポール・ハリス・フェロー

竹下利之右衛門、松本規純、嵩 則雄 3名

昭和51年 委員長 向 原 正 雄

昭和52.3.31 2.100%

ポール・ハリス・フェロー 中村繁春 1名

昭和52年 委員長 野 田 久 雄

財団ボックスを設置、毎月1回例会の食事を節約。

昭和52.12末 3.100%

ポール・ハリス・フェロー

山下弥太郎、宇本 功、池田敏郎、堀本一造、西津繁矢 5名

昭和53年 委員長 西 津 繁 矢

財団ボックスの活用に努めた。

昭和54.5.3 3.800%

ポール・ハリス・フェロー

眞名井六三、今村伊之次、有福 勇 3名

昭和54年 委員長 嵩 則 雄

財団ボックス 146,221円

昭和55.5.3 4.100%

ポール・ハリス・フェロー 中村和正 1名

昭和55年 委員長 福 島 義 範

財団ボックス 170,299円

昭和56.4.12 4.300%

ポール・ハリス・フェロー 青山岩夫 1名

昭和56年 委員長 堀 本 一 造

財団ボックス 152,611円 (内25,000円を米山奨学金へ)

昭和57.4.2 4.600%

昭和57年 委員長 今 村 伊之次

財団ボックス 150,717円

昭和58.4.30 4.800%

ポール・ハリス・フェロー

川口博正、山下 昇 2名

昭和58年 委員長 清 滉 実 雄

財団ボックス 183,068円

5.100%

ポール・ハリス・フェロー 才津金人 1名

準フェロー

福島良尚、井上 晃、平山禎巳、畠中一徳 4名

ロータリー財団寄附額累計 26,930.20ドル

(1984.5.31)

ポール・ハリス・フェロー 21名

準フェロー 4名

（昭和47年3月12日「ロータリー財団の友」に
加入、毎年会員1ドル、新入会員10ドル、寄
附を継続）

財団法人ロータリー米山記念奨学会

昭和59.5.31現在

普通寄附金 1,248,950円

特別寄附金 512,056円

合 計 1,761,006円

米山功労者 野田久雄

昭56年～57年 (1981～1982)



島の春を彩るロータリー桜

潮さいに包まれる五島に美しい春の訪れを告げるのは、福江市の中心部から空港までの坂道に爛漫と咲き匂う桜の並木である。

今年もロータリーの観桜会がこの坂道の途中にあるホテルで催された。昨夜の雨風もやんで絶好の花見日和となった。花をとおして春の海がみえ、長崎へ行く大きな船が港を出てゆく。

この「ロータリー桜」は昭和43年度、(会長 井関敏則君) 当クラブ創立5周年記念行事として当時の会員40名が1人あたり3本を植樹されたときく。爾来14年余、立派に生長して毎春麓から眺めると花の霞となり五島の人達を喜ばせている。坂道の登口から数えてゆくと85本を数えられた。

宴のなか、当時の社会奉仕委員長の嵩君にお尋ねしたところ、登口の始めは会長が植えられたものであり最後のホテル近くの2本は自分の植えたものである。この樹にかずらが巻きついて、先年は娘と一緒に取り払い、お父さんが植えた桜だと話された由、各会員の愛情がしのばれる。当時からの会員のお話ではブリキの短冊に会員の名前と「梅は切るべし、桜は切るべからず」等の標語を書いて、各自の若木に付けられた由。その中で枯死したものや成木となってから交通事故による車によって押し倒されたものもある由……。

いつのまにか、桜の並木も海も夜の闇の中に包まれて、春灯あかるく楽しい桜見の宴が続いた。

(昭和58年4月8日宇本記)



鬼 岳 桜 園



○発想と動機

当地には春を迎えるも桜花爛漫という事には凡そ縁遠く他所の様に花見を楽しむことが出来ません。桜の満開時かすかにかかる一連の霞の風情、この佇いこそ眞の私共日本人の心の故郷であり心の糧でありますし、そんな環境を市民の多くが望んでいます。その皆さんの願いを幾らかでも叶えることが出来ればという意味を含め会員全員の賛同を得て昭和46年中村繁春会長の時に発足した。

○ロータリー公園建設特別委員会

委員長 清滝実雄、副委員長 堀本一造

委 員 西津繁矢、大渕貞雄、北島千代福、木場弥一郎、平山禎己

桜園の場所を西海公立公園に指定されている景勝の地、鬼岳の中腹を選定、約一町歩の市有地を市当局より無償で解放して戴き、尚県支庁より何かとアドバイスを得て之に要する用地を確保出来た。一方この用地の旧慣使用権を古く昔から保有している上大津住民の方々の善意ある理解と協力により何事もなく灌木伐採、ブルトーバーによる山肌の剥土等の作業を終え昭和46年度の作業を完了した。当期予算42万円。昭和47年にクラブとしてこの事業を十周年記念行事にきりかえ、予算20万円を振り当て桜百本を植樹、次で昭和48年百本を追植、合計二百本の桜を植えつけた。植樹以外に記念碑建設、その他の費用を加えて35万円を計上し、3年間の日時を経て一応初期の計画を完了し、「鬼岳桜園」と命名し、昭和49年5月18日、当クラブ創立十周年記念式典に於て福江市に寄贈した。

○鬼岳桜園特別委員会

委員長 清滝実雄、副委員長 堀本一造、委員 中村繁春、山口七之助、才津卯喜男、眞名井六三

その後も市と連絡しながら追肥、下払い等整備を続けたが、台風のため枯死、幹折れ等の被害がかなりみられる様になつたので、昭和50年11月、全会員で現地を視察、相談の結果、市にまかせきりでは市民の憩いの場どころか荒廃する危険が大である。もう一度元気を取り戻すよう加勢すべきである。植樹については、前者の轍を踏まない様充分な研究、調査を要する。予算は今年度は社会奉仕委員会の予算内とし、継続的な管理のために鬼岳桜園特別委員会がもうけられた。

苗木、土質、添え木、肥料の研究を進めながら若木70本、成木30本、市当局から10本、計110本を全会員が出動して追植した。昭和51年の5月には追肥に会員一同汗を流したが、特別委員会の大変な苦労によって200本の若木は定着して新芽をふき、桜園は面目を一新した。

その後、継続的に市当局と密接な協力を毎年11月の除草追肥、2月から4月にかけての春肥追肥が行われ、例年春4月には桜園で花見例会を行っている。未だ樹が若く花が少ないが、将来市民の憩の場として爛漫たる桜の林に希望をつないでいる。

福江ローターアクトクラブ

仮結成式 昭和46年6月18日

認証状伝達式 昭和47年4月30日

会員氏名	役職	勤務先	会員氏名	役職	勤務先
山口八吉	会長、社会奉仕	福江空港	柴田信子	社会奉仕委員	日本生命福江支部
吉田秀夫	副会長、クラブ奉仕	杉建設	野口忠義	社会奉仕委員	福江商工会議所
田中典子	幹事、国際奉仕	松本外科	中野隆宏	社会奉仕委員	九州農政局長崎統計情報事務所
野口喜美子	会計、職業奉仕	親和銀行福江支店	荒尾貴代子	社会奉仕委員	荒尾港湾
西里浩	クラブ奉仕委員長	千登屋	吉村寛三	職業奉仕委員長	親和銀行福江支店
庄山辰憲	クラブ奉仕委員	福江商工会議所	矢村淑子	職業奉仕副委員長	
田中利男	クラブ奉仕委員	福江商工会議所	田中和子	職業奉仕委員	九州商船
平山直和	クラブ奉仕委員	大東京火災、海上保険	大坪初美	職業奉仕委員	呉服の京永
川上和枝	クラブ奉仕委員	福江たばこ耕作組合	貞方市子	国際奉仕委員長	インテリヤ平山
卯田達也	社会奉仕委員長	五島農業共済組合	今村千春	国際奉仕副委員長	福江市役所
川口一広	社会奉仕副委員長	東七太郎商店	山崎眞由美	国際奉仕委員	十八銀行福江支店
山野秀樹	社会奉仕委員	福江空港			

昭和59年6月30日現在



歴代会長の思い出

年代表

年度	R I 会長	ガバナー	福江RC会長	福江RC幹事	R I 会長ターゲット
1 1964～1965 (昭39～40)	チャールズW ペッテンギル(米)	町田 秀実	小林矢四郎	池田 敏郎	「ロータリーに生きよう」
2 1965～1966 (昭40～41)	C・P・H ティーンストラ(蘭)	島津 久厚	谷川 儀七	中村 繁春	「行動・強化・継続性」
3 1966～1967 (昭41～42)	リチャード L・エバンズ(米)	吉村 常助	清瀧 實雄	松尾 政之	「ロータリーで より良い世界を」
4 1967～1968 (昭42～43)	ルーサー H・ホツジス(米)	向笠 広次	伊達 仲一	才津 金人	「ロータリアンとしての あなたの資格を効果的に」
5 1968～1969 (昭43～44)	東ヶ崎 潔(日)	児玉 来三	井関 敏則	松本 規純	「参加し敢行しよう！」
6 1969～1970 (昭44～45)	ジェームス F・コンウェイ(米)	富永猪佐雄	野田 久雄	才津 圭策	「再検討し更新しよう！」
7 1970～1971 (昭45～46)	ウイリアムE ウォーク・J r.(米)	末永 直行	松本 規純	嵩 則雄	「隔りを取り除こう」
8 1971～1972 (昭46～47)	アンスト G・プライト ホルツ(スウェーデン)	鮎川 武雄	中村 繁春	中村 和正	「善意は先ずあなたから」
9 1972～1973 (昭47～48)	ロイD.ヒックマン(米)	立花 和雄	嵩 則雄	宇本 功	「もう一度見直そう」
10 1973～1974 (昭48～49)	ウイリアムC・ カーター(英)	清島 省三	竹下利之右衛門	池田 敏郎	「今こそ行動のとき」
11 1974～1975 (昭49～50)	ウイリアムスR・ ロビンズ(米)	蟻川五二郎	山下弥太郎	山口七之助	「ロータリー精神を 振り起せ！」
12 1975～1976 (昭50～51)	エルネスト・インバッサイ デ・メロ(ブラジル)	岡野 正実	宇本 功	山田 和嘉	「人間に威信を！」
13 1976～1977 (昭51～52)	ロバートA・マンチエ スターII(米)	田中丸善三郎	池田 敏郎	福島 良間	「奉仕」ロータリーを 私は信奉する
14 1977～1978 (昭52～53)	W. ジャックデービス (カナダ)	七條 達夫	堀本 一造	才津卯喜男	「全人類を結びつける ために奉仕せよ」
15 1978～1979 (昭53～54)	クレム・レヌフ (オーストラリヤ)	新家 忠男	眞名井六三	井上 晃	「手をさし伸べよう…」
16 1979～1980 (昭54～55)	ジームスLボーマJr (米)	喜多村禎男	中村 和正	川口 博正	奉仕の灯で道を照らそう
17 1980～1981 (昭55～56)	ロルフJクラリッヒ (フィンランド)	樋口謙太郎	青山 岩夫	塙塙 昭雄	時間を捧げよう 奉仕のために
18 1981～1982 (昭56～57)	スタンレーE・ マッキャフリー(米)	鈴木 従道	西津 繁矢	山本 鶴男	ロータリーを通じて 世界理解と平和を
19 1982～1983 (昭57～58)	向 笠 広 次(日)	北島 常一	山下 昇	久米 哲彦	人類はひとつ世界中に 友情の橋をかけよう
20 1983～1984 (昭58～59)	ウイリアムE・ スケルトン(米)	逸見 嘉彦	才津 金人	牟田 宣昭	みんなにロータリーを みんなに奉仕を



歳月20年を省みて「あれこれ」

1966 ~ 1967

(昭和41年~42年)

第3代会長 清瀧 實雄

拙文を省みず想い出のあれ・これを述べてみたい。昭和39年3月12日私共クラブは創立発足したが、チャーターメンバーは27名、正式承認を得たのが39年5月4日で毎週の例会も緊張と模索の連続でした。私は創立時期の初回の社会奉仕委員長に指命され責任の重大さを感じましたが、立派な仕事は出来る筈も有りませんので、内に於ては先ず自分自身がロータリーアンとして恥じない社会人たること、外に対してもロータリークラブの理想と主旨を地域社会に普及並びに理解して貰うことになりました。先ず実践活動として慈恵院の孤児慰問と老人ホームの松寿園慰問をロータリーの主旨のP.Rを兼ね奉仕活動が地域に定着する様努めたのでした。当時は未だ今と異って福祉施設も貧困であり両施設共に充分とは云へない時期であり、殊に慈恵院院長木口さんは其の運営に苦しんで居られた様子でした。クリスマスの当日僅かばかりの慰問品とサンタクロースの出現は院内の子供は勿論職員の方々が歓声を上げて歓ばれ慰問の効果は充分で、慰問「して良かった。されて良かった」の感で一杯でした。

続いて老人ホームの慰問を実施致しましたが先ずホームに生活して居られる老人の方々の身元、現在迄の経緯等とホーム担当係員に尋ね合わせると、小説「父帰る」のストリーに良く似た経験の持主で、人生の運、不運の分れ道が斯くもあるものかと感を深くしました。早速当地マッサージ業者（盲人会）の方々協賛を得て一日マッサージの奉仕と僅かばかりの慰問の品を贈り明るい愉快な一日を過すことが出来ました。

昭和46年会長中村鶴氏の年度に、当地は県下各都市に比較して春秋の市民の憩いの広場がなく、花、紅葉を観賞する文化的生活環境に乏しい為、当クラブが継続事業として鬼岳の一角に桜の植林を実施し、地域住民の憩いの場所として苗木300本植樹しましたが、毎年台風に見舞われ折角の苗木の支柱は倒れ我々の期待と夢は無残に踏みにじられ、同志堀本、才津、真名井 外委員は涙を呞んだのでした。それでも又苗木の補植、草刈、施肥、既存の苗木の補強二、三年と繰り返し幸じて今では春ともなれば桜は正直に花を咲かせてくれるのです。県の土地は西海公園地域内の事であり県、市当局の諒解と尚地元農民の入会権（採草権）を放棄して貰わねばならず、其の交渉で諒解を得る為に中村会長の努力啓蒙運動は一方ならぬ苦労があったものでした。当クラブが十周年記念行事の一環として之を市当局に採納する迄約七年間は継続事業として、毎年春秋は額に汗して奉仕作業を続けましたが、労多くして実り少い実績がありました。それでも、会員一同の努力と愛育の結果がさゝやかな花を咲かせ、樹木も年々成長して此の頃は道行く人々を楽しませて居ります。育てることのむずかしさをしみじみ感じ乍ら時折追憶の一駒として居る今日この頃です。



あのときあのころ

1967～1968

(昭和42年～43年)

第4代会長 伊達仲一

42年から43年当時の社会環境を考えますと、「21世紀は日本の世紀」などの華やかな言葉がもてはやされ、使い捨てが当然の事とされ（消費は美德）の言葉も生まれ、その平和と繁栄の社会は、昭和元禄と呼ばれました。

繁栄する社会の中で、国民は福祉も減税も実現される事を望み、42年東京に美濃部革新知事が誕生し、「一人の反対者がある限り、一本の橋といえどもかけない」と云う“対話の政治”に大きな期待が寄せられました。

自動車保有台数が1000万台を突破したのも、この年であり、戦後の名政治家として評価の高かった吉田茂氏が没し、国葬があり強く印象に残って居ります。

創立後4年目に入り、組織と運営も、ようやく軌道にのり、委員会活動が活発になり、地域の中でも、ロータリークラブの認識も得られて来た様に思います。

月会費3,000円でありましたので、対外的な奉仕に充分な資金引当てが出来ず、社会奉仕等では苦労があり、親睦活動の中で臨時の会費を支出していたゞく事がたびたびありました。

特筆すべき事と云えば、ロータリーの国際理解活動を、この年度に大きく展開した事であります。アメリカのハンコックRCとデポジットRCに宣教師でありました小川会員の訪米を機に交流の機会をつくっていたゞき、世界中のロータリーとしての感を深くしたのもこの年でございました。

当時は会員の平均年令は48才でしたが、今日では高令化社会を反映して、10才延びて参りました。

大変すばらしい事であります、年令的な老化でなく、精神的に若々しいクラブに育って行く事を期待致して居ります。

370地区として、九州全部が一地域であり、大分の向笠ガバナーには、辺地にあります当クラブの運営では、何かと御世話になりました。そして向笠さんが82年度RI会長として御就任の栄誉は、日本人としてのみでなく、諸般の事情から、クラブとしても大変喜ばしく、なつかしい思い出であります。

新しい時代へ福江クラブが生成発展致します事を祈念致して居ります。



敷動する社会とロータリー

1969 ~ 1970

(昭和44年~45年)

第6代会長 野田久雄

歳月の流れは、過去のもろもろを浄化して楽しい思い出だけが残るものである。

当クラブ創立の時代は、高度経済成長期にあたり、今日の経済発展の遡監期だったと思う。それから20年、日本経済は大きく成長し、繁栄の一途をたどって今日にいたったが、併し反面高度経済成長の急速な発展に伴うひずみも亦顕著にあらわれ、人間社会の価値感は大きく変化し且つ多様化して、今日、人びとの生活に大きな変革を及ぼし、さまざまな社会問題を派生している。

思うに人間の現実社会の問題は、結局人間自身が解決するほかないのだが、それは、決して社会的に地位の高い人や、権力を持った人々でなく、たゞ人たる本筋道をふみ外すまいと心掛けている良識を持った人々の自覚と努力によるものと思われるのである。

吾々は、ロータリーにおいて、共に歩み、共に苦しみ、共に悲しみながら、自己改善と自己研鑽に励んでいる、ロータリアンの良質のエネルギーこそは、地域社会の改善にいつかは大きな花を咲かせることが出来ると信じている。

試行錯誤しながら歩いたとは云え、福江ロータリークラブの20年間の足跡を顧り見る時誠に感慨一入なものを覚えるのである。

更に、この記念すべき時にあたり、吾々はロータリーの理念を良く理解して、それを実践遂行に努めたいものである。

いかに立派な人々が集まっていても協調精神がなく、各自ばらばらでは何も達成出来ないことを思うと、ロータリーアンは例会を通して互に友愛心を深め、親睦から生ずるエネルギーを社会に還元するという崇高な職業意識をもってロータリーの原点にたちかえってのロータリー活動を推進して一段の飛躍を期待したいと思うのである。



幹事のころ

1971 ~ 1972

(昭和46年~47年)

第8代会長 中村繁春

私が当クラブの幹事を務めたのは、昭和40～41年度の2代目幹事である。創立後、漸く1年を経過した当クラブは、未だ暗中模索の状態で、未踏の原始林に分け入って行く思いであった。未知への不安と期待感が交錯する中で、ロータリアンだと云う些かな誇りに似た気分もチョッピリあったものである。

ロータリーの定款、細則についても大急ぎで勉強しなければならなかった。本棚の中から当時の文献を出して見ると、幹事要覧、手続要覧、ロータリーに通暁する方途などの各ページに、赤く傍線が引かれているが懐かしい思い出である。

時の2代目会長は谷川儀七老。氏は枡屋旅館の主であり、別に福江製氷工場を経営しておられた。工場は現在の合同庁舎の場所に建てられていた。工場の隣りに2階建ての事務所があり、福江港を見下ろす2階の一室が氏の居城であった。例会の前日になると私は必ず打ち合わせのため氏の居城に伺候した。畳のその部屋でいつもご自身でお茶を入れてくれたものである。その頃の私は会員の中では未だ年が若い方で、例会ではお偉方を前にして幹事報告にも極度に緊張し、少々畏縮していたように思う。公式訪問が近づいたある日、私は例の一室で氏と二人で色々と公式訪問の打合わせをしていましたが、私の緊張をほぐそうとされたのだろう、突然こんなことを云い出された。『中村クン、気楽にやろう。若い時には何でも経験した方がいい。若い時にナ。わたしなど、もう朝のテントも張らなくなってしまったては、どうにもならんヨ』私はテントの意味がとっさに理解出来ず、やがてそれと分って二人で大笑いしたこともあった。氏は義太夫など趣味の広い紳人であったと聞くが、ご自身は遂にそれらのことは口にされなかった。正義感が強く、理非曲直に対して忌憚なく直言された氏の瘦身長躯の容姿が、今もありありと思い出される。気骨があり古武士の一面を持って居られた人であった。

竹ノ子島開発に情熱を傾けておられた氏も、今は亡き人となって久しい。“ロタキチ”と云う語を当クラブに導入したのも氏であり、その言葉の如く熱心にロータリーを実践された大先輩である。畏敬の念をもって往時を偲び、改めてご冥福をお祈りしたい。

こゝにクラブ創立20周年を迎へるに当り、クラブの基礎を築かれた先輩達に心からの敬意を表しつつ、明日への歩みを続けたいと思う次第である。



20年をかえりみて

1972 ~ 1973

(昭和47年~48年)

第9代会長 嵩 則 雄

私の入会は、クラブ創立の翌年であった。会員数29名で、例会場は、翠仙閣大広間の畳の上で、寺小屋式の例会であった。

ほとんどチャーターメンバーの会員で、和気藹々で楽しい例会であった。

入会8年目で第9代会長に指名されたが、当時は会員数45名となり、親睦と積極的な奉仕活動が実施され、活力溢れるクラブであった。

会長の私の1ヶ年間の主な仕事では、次年度に創立10周年を迎える準備に追われていたように思う。10周年を迎えるクラブの地域拡大の目的で、地域範囲を、下五島地区全域一市四町に拡大が決定された。

前年私が幹事の時、末永ガバナーの奨めでローターアクトが誕生した。2年目を迎え会員増強に必死になって会員にお願いした。

現在は立派に成長し活動しているが、設立に参画した一人として、ローターアクトの今後の成長を見守って行きたい。

当クラブ初めての、ロータリー財団奨学生の受験について、当地出身の小石悟君を野田久雄君が推薦し、資格審査と実力テストに合格してフランスに留学出来たことは、ロータリーの国際性を認識する良い機会でもあった。

20年を振りかえり、今迄の奉仕が地域に根をおろし評価されて来た。

ロータリー公園の、“桜の園”的育成整備も年々充実し、空港道路の桜の並木も、春は桜花を満開し市民の目を楽しませ、心を安げる雰囲気を作り、植樹当時は、大した期待も持たずに、ひたすら奉仕の精神で実行したことが、20年の歳月を経て大樹となり、地域社会に根をおろし、市民の皆さんから喜ばれ好評を得ていることは、ロータリアンとして、奉仕の理念を実践した満足感にひたる。“奉仕こそ我がつとめ”の実感をかみしめて20周年を迎えた歳月を偲んでいる。



年齢とロータリー

1974 ~ 1975

(昭和49年~50年)

第11代会長 山 下 弥太郎

定年期を過ぎ、老人と言われながら、自営業であるために、好きなように事業にも手伝っています。20年のクラブの歩みを顧みて、最初の認証状伝達式の冊子は、私がお世話しましたが、今昔の感がします。

調べてみると、創立時は平均年齢が48才、私が丁度同じ年齢でしたが、最年長者が64才、最年少者が35才、10周年には、平均年齢が52才最年長者が71才最年少者34才、私が58才、20周年には平均年齢が57才最年長者が78才、最年少者が34才、私が68才となりました。

ロータリーはいろいろの職業の人々で構成されていますから、本当に社会の縮図だと思います。良き先輩の方々に恵まれまして、人生の模範と言いますか、大変参考になりました。

現在若い人でも、必ず老人になります。これは間違ひありません。一週間に一度の出会いで、同じ釜の飯を食べ、人生においてこんな深い関係は他にないと思います。又自分が希望すれば、半永久的に会員でおられ、私達経営者は老人になると、社会との繋りが少く寂しくなりがちです。

両親がこの世を去り、妻が亡くなった時には、大変お世話様になり感謝致しております。

たまに、ロータリーの友誌の中に、平均年齢の高齢化が悪いことのように書かれていますが、悪いことではなく、当然の事で、長生きする人が多くなればなる程、高くなるので、人間として幸せに結びつくもので、私は良い事と思います。当クラブでも創立時は最年長が64才、10年後は71才、20年後は78才となっており、歴史が古いクラブ程高くなります。

唯運営面において力不足となります、良き若い人の増強と、指導、育成を忘れてはならないと思います。

お互に性格も知っているし、家族の事も大体分るし、事業の状況も見当がつくし、良ければ良いように喜んだり、躊躇は、躊躇いたが何とか脱する道はないものかと、一人で考え悲しんだりして、それで勉強になっているようです。

老人になると、体が堅くなるように、心も堅くなり個性が強くなつて、我を通すようになり、後で反省することが多くなりました。

老人になって趣味がないのが、一番寂しいと謂われています。私達商業人は、戦前から鍛えられた商売人根性というものが身について、遊びを持ちながら、商売は出来ない厳しいものでした。

戦後余裕のある生活が提唱され、特にロータリーに入会してから、他の職業が分り、比較して自分の職業を公正な眼で眺めることが出来、その長所、短所が分り、実業人としてどうあるべきか、又現在の自分の環境の中で、この年齢でどうあるべきか。仲々難しいですが、充実した生活を求めて、突き進んでいる次第であります。



会長時代を振り返って

1975 ~ 1976

(昭和50年~51年)

第12代会長 宇本 功

昭和50年、12代会長に指名された。仕事の関係で困ったが、お断りも出来ないので、私の入会時の推薦者の山田君、才津金人君に相談して山田君に幹事を引き受けて貰い、副会長に堀本君、クラブ奉仕早瀬君、職業奉仕才津卯喜男君、社会奉仕山本君、国際奉仕近藤君、会計真田君の執行部のメンバーで出発した。S、A、Aは真名井君である。創立10周年が終り、2年目である。6月8日付、ボカラトーンから岡野ガバナーの葉書が届いた。新会長のテーマ「人間に威信を」の通知と、新年度は特別のご活動とご支援とを期待するという文面に大変感激を覚えた。私達年度の大きな行事は10月19日挙行された福江中央RC認証状伝達式であった。スポンサークラブとして会員一同その準備、当日の会場設営、登録、接待、出迎え等に協力して無事に終った。昭和51年の正月には両クラブ合同の新年例会がもたれた。中央クラブの創立から認証式典の経緯に關係して私達のクラブの創立時のチャーターメンバーの御苦労がしのばれた。クラブ内では、10周年記念誌発行の経過にかんがみ今後に備えて記録・保存委員会を新設した。歴代委員会の努力により豊富な資料が蓄積され、今度の20年誌編纂に当って大いに役立った。又鬼岳桜園については、10周年記念事業として福江市に寄贈したが、その後台風による可成の被害がみられ、特別委員会が発足、今まで清滝委員長、堀本副委員長を始め委員の皆様の御努力により追植した若木も定着して毎春花を咲かせている。委員会の皆様の御盡力に心から感謝申し上げます。

8月22日岡野ガバナーの公式訪問があった。夫人同伴で池田地区幹事、分区代理も同行された。荒川の温泉旅館で執行部一同と懇談の場をもったが、世界的に有名な会社々長のこの実業家が、ガバナーの肩書を脱いで一人のロータリアンとして親しく歓談を盡くされ、私達一同大変な感銘を受けた。10月には中央クラブの認証状伝達式に再度来島、更に昭和54年5月には中央クラブ5周年式典に出席された。その夜私達の仲間が蟻川、岡野両御夫妻を市内のスナックにご招待、再会を祝い、盃を重ねたものでしたが、夜半に蟻川さんが狭心症をおこされるというアクシデントがおこったが元気でお帰りになった。昭和55年には福江RAC10周年式典に岡野パストガバナーは4度目の来島をされた。福江と大変ご縁のあるガバナーであった。両パストガバナーの益々の御健勝を遠くからお祈りしている次第である。蟻川さんの温厚なお姿に接し、岡野さんのお人柄にふれ、ロータリアンになってよかったですなあとしみじみ思います。役員総出演の忘年会、小倉の年次大会等々懐しく想い出されます。山田幹事さん、堀本副会長さんを始め役員の皆さん、会員の皆様の友情と御協力のお蔭で大変幸せな一年間であった。福江クラブの益々の発展を期待して紙面の都合で筆を置く。有難うございました。

近藤俊樹君を始め物故会員皆様の御冥福を衷心からお祈り申し上げます。



公式訪問　二つの想い出

1976 ~ 1977

(昭和51年～52年)

第13代会長　池田敏郎

えらいガバナーに当たったぞ。会長ノミニーとして地区協議会に出席しての予感である。

その人の名は田中丸善三郎ガバナーノミニー。デパート玉屋グループの総師であり、時の長崎県公安委員長でもあられた。

壇上での自信に満ちあふれたご挨拶を聞いているうちに、ふと想い出されたのが、創立最初の町田秀実ガバナー（鹿児島RC）による公式訪問である。その日程に、会長、幹事との懇談がある事すら知らず、況してや訪問当日会長商用の為出張不在、と申上げたところ、一喝されて公式訪問取り止め。後日やり直しの日は追って通知する。と早々に鹿児島に帰って行かれた。所謂福江RC自慢？前代未聞の公式訪問やり直しである。

その時のコワーアイ、ガバナーの印象がどうしてか壇上の田中丸ガバナーからも感じ取られた。

戦時中、海軍中将だったと聞く当時の町田ガバナーは、軍隊の査閲のような気持で、公式訪問を行っていたのではないかと思われる程、恐かった最初の公式訪問であった。その町田ガバナーと田中丸ガバナーがどうしてか、自信に溢れた同じタイプの人間のように思われてならなかった。

地区協議会が終り、7月1日には当然の様に会長に就任し、やがて避けては通れない嫌な想い出の公式訪問が近づいてくる。そして悪い予感通り訪問の終ったクラブから、ニュースが入ってくる。

“今度のガバナーはやかましいぞ”というのが一致した評価である。私が真先に動搖し始めたがいくら心配しても始まらず、ガバナー事務所に直接電話することにした。要約すれば“余りむつかしい公式訪問にしないで欲しい”と。

“何を云うか”と亦一喝されれば、当然ロータリーを退会する腹だった。

お出迎えした田中丸ガバナーに会長の池田です、と申し上げると、“電話の主の池田さんか、ハッハッハッと豪快に笑い飛ばされた。その笑いの意味が何であったのか、判るような、判らないような今以って不鮮明だが心配された公式訪問はスンナリ終り、今迄抱いていた公式訪問への不信が、それ以来泡のように消へていった。恐いガバナーと云われた田中丸さんは私にとって、ロータリーで一種の恩人であると思っている。

その年の後日、公安委員長として来島された時、荒川に招待され一泊のご馳走に相成った。

今年6月地区協議会の壇上でお見掛けした田中丸パストガバナーは、歩行にもご不自由されておられた。ご健在を祈りたい。



会長時代の想い出

1977 ~ 1978

(昭和52年~53年)

第14代会長 堀 本 一 造

思いがけもなく私が1977~1978年度の第14代会長として御推薦をいたしました。非才な身で先輩が築き上げてこられました伝統あるクラブの重責を果し得るか甚だ懸念しましたが、推薦委員長より発表の前に、指名をされた人は断わることは出来ないと予めお話をありましたので到底辞退することは出来ないと諦らめ、会員の皆さんのお支援を唯一の頼りとして引受けました。先づはロータリークラブの要とも言われます幹事にはチームワークの重要性に最適任者の才津卯喜男君と、副会長にはロータリーに最も知識の深い才津金人君をお願いしてお二人の快諾を得ました。私も会長必携、ロータリーの各資料について勉強を始めましたが容易に会得することが出来ず、ガバナー事務所からのアンケート等の回答に幹事や副会長の手を煩わし不安な毎日を送っていました。やがて私共の年度の地区協議会が6月25日~26日、2日間雲仙において開催され、会長として勉強を受け、七條ガバナーよりジャック・デービスR.I.会長のターゲット「全人類を結びつけるため奉仕せよ」と七條ガバナーのサブターゲット「心のふれ合いを大切に270」が提唱され説明がなされました。

7月1日に初例会を迎え、会場には七條ガバナーのターゲットに因んでクラブ奉仕委員会のミニターゲット「心のふれ合いは例会の出席から」を掲げ年度が始まりました。

各奉仕部門の事業の一部を想い出してみると、社会奉仕では老人ホーム松寿園を敬老の日に慰問して自動アンマ機2台を贈呈し、老人に大変喜ばれた。又奥浦慈恵院にクリスマス慰問、才津幹事がサンタのおじいさんに扮して菓子、写真機をプレゼント、子供達は大喜び、会員も園児達の数々の遊技に童心にかえり楽しい一刻を過ごした。その他少年剣道大会を開催、参加人員220名、全員ヘロータリークラブ名記のタオルと鉛筆をおくった。親睦委員会の荒川一泊親睦会（囲碁、マージャン、魚釣り）、夫人合同忘年会、中央クラブとのソフトボール試合、鬼岳ロータリー桜園での花見例会、なかでも12月9日の夫人同伴の忘年会は会員の数々の演技で爆笑の連続で忘れえない楽しい一夜でした。年間の最大の行事として東京国際大会に参加出来て幸せでした。4日に亘り行われました豪華なショーは終世心に残ることでしょう。尚武雄に於て開催された年次大会では、当クラブは新ポールハリスフェロー5名、準フェロー1名で優秀クラブとして表彰を受けました。又出席についてはクラブ創立以来始めて2月に100%を達成することが出来ました。出席担当の井上クラブ担当理事及び会員の方々、野田財団委員長並びに新フェローの皆さん有難う御座いました。

この一年間才津幹事、才津副会長及び会員の皆さんのお支援と御協力により私の責任を果すことが出来まして、ロータリーの友情と思いやりの心に深く感銘を受けました。厚く御礼申し上げます。福江クラブの益々の発展と会員の皆さんのお健勝と御多幸をお祈りいたします。



想い出 委員会構成

1979 ~ 1980

(昭和54年~55年)

第16代会長 中村和正

52年12月の年次総会の時です。選考委員長より「次期次期会長を発表致します、次期次期会長は中村和正君」と云われ、聞いたような名前だなーと、一瞬ほんやりしておきましたら、会員皆様の視線が私に集まっていました。今迄会長さんは大体年配の方がなられますので、私にはまさに青天の霹靂でした。

当時48才、福江クラブで初めての昭和生の会長が誕生するのです。例会時の申し合せにより、これは如何なる理由があろうとも断わる事が出来ない絶対命令です。

やむを得ず会長をお受けしたわけですが、この伝統ある福江クラブの名誉を傷つける事なく、一歩でも前進するにはどうするか、色々考え迷ったあげく、今年は素晴らしい委員会構成で行こうと決心致しました。

先ず幹事を先輩の川口さんに無理に受けてもらい、二人して相談致しました。当クラブも15年経過し会長経験者（4名退会されました）は11名おられます。

現在この有能な方達が窓際でのんびりしているのは勿体ないと云う事で、クラブ奉仕、社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕、ロータリー財団、ロータリー公園、情報委員長を御願いし、青少年、親睦、分類、雑誌委員長には幹事経験者を、副委員長には新人をつけ勉強して頂く事で出発したわけであります。

これで委員会構成は出来上りました。頭デッカチでどうなるかと心配も致しましたが、その年は国際児童年（色々行事あり）、3Hプログラムの推進、R I 75周年記念式典、記念行事、記念講演会、福江中央クラブ5周年記念式典等々休む間もなく次々行事が重なり多忙な一年でした。

若輩の会長にも拘らず、ベテランの委員長さんの方の素晴らしい活躍のお蔭で、無事全ての計画を消化して頂きました。

今、思いますと、よくぞまあ 元会長さん幹事さんを引っ張り出したものと我ながら感心すると共に、申し訳なく存じております。これもすべてロータリーの友情があればこそ出来たものと思っています。

今後、毎年毎年ロータリー活動を通して御恩返しをする積りです。

20周年誌発行に際し、想い出を一筆と云う事でしたので、ペンを取りましたが、私には何よりも印象に残っているのは、矢張り委員会構成でした。先輩諸氏の御活動を再度仰いでの心暖まる1年間でした。心から深く感謝致します。本当に有難うございました。



帰らざる会員

1980 ~ 1981

(昭和55年~56年)

第17代会長 青 山 岩 夫

故竹下利之右衛門先生、昭和56年1月20日人死亡、先生は高等文官、裁判官、弁護士、長崎県選管委員長、福江市公平委員長、人権委員等の要職にあり、当クラブでは10代目会長を務められ、クラブの節づくりとして、10周年記念行事も見事成しとげられ、クラブの基礎づくりに大きな貢献をなさいました。

故佐々野静衛先生、昭和56年3月7日死亡、先生は元朝鮮総督府大蔵事務官、終戦により引揚郷里に於て税理士を開業され当クラブチャーターメンバーとして活躍、創立以来16年間無欠席の記録をつくりたいと意欲的でしたのに病魔には勝てずほんとうに残念でした。

故松下留之助先生、昭和56年4月24日死亡、松下先生は大蔵事務官を退官され郷里に於て税理士を開業され、当クラブに入会、諸種のクラブ奉仕に積極的に参加活動され、将来を嘱望されていました。

上記3名の先生は私の会長在任中の物故者で、立派な会員の方々を3名もなくした私として、生涯忘れる事の出来ない誠に残念なことでした。

謹んで御冥福を御祈りし、20周年の歴史である記念誌に留めて置きます。



ロータリー友情に支えられて

1981 ~ 1982

(昭和56年~57年)

第18代会長 西 津 繁 矢

昭和56年7月1日、私の71才の誕生日を期して、伝統ある福江ロータリークラブの第18代会長として就任する事になりました。ロータリアンとしての在籍年数だけは、まずまず経験豊富な部類だろうと思っておりましたが、何しろ横文字には全くなじめない年代の私でしたし、それ迄にもロータリーの事について理解の届かぬ面が多々ありました。そういう自身を知り尽くしての会長就任でしたから不安もありましたし、会員の皆さんに心配をしていただき通しの一年間だった事と思います。

川口博正副会長、山本鶴男幹事をはじめとする各担当理事及び委員長の皆さんがロータリーを熟知しており若さと行動力を持った方ばかりでしたし、私のいたらない面を全面的に補ってくれました事は私にとっても会にとっても大変しあわせな事でした。

- 会員相互の理解と友愛を更に深めよう！
- 例会、会合にはまず出席を！
- 全員参加でプログラムの完全消化を！
- ローターアクトの育成に更に努力を！
- ロータリー財団への協力を！
- 身障者に暖い手を！

以上の主要目標を掲げての出発した年でしたが、各部門並びに委員会の努力によって、おおむね目標達成が出来たものと考えております。

新らしい役員でスタートしたばかりの7月にはガバナーの公式訪問があり、大変あわただしく緊張も致しました。長崎南ロータリークラブ所属の鈴木ガバナーでしたが、ロータリアンとして非常に有益なお話しを承わった事が記憶に残っています。

海水浴場及び空港への標識看板設置等の奉仕、愛の古切手10万枚達成。中央ロータリークラブとの共催による少年サイクルリング大会。ローターアクトとの炉辺談話。小雨の中で行ったロータリー桜を賞する観桜会、等々。それぞれの委員会で会員の皆さんに努力をしていただきました。

このように会員の皆さんに協力と暖い激励を頼りに過した一年でしたが、高令にて会長職を受けさせていただきました私にとって、ロータリークラブ会員の友情と有難さを身にしみて痛感させられた年でした。私自身の人生に於いても、ロータリー会長を努めさせていただいたこの年は一つ節目の年になつたような気がします。



19年目の思い出

1982 ~ 1983

(昭和57年~58年)

第19代会長 山 下 昇

20周年おめでとうございます。

月日の経つのは早いもので、10周年15周年の記念行事が行われたのは、つい2~3年前の様な気がします。

私は1973~1974年の嵩会長、宇本幹事さんの年度に、浦、今村、福島、真崎の諸兄と一緒に入会致しました。

入会をすすめられた時、ロータリーとはお金もちで時間にゆとりのある人達の集まりで、慈善事業をする団体であるという認識しかもたずに、入会をしぶったのも一昔過去のことになりました。

私は職業柄小さな医師会のグループに育ち病人である患者さんが対人関係の大部分を占める環境にありましたので、社会的視野がどうしても狭くなりがちであったことは事実であります。現在ではロータリーに入り、立派な友人と知り合いになれたことが一番うれしいことと思っています。

入会翌年竹下会長の下に福江RC10周年記念行事が実施されました。何もしらないまゝ国際奉仕委員長に指命され、無我夢中でしたが会長始め先輩の御指導を得て、大変よい勉強をさせていたゞきました。

19年目の次期会長として推挙されたとき、その任でないと本当に驚きました。断ってはならない不文律があるとの事で、いろいろ悩み、その頃から血圧が少し上ってきました。

丁度270地区が分離されて第274地区として長崎佐賀が独立しました。北島ガバナーは初代ガバナーとして意欲的な活動方針を発表してスタートされました。思いがけない長崎の大水害が就任後間もなく起り、大変御苦労をなされたことは、私共の脳裏にやきついております。

又この年は日本人として二人目のRI会長になられた向笠会長は、“人類は一つ、世界中に友情の橋をかけよう”のターゲットを掲げられ、100万ロータリアン一人一人が、世界中に平和をもたらす様努力を要請されました。

20周年を翌年に迎えて総力を結集するべく配慮しました。会場の雰囲気を一新する為に会場の変更を行い、又長年据置かれていた会費の値上げをお願い致しました。会長としては不勉強であったことは事実ですが、理事、役員の方々が一致団結してもらひたて下さいました。各奉仕部門では特徴を発揮して活躍していただきました。ロータリアンの友情をしみじみ感じて感謝の念にかられて1年間終りました。



新世紀を目指して

1983 ~ 1984

(昭和58~59年)

第20代会長 才 津 金 人

この20年間を、経済面で振り返って見ますと、クラブ創立の60年代は、鉄鋼、造船が国の経済を支え、トン単位の経済環境であり、70年代に入ると、繊維産業が経済の主流で、キログラム単位の経済であった。

今日80年代は情報の時代と云われる様に、重さのないものの経済に大きく変化を致して居ります。

創立当初のクラブ活動は、とぼしい予算の中で、老いも若きも、それぞれ汗を流す奉仕、又は個人負担による物の奉仕等、よく動いたと云う感があります。

G N P 自由世界で第2位と伝う経済大国に繁栄した吾国のライフスタイルは、この20年間に、有史以来のスピードで変化し、価値感に対する個性化が一般化し、ロータリーの奉仕活動も、物から心の奉仕へと転換しつゝあります。

斯様な背景を踏まえ、昭和も50年代の最後の年であり、創立20年のクラブとして、大きな節目である事を自覚し、将来に向って組織運営の見直しと、フレッシュな事業の立案がなされる様ご提案申上げました。

幸いに、この社会環境の変化とニーズを御理解賜わり、新しい時代のロータリー活動の推進に御盡力をいたゞき感謝致して居ります。

20周年記念に拘わる諸事業につきましては、会場の問題を始めとして、予算面その他、不自由な体制の中で、ロータリアンの英知を集め、見事な企画と演出により目的を達成する事が出来ました。

20年のキャリアを評価され、逸見ガバナーより、当地で年次大会の開催の可能性ありとの話がありましたが、実現出来れば望外の喜びであり、楽しみに致して居ります。

83年6月はカナダのトロントで国際大会が開催され、出席参加の好機を得ました。

私にとって、この国際大会は、一つの意味がありました。それは、日本人としてのR I 会長は稀であり、そのR I 会長の向笠さんは、私の幹事であった年度の地区ガバナーであった事であります。

向笠R I 会長との懇親朝食会も思ひ出深いものがありました。アメリカに次ぐ日本のロータリアンの出席を見ましても、日本の国際的な役割が大きくなっている事と、それを着実に果している姿に接した次第であります。

21世紀に向って政治も経済も動きを始めて居ります。未来を担う青少年育成は地域社会の重大な課題であり、ローターアクトの育成に力点が移って行く可き配慮が大切に思われます。

新世紀に向って、クラブ発展の為に微力ながら一層の努力を致したいと思います。

物故会員名簿

氏 名	死 亡 年 月 日
谷 川 儀 一	昭和41年11月30日
松 尾 政 之	昭和42年5月30日
近 藤 俊 樹	昭和51年8月15日
佐 久 野 源 一 郎	昭和55年3月9日
竹 下 利之右衛門	昭和56年1月20日
佐 久 野 静 衛	昭和56年3月7日
松 下 留 之 助	昭和56年4月22日
有 福 勇	昭和57年7月2日
久 保 浩 助	昭和59年3月13日
塙 塚 昭 雄	昭和59年5月21日

創立当時の思い出座談会

出席者 青山岩夫、池田敏郎、清瀧実雄、才津金人、中村和正、中村繁春、野田久雄、山下弥太郎

編纂委員会 宇本 功、山田和嘉、平山徳一

宇本 福江ロータリークラブは本年創立20周年を迎えるました。20年もたちますとチャーターメンバーは27名から現在11名となり、創立当時の記憶も次第にうすれて来るものと思いますので、この機会に設立当時の苦労話等思い出をお話して頂ければと存じお集まり頂いた次第です。先づ初代幹事の池田さんから。

池田 最初商工業を営んでおられる人達に集まって貰った方がよろしいということで商工会議所の亀川専務さんのところへ小川牧師がみえました。亀川さんはすぐ辞められ後任に私がなり小川さんと又お会い致しました。他に外人が二人おみえになりました。たゞ一つ得をしたのは外人といつても日本語がベラベラでしたので小川さんと四人街を歩いて外人と話をするのを見た町の人達は池田さんは英語が話せるとは知らんだったと噂したそうですが実は日本語で話をしていたのです。

宇本 当クラブ2年目の週報にこの当時のことを小川芳夫さん（新教牧師）が次の様に記述されています。昭和38年5月初め、私共新教の教会（パプテスト派）にて米国テキサスよりヘンリースミス氏（牧師、ロータリアン）他三人を呼んで新生運動を福江と富江でもちました。その時ヘンリースミス氏は福江市にR Cがあるものと思って來訪したが無かったので長崎市でマークアップをした。それで是非福江市にロータリークラブが設立されるようにとお願いがありました。私はこのことを商工会議所の亀川専務さんに会い伝えました。それから亀川専務さんが辞められ後任に池田さんがなられ私は又池田さんに会いに行きました。又、当時火災後で仮営業所であった光洋社を尋ね小林会頭にもお会い致しました……と。又、創立10周年記念誌の中に初代幹事の池田さんは「10年前のある想い出」として、昭和38年11月某日翠仙閣の一室で会合が持たれ、出席者は13名、山下弥太郎さんのご尊父山下佐之助氏、十八、親和、九州相互の各支店長等であり当クラブ誕生の産婆役として長崎北クラブから久保田パストガバナー、青山武雄特別代表がおみえになって説明がなされ



司会役を私が仰せつかった……。創立当初は毎日が手さぐりで当クラブ誕生の陣痛は全く烈しいものであり、長崎北クラブの脇山氏に一つ一つ問い合わせの電話代に家内が悲鳴をあげた……と。

認証状伝達式の冊子の中に、1964年1月16日、谷川儀七、吉田広臣、杉山安五郎、高橋菊夫、山下弥太郎の5氏をキーメンに選び小林商工会議所会頭、池田専務両氏と連絡をとりながら先輩各位のご協力を得て3月12日創立出来るまでに漕ぎつけた。仮クラブとしての活動が始まり、その間スポンサークラブの長崎北クラブの会員、特に理事及び役員の方々は指導の為に来訪されロータリーの意義、ロータリアンは如何にあるべきか等説明されて結成を強く要望され、会員一同今後自己の研修に務め奉仕を誓い合った次第である……。の記述がみられます。

青山 創立総会は昭和39年3月12日、火災後完成した十八銀行二階の会議室で行われたと記憶しております。青山特別代表、脇山慶一幹事もみえていろいろ説明が行われました。

山下 認証状伝達式は翌年昭和40年4月18日に福江小学校で挙行されました。

中村(篤) この日は暴風雨で、なにしろテントが倒れ翌日又一生懸命にテントを張り直した記憶がある。飛行機も欠航して翌日に延期されました。

池田 船で来る人と、飛行機で来る人が長崎まで来て待っておられた。私は雨でグランドがぬかる

んでムシロを集めるのに苦労した。

宇本 式典には何人位みましたか。

才津 180名位みえたと思います。

野田 親和銀行の坂田さんもおみえになったようです。記念写真のなかに、小村会長へ認証状を伝達されている町田ガバナーの姿がみられます。

宇本 山下さんが保存されていた認証状伝達式の冊子によると、当時は370地区は九州全体となっており、遠くは東京、伊東等の他地区のRC及び九州各地のRCからご夫人同伴でおみえになっております。参加クラブ数は25クラブでした。

池田 予算はいくらいったか忘れていましたが、当時会費が月2,000円、食費は150~200円位かと思います。

野田 地区大会の登録料が3,500円であった。

清龍 杉山さんからロータリー入会のお誘いがあったが、その3ヶ月位前だったか博多に出張した時、繁華街の大きなホテルと思いましたがその玄関に○○ロータリークラブと金文字で鮮かに掲示されており、友人にロータリーとはどんなクラブかと尋ねたところ、ロータリークラブとはね、博多の大金持さん達の寄り集い会だよと話してくれました。その潜入感が頭に残っておりましたので杉山さんの勧誘を一言のもとにお断り致しました。その他谷川さん、小川さんという宣教師から熱心にすゝめられて翠仙閣に集まり、青山学長(長崎外語短大) 脇山幹事さんからいろいろ説明を聴



きロータリーを理解して正式に会員になることを約束しました。

中村紳 私と才津金人さんが33才で一番若く一等兵でした。池田さんがみえてロータリーにとにかく入れ、1週に1回出席して会費を納めればいゝ、ロータリーはそのうち分ると。あの当時は先輩後輩のきびしい時代で大変肩が凝ってなどやめようと思いながら通った記憶があります。才津さんと雑誌委員会で出欠とビジター等の記録だけをしました。

才津 記録をとるということは分ったが、卓話の原稿が先輩ばかりで催促出来ませんでした。

宇本 町田ガバナーの公式訪問について

池田 会長が当日出張不在で公式訪問がやり直しになりました。

野田 週報をみると、昭和40年2月17日町田ガバナー卓話、ビジター嘉村平八君（戸畠RC）、更に2月26日、4月2日のビジター欄に町田秀実君（鹿児島RC）と記録がある。2月26日が再度の公式訪問と思います。

宇本 山下弥太郎さんが会長時代の週報に創立記念日に当って次の様に書いておられます。「第1回公式訪問がやり直しを命ぜられたがこれは大火後の諸問題と鉢合せになった為で今思うとロータリー意識の低下というよりは何かほゝえましいエピソードと私は思っております」と。

青山 清瀧会長の時、宮崎の年次大会へ長崎航空をチャーターして全員参加しました。その時の地区大会の感激は今だに脳裏に焼きついております。

清瀧 帰りは飛行機が欠航して、宮崎交通から特別にしたてゝ貰って熊本から島原へ出て帰りました。

宇本 週報をみると谷川さんが地区協議会で前年度に宮崎市へ行っておられる。

宇本 当時の週報を拝見すると、初代会長の小林さんは「私の不勉強と無力なためにまだその活動内容が組織的な実のいったものになっていない事を相済まなく思っています。唯言えることは一週一回のロータリーの例会がお互に楽しみになっているということでありましょうか。ロタ吉さんがこのわがクラブ内にも段々多くなって来つゝあることは微笑ましいことだと思っています……」と前会長の挨拶の中に書いておられます。2代会長の

谷川さんは年度の方針として「和」と「権威」を強調されており、中村繁春幹事は特に今年度は委員会活動の強化を図りたい……と。1年4ヶ月の創成期を過ぎ2年目に入ると週報にロータリーの勉強や各委員会の活動状況が記録されている。野田さんはロータリー情報として「奉仕の冒険」抄を別刷で出しておられる。週報はしかも手書の印刷であり、創立当時の会員の皆様が真剣にロータリーに取り組んでおられる様子が読みとられます。

中村紳 あの週報のコピーは長崎米穀の中村兵一君の奉仕によるものです。私の持っているのは陽に当たっているうちに薄くなり消えて了いました。

才津 中村繁春さんが幹事就任後大学に手術のため入院された。私が副幹事で谷川会長から言われてお見舞に行ったことがあります。

宇本 谷川儀七さんの退会願いの手紙がありますのでご紹介します。三代清瀧会長の時代で昭和41年9月2日付です。「拝啓 朝夕涼氣を覚える頃となりました。私の病気は終に今月まで全快致しませんでした。私はこの福江ロータリークラブを実に熱愛しております。吾が手塩にかけて育てあげたいとし子の様に可愛くてなりません。このいとしいクラブと別れなければならぬ事になったのを思えば熱いものが胸一杯こみあげて來ます。病身の事であればつい欠席勝ちになります。欠席は今上昇気運にある福江ロータリークラブの大重要な出席率に悪影響を及ぼす事になります。どうしても私は辞めなければなりません。私を一ケ年間除名処分にして下さい。一ケ年といつても又半年か三ヶ月で全快致しましたら皆様に御願いしあすがりしてクラブに入れて頂き皆様と一緒に腕を組み手を握り合って社会の為に尽し、ロータリークラブの為に活動致し度いと決心しております。何卒事情ご賢察の上然るべきご处置方お願ひ致す次第でございます」。

野田 谷川さんは大変熱心だった。谷川さんのことで思い出しますが、会長をなさっておられる時にこの辞表にもあります様に欠席がクラブに迷惑をかけるから自分は辞める、3ヶ月か4ヶ月して治ったら出て来ますという退会願いでしよう。私はいっぺん出席のことと大目玉をくったことがあ

ります。ロータリーにおける出席の大しさということについて、とにかくまだ分らんでしょう、自分の職業迄休んでロータリーの例会に出席しなければならんかと質問したら「貴様」と高い所から大きな声で怒られたことがある。成程創立当時の週報を見てみると私は欠席が多いですね。（笑）奉仕金を相当出していますよ。不思議と欠席奉仕金は当時から千円ですね。谷川さんの話が出て感慨無量のものがあります。

滝瀧 記憶に残っていることでその当時財源にゆとりがなかったので1ヶ月1回昼食をパンにして節約して奉仕の方へまわしたところガバナーがみて節約はいかん、例会は吾々の親睦をはかる大切な事であるから御馳走をたべてなごやかな例会をしなさいと言われて止めたことがあります。

宇本 初年度には社会奉仕として五高定時制の生徒に奨学金を贈与されておられます（継続）。養老院へ按摩組合全員の善意の橋渡し、孤児院のクリスマスプレゼント、親睦として竹の子島へ家族連れ海水浴等をされております。2年目は米国ハンコッククラブと交歓、新聞配達少年（群馬県）の招待、大円寺茶屋で春の花見等が行われております。3年目には富江町繁敷分校で総合医療奉仕、ラジオ、テレビ修理等の奉仕をされておられます。嵩さんは嵯峨島へ医療奉仕をされています。

清瀧 当時は社会奉仕の事業にも会員全員が参加したものですよ。

宇本 最後に思い出のなかで特に印象に残ったもの及び当クラブの発展のための今後の課題についてお話をお願ひします。

才津 なんと言っても入会の時は一番若かった。入会の切掛けは谷川さんがわざわざ来て戴いてぜひ入会するよう説得された。谷川さんの卓話が印象に残っております。今後当クラブはシニアのウエイトが大変高い、職業分類を持たないわけですからこれの開放をどうするか、100名を容する大きなクラブになってゆく様に思います。そのへんが将来の大きな課題になっている様に思います。当時はわけは分らず集まって小グループ等で非常に飲んだという記憶があります。

清瀧 私は昔の事はよく記憶していないが、たゞ考えられることは少人数だった為に会員相互の団

結といいますか、そしてなんとかロータリーの仕事を集中するという真面目な気持はその当時は純心であり誠心誠意やったと思います。最近は時代も変り若い人も年々増えて来ていますし、その時と今日の時代の流れも違いますのでその時に順応して行かねばならないと思いますが、私は現在のロータリーのあり方は重点を親睦においてゆく、親睦が無いと本当の仕事は出来ないと思います。相互精神により会員が一致団結して今までゆけば立派なロータリークラブとして発展してゆくものと思いますし期待しています。

野田 創立当時のことははっきり記憶にありませんが、今後の課題ということになりますと、20年たった当クラブの現況をみると非常に年令層がばらばらとなり高年の方、壮年の方、青年の方、その融和がどこまでまとめてゆくか、年寄りには若い人の気持が理解出来ない点もあるし、若い人には年寄りの気持の理解出来ない面もあると思うし、年寄りには年寄りの良いところがあるし、若い人には若い人の良いところがある、お互に信頼し合ってクラブの発展に寄与することが大切ではないか。それには清瀧さんの言われたように親睦が大変大切ではないか。親睦の難かしさを経験しました。相手を尊重する、お互に相手に対する思いやりを欠かさないことが非常に大切ではないかという感想をもっております。特に島外からみえた人に対しては対人関係が非常に違ってくる、その点小さな心配りが必要であり、52名にも大きくなったクラブに荷せられた重要な課題だと思います。

中村飼 先にも申しましたが一番若くして入会したわけですが、その時の会長から各業種の代表として入会したのだから皆合格だ、君づけで呼びなさいと言われました。最初井関先生にも1～2回井関君と言いましたが大変抵抗を覚えました。今後の課題については各先輩が言いましたが、どうかしたら冠婚葬祭用のクラブになって了うのではないかという気もしますのでもっと進んで幅広い親睦に発展したらと思います。

青山 先輩の方々が皆言われましたがロータリークラブは親睦が最も大切だと思います。私達の様に年とった者と最近入会された若い人の間に少し溝が出来ているのではないかという懸念がござい

ますので、この様な点に注意してやってゆきたいと思つております。

中村(篠) 入会の切掛は清瀧さんの勧誘でした。その当時からいろいろお世話になっておやじの様な気持で今日迄アドバイスを受けておりますが、福江に来て余り長くならない時期でありましたので本当に知らない皆さんとロータリーに入会して始めて友達になる切掛が出来たということが、今も一貫していることですが私がロータリーに入って一番よかったです友人が沢山出来たことです。優秀な人ばかり、質のいい友人を得られたわけですから今でも感謝しております。ばらばらの中で入って福江クラブを結成したわけですが、これが一つの同志の様な気持に結ばれたのは認証状の伝達式だったと思います。全会員で一生懸命に沢山の外部からのお客さんを迎えるのに一致団結して設営等を致しました。それが大きな縛になつた様に思います。今後の問題ですが皆さん言われる様にロータリーは親睦が基調にならなければならぬ。人数が増えて来ると財政面その他やり易くなるが又やり難くなる面もある、それは親睦の方で言えると思います。こんなに会員が多くなると党中に党をつくる様な感じになって皆さんにゆき渡る様な、皆さんと心からの交流が得られる様な親睦は大変困難になると思います。ともすればグループ化していくて党中党をつくる様になることを非常に懸念します。その原因として年令の断層の問題もあると思いますし今後気をつけてゆかねばならないと心配もし希望もしております。

池田 創立当時の思い出は先にものべましたので省略しまして、福江中央クラブの将来について少し心配があります。福江中央クラブが出来て会員増強について候補者が向うからも狙われる、こちらからも狙われる様な状態になりました。質か量かということがよく言われます。会員を推せんする或は紹介する場合、昔は直接候補者に入会を勧誘したものですが今の制度では最終段階まで候補者は秘密になっているが洩れることがあつたり、クラブがよくても候補者に断われても困る、質だろうか、量だろうか等々多くの疑問点がこの頃出でているようです。会員選考については充分な配慮が必要だと感じます。

山下 最初は商工会議所の役員、会員の方が主体でございました。医師は井関、松本先生の二人でした。その後会員が段々増えて違った業種の方が入つて来られました。ロータリーに入って良かったと思うのは友人が沢山出来るし、違った職業の方のいゝところを大変勉強させられました。ものの考え方方が自分の職業を遠くから振り返ることが出来るようになり、物を取るだけで出すのを少なくするのが商売の道であったのが物を出すのに抵抗を感じなくなりました。今後の課題はお互に年をとりますと皆さんが言われた様に非常に人間的に元気がなくなりますし考え方方が固くなるので、シニアが多くなつて若いを入れなければクラブ活動も出来にくいと思います。吾々も若い人にどうしたらいいかを反省すべきではないかと思います。

チャーターメンバー

○池田敏郎(商工会議所)、貞名井六三(建築材料配布)、佐々野静衛(税務代理)、○中村和正(医薬品配布)、杉山安五郎(雑貨配布)、○青山岩夫(電気器具配布)、藤野節郎(産業銀行)、中村兵一(米配布)、吉田広臣(商業銀行)、谷川儀七(製氷)、○山下弥太郎(下着配布)、○松岡三十郎(木材配布)、井関敏則(内科医)、松本規純(耳鼻咽喉科医)、○野田久雄(歯科医)、石井 勇(鉱区)、○伊達仲一(鉱業)、○清瀧実雄(石油配布)、小林矢四郎(事務用品配布)、小川芳夫(キリスト教新教)、○中村繁春(船舶用品配布)、高橋菊夫(飛行場経営)、○平山禎己(セメント配布)、○才津金人(繊維小売店)、南 玄武(生命保険)、佐々木朔(ホテル)、近藤俊樹(建築業)

○は現在会員 () は当時の職業分類

想い出のアルバム

チャーターナイト

(昭和40.4.18 福江小学校)



クラブ創立1周年記念祝賀会



春の花見、ロータリー創立記念日を兼ねて
大円寺桜茶屋に於て(昭和41年)

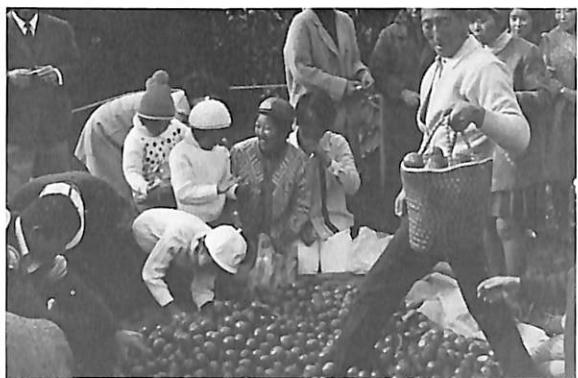


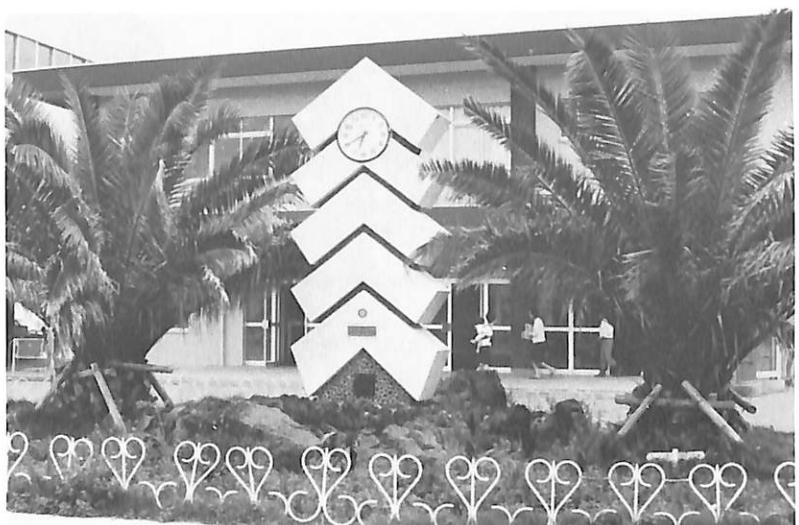


創立 5 週年記念
福江 ロータリークラブ
1969. 6. 22 日



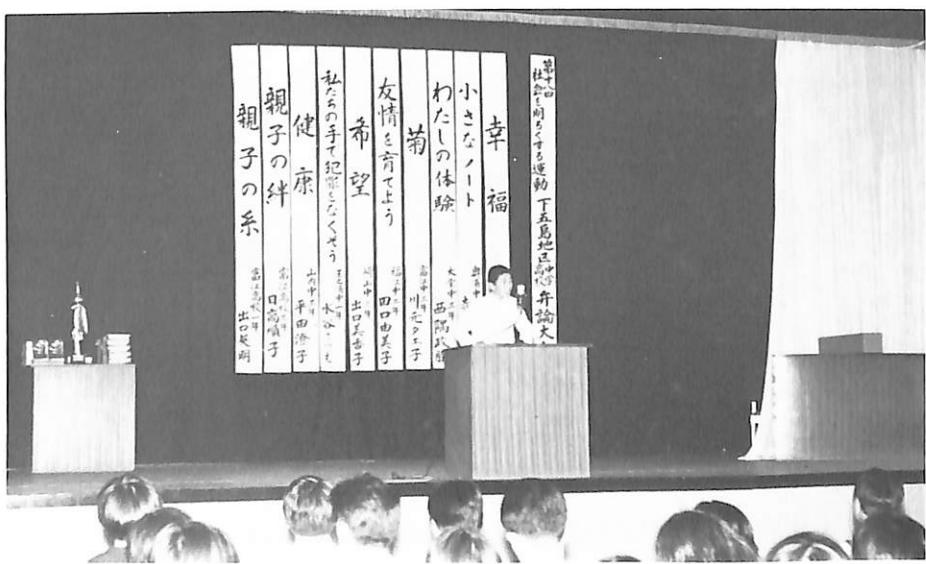
福江空港への県道に桜の苗木を植樹
(昭和43年度)

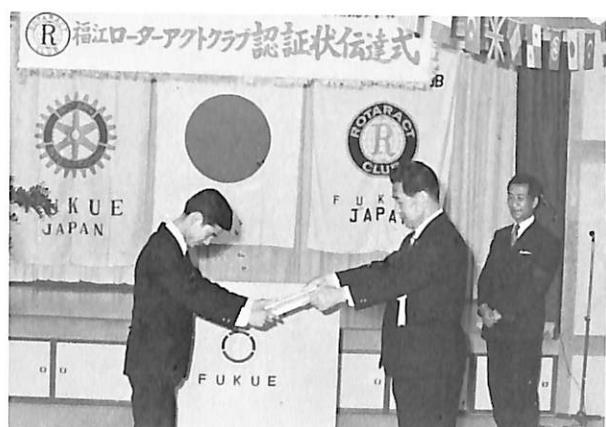




天皇巡幸記念時計台建設►
(昭和44年度)

交換クラブ釜山西R.C.►
を訪問
(昭和45年度)





昭和47年 4月30日▶





昭和48年 3月12日



クラブ創立10周年記念式典
(昭和49.5.18 福江国際会館)





1982. Ggama.

各年度会員役職一覧表

会員名	入会年月	(昭和39年度) 1964・3	(昭和40年度) 1965	(昭和41年度) 1966	(昭和42年度) 1967	(昭和43年度) 1968	(昭和44年度) 1969	(昭和45年度) 1970	(昭和46年度) 1971	(昭和47年度) 1972
青山 岩夫	39. 3. 12	プログラム	職業奉仕(偶)	S. A. A(偶) 副幹事・幹 事41. 11~	国際奉仕	職業奉仕(偶) 会員推せん	プログラム (副)(兼) 社会奉仕	広報(長)	S. A. A	職業奉仕
井関 敏則	39. 3. 12	会員選考	親睦	プログラム	国際奉仕	会長	会員選考	国際奉仕	職業奉仕	ロータリー 財團(長)
池田 敏郎	39. 3. 12	幹事	社会奉仕(偶)	雑誌会報	親睦(偶) 社会奉仕	雑誌会報(偶)	親睦(偶) 雑誌会報	理事会務 奉仕	国際奉仕(偶)	国際奉仕
清瀧 実雄	39. 3. 12	社会奉仕(偶)	副会長	会長	職業分類	会員選考(偶)	ロータリー 財團(偶)	社会奉仕	ロータリー 情報(長)	会員選考ロータ リーコンベンション 公園建設特別委員会 (長)
佐々野静衛	39. 3. 12	職業分類	出席	雑誌会報	副会長	国際奉仕	会員選考(偶)	社会奉仕	社会奉仕	ロータリー 情報
才津 金人	39. 3. 12	雑誌・会報	雑誌・会報	職業奉仕	幹事	職業奉仕(偶)	ロータリー 情報(偶)	職業奉仕(偶) ロータリー 情報	会員増強(偶)	国際奉仕(偶)
伊達 伸一	39. 3. 12	親睦	会員選考	職業奉仕(偶) (偶会員選考)	会長		広報(偶) (偶会員選考)	ロータリー 財團	青少年奉仕(偶) ロータリーアク ト諮問長	会員選考(偶)
豊増富四郎	39. 8. 10	出席	親睦	出席	プログラム	S. A. A	出席(偶) 国際奉仕	S. A. A (兼)出席	出席	副S. A. A (兼)親睦
中村 繁春	39. 3. 12	社会奉仕	幹事	社会奉仕(偶)	S. A. A	ロータリー 情報(偶)	副会長(兼) ロータリー 情報	雑誌会報	会長	国際奉仕
中村 和正	39. 3. 12	雑誌	雑誌	社会奉仕	理事・副幹事	プログラム (長)	国際奉仕(偶)	国際奉仕(偶)	幹事	職業奉仕
野田 久雄	39. 3. 12	プログラム	出席	ロータリー 情報	職業奉仕(偶)	副会長(偶) 会員推せん(偶)	会長	ロータリー 情報(長)	広報(長)	雑誌会報(偶) 10周年記念雑誌 編集委員会(偶)
平山 稔己	39. 3. 12	広報	S. A. A	社会奉仕	社会奉仕	職業分類	社会奉仕(偶) 親睦	社会奉仕(偶)	副幹事(兼) 社会奉仕	職業奉仕(偶)
松岡三十郎	39. 3. 12	親睦	職業分類	職業分類	広報	広報	広報(偶) 会員推せん	副会長	社会奉仕	広報(長)
眞名井六三	39. 3. 12	職業奉仕	青少年奉仕	S. A. A	出席	職業奉仕	会員推せん(偶)	職業分類(偶)	職業分類(偶)	職業分類(偶)
松本 規純	39. 3. 12	ロータリー 情報	理事会務 奉仕	副会長	雑誌会報	幹事	雑誌会報(偶) 職業分類	会長	国際奉仕	理事クラブ 奉仕
山下弥太郎	39. 3. 12	理事会務 奉仕	プログラム	社会奉仕	理事会務 奉	青少年(偶) (兼)職業奉仕	ロータリー 情報(偶) (兼)職業奉仕	会員推せん (長)	ロータリー 情報	ロータリー 情報(長)
有福 勇	39. 10. 1	広報	広報	職業奉仕	社会奉仕	理事会務 奉	職業分類(偶) 職業奉仕	会員推せん (兼)親睦	職業分類	青少年ロータ リーアクト (偶)職業分類
才津 圭策	40. 9. 7		会員選考	理事会務 奉	雑誌・ 会報(偶)	副幹事	幹事	雑誌会報	理事会務 奉	雑誌会報
萬 則雄	41. 4. 1			職業奉仕	会員選考	社会奉仕(偶)	理事会務 奉	幹事	ロータリー 情報	会長
佐々野利一郎	41. 7. 1			プログラム	ロータリー 情報	国際奉仕(偶)	職業奉仕	会員選考(偶)	親睦	副会長

(昭和48年度) 1973	(昭和49年度) 1974	(昭和50年度) 1975	(昭和51年度) 1976	(昭和52年度) 1977	(昭和53年度) 1978	(昭和54年度) 1979	(昭和55年度) 1980	(昭和56年度) 1981	(昭和57年度) 1982	(昭和58年度) 1983
親睦	副SAA(兼) 広報	社会奉仕 兼記録保存	国際奉仕団	社会奉仕	職業奉仕団	プログラム	会長	職業分類	職業分類団	職業分類団
ロータリー財団(長)	ロータリー財団(長)	国際奉仕	国際奉仕団	会員選考団	ロータリー財団	ロータリー財団(副)	ロータリー財団	会員選考	ロータリー財団	(退会)
幹事	国際奉仕	広報(副)	会長	ロータリー情報	ロータリー情報(副)	ロータリー情報(長)	広報(長)	職業奉仕団	広報(長)	出席(副)
社会奉仕	社会奉仕団	ロータリー財団(長)	会員選考団	ロータリー公園特別委員会(長)ロータリー少青年ロータリー財団	ロータリー公園特別委員会(長)	ロータリー公園特別委員会(長)	ロータリー公園特別委員会(長)	会員選考団兼社会奉仕	会員選考団	ロータリー財団(長)
ロータリーニュース	会員選考	職業分類	職業分類団	職業分類団	職業分類団	職業分類	会員選考団	(死亡)		
理事会務奉仕	ロータリー情報(副)	ロータリー情報(長)	社会奉仕団	副会長	社会奉仕団	ロータリー情報	ロータリー情報(副)	ロータリー情報(長)	会長エレクト	会長
青少年ロータリアクト(長)	会員増強団	ロータリー情報	ロータリー情報(副)	ロータリー情報(長)	会員選考団	国際奉仕団	会員増強団	会員増強	国際奉仕	監査
出席	出席	副S.A.A(兼)出席	出席(長)	国際奉仕団	プログラム	副会長	社会奉仕	ロータリー財団(副)	監査	(退会)
雑誌会報	広報(長)	プログラム(長)	広報(副)	広報(長)	社会奉仕団	国際奉仕団 75周年記念事業委員長	国際奉仕団 ロータリー公園特別委員会	会員選考団	会員増強	職業奉仕
S.A.A副幹事	会員増強	親睦(長)	出席(副)	親睦(長)	広報(副)	会長	青少年奉仕 (ロータリアクト)	会員増強団	広報	理事会務奉仕
第10分代理	ロータリー情報(長)	会員増強団	社会奉仕	ロータリー財団(長)	ロータリー情報	理事会務奉仕 ロータリー情報(副)	ロータリー情報(長)	広報(長)	会員増強団	職業奉仕
職業奉仕	国際奉仕	記録保存団	職業奉仕	会員増強団	記録保存団	記録保存団	職業奉仕団	職業奉仕団	出席	副会長 記録保存(長)
会員選考	会員選考団	会員選考	会員増強団	会員選考	広報	広報	国際奉仕	ロータリー財団	広報	国際奉仕
親睦	職業奉仕団	S.A.A	社会奉仕	青少年ロータリアクト(副)ロータリー公園特別委員会	会長	広報	会員増強団 ロータリー公園特別委員会	(退会)		
ロータリーニュース	職業分類	職業分類団	職業奉仕団	青少年ロータリアクト(長)	(退会)					
副会長(兼) ロータリーニュース(長)	会長	青少年ロータリアクト(副)	雑誌会報	青少年ロータリアクト(副)	青少年ロータリアクト(長)	青少年ロータリアクト(副)	会員選考団	監査委員	職業奉仕	会員選考団
職業分類	副会長(兼) 青少年ロータリアクト(長)	青少年ロータリアクト(長)	雑誌会報	職業奉仕	職業分類	職業分類団	職業分類団	青少年奉仕(副)	(死亡)	
雑誌会報 (兼)広報	雑誌会報 (副)(兼) 広報	プログラム 副S.A.A(兼) 職業奉仕団	記録保存団	副S.A.A(兼) 職業奉仕団	雑誌会報	雑誌会報	理事会務奉仕	雑誌会報	雑誌会報	職業奉仕 雑誌会報
会員選考団	出席(長)	出席	プログラム(長)	出席(副)	会員選考団	ロータリー財団(長)	会員増強	職業奉仕	職業奉仕団	会員選考団
青少年ロータリアクト	国際奉仕団	会員選考団	青少年ロータリアクト(長)	雑誌会報	雑誌会報	プログラム(副)	広報(副)	監査委員	ロータリー財団(副)	社会奉仕

各年度会員役職一覧表

会員名	入会年月日	(昭和39年度) 1964・3	(昭和40年度) 1965	(昭和41年度) 1966	(昭和42年度) 1967	(昭和43年度) 1968	(昭和44年度) 1969	(昭和45年度) 1970	(昭和46年度) 1971	(昭和47年度) 1972
西津 繁矢	41. 11. 8			社会奉仕	職業分類	職業分類(同)	社会奉仕	会員選考	会員選考(同)	会員増強(同)
才津 為夫	41. 11. 8			雑誌会報	プログラム	会員選考	親睦(長)	親睦	親睦(兼) 会員選考	親睦(長)
堀本 一造	41. 11. 8			親睦	職業奉仕	プログラム	会員推せん (長)	職業分類	社会奉仕(同)	出席(兼) 社会奉仕
向原 正雄	42. 9. 8				ロータリー 情報	社会奉仕	社会奉仕(同)	社会奉仕	出席(長)	職業奉仕
北島千代福	42. 9. 29				社会奉仕	社会奉仕	副幹事(兼) プログラム(兼) 広報	S. A. A	社会奉仕	社会奉仕(同)
早瀬 博道	42. 9. 29				社会奉仕	出席(長)	雑誌会報(同) (同)社会奉仕	雑誌会報(同)	青少年奉仕	プログラム (長)(兼) 社会奉仕(同)
山口七之助	43. 1. 10				会員選考	職業奉仕	職業奉仕(同)	職業奉仕	職業奉仕	広報(兼) 社会奉仕
福地 正登	43. 2. 10				社会奉仕	社会奉仕	出席	国際奉仕	プログラム	青少年ローターアクト
竹下利之右衛門	43. 5. 10				親睦	親睦	会員選考(同)	親睦	副会長	会員選考10周年記念行事計画委員会
山田 和嘉	43. 7. 5					出席	S. A. A (兼)出席 (同)雑誌会報	職業奉仕(同)	雑誌会報(同) 職業奉仕	副幹事(兼) 職業奉仕
才津卯喜男	43. 8. 9					親睦	プログラム (長)	親睦(長)	職業分類	親睦(兼) 会員増強
久保 浩助	44. 1. 3					社会奉仕	国際奉仕	社会奉仕	プログラム	青少年ローターアクト
川口 博正	44. 1. 17					職業奉仕	プログラム (同)社会奉仕	プログラム (長)	職業奉仕	S. A. A
山本 鶴男	44. 2. 7					出席	社会奉仕	出席	会員増強	出席
倉富不二夫	45. 8. 7							親睦	親睦(長)	社会奉仕
大渕 貞雄	45. 8. 7							職業奉仕	青少年奉仕	会員増強
宇本 功	46. 1. 8							職業奉仕	国際奉仕	幹事
畠中 一徳	47. 3. 3									プログラム
真田 辰良	47. 7. 28									雑誌会報
眞崎 哲義	47. 9. 8									社会奉仕

(昭和48年度) 1973	(昭和49年度) 1974	(昭和50年度) 1975	(昭和51年度) 1976	(昭和52年度) 1977	(昭和53年度) 1978	(昭和54年度) 1979	(昭和55年度) 1980	(昭和56年度) 1981	(昭和57年度) 1982	(昭和58年度) 1983
国際奉仕	社会奉仕員	社会奉仕	副会長	国際奉仕	ロータリー財団(長)	会員選考員	国際奉仕	会長	会員選考員	監査
職業分類	職業分類員	広報	職業奉仕員	親睦	職業奉仕員 会員選考員	親睦(副)	親睦(長)	出席	親睦(副)	職業奉仕員
社会奉仕	会員増強	副会長	プログラム	会長	ロータリー公團特別委員会(副)	社会奉仕員 ロータリー公團特別委員会(副)	社会奉仕員 ロータリー公團特別委員会(副)	ロータリー財団(長)	社会奉仕	社会奉仕員
出席	社会奉仕	親睦	ロータリー財団(長)	広報(副) 親睦	親睦(長)	親睦	青少年奉仕(長)	親睦(副)	親睦(長)	社会奉仕
職業奉仕	職業奉仕	社会奉仕員	会員増強員	社会奉仕	出席	職業奉仕員	社会奉仕員	国際奉仕員	社会奉仕員	親睦(長)
社会奉仕員	プログラム(副)	理事会務員	職業分類	職業分類員 雑誌会報	プログラム(副)	広報(長)	雑誌会報 社会奉仕副幹事	国際奉仕員	社会奉仕	プログラム(長)
職業分類	幹事	親睦	会員選考員	国際奉仕員	青少年ローターアクト	社会奉仕	青少年奉仕(副)	青少年奉仕(長)	監査	ロータリー財団員
プログラム(長)	ロータリーニュース	ロータリーニュース(副)	ロータリーニュース(長)	国際奉仕	親睦(副)	国際奉仕	(退会)			
会長	会員選考員	会員増強員	ロータリーニュース	会員選考員 ロータリーニュース(副)	ロータリーニュース(長)	ロータリー財団	ロータリー財団	(死亡)		
プログラム	職業奉仕	幹事	副幹事(兼) 記録保存	プログラム(長) 記録保存	S. A. A	職業分類員	プログラム副 職業分類員	理事会務員	記録保存員	雑誌会報員
親睦	親睦(長)	職業奉仕員	親睦(副)	幹事	副幹事 S. A. A 社会奉仕	青少年ローターアクト(長) ロータリー公團特別委員会	青少年奉仕 ロータリー公團特別委員会	会員増強員 青少年奉仕	国際奉仕員	親社会奉仕
職業奉仕	青少年ローターアクト(副)	職業奉仕員	副S. A. A 広報員	職業分類	国際奉仕員	会員増強	会員増強	広報(副)	広報(副)	(退会)
職業奉仕員	職業奉仕員	広報(長)	青少年ローターアクト(副)	社会奉仕員	職業分類員	幹事	国際奉仕員	副会長	プログラム(長)	職業奉仕員 会員増強員
社会奉仕	出席(副)	社会奉仕員	社会奉仕	S. A. A	出席(副)	親睦(長)	プログラム(長)	幹事	会員増強員	会員増強員
国際奉仕	親睦	出席(副)	プログラム(副)	出席(長)	親睦	出席(副)	出席(副)	親副S. A. A	職業分類員	(退会)
職業奉仕	社会奉仕	職業奉仕	出席	会員増強	青少年ローターアクト	会員選考	出席	社会奉仕	会員選考	(退会)
広報(長)	プログラム(長)	会長	親睦	雑誌会報員	会員増強員	職業奉仕員	雑誌会報員	プログラム(長) 副幹事	雑誌会報員	広報(長)
親睦(長)	職業分類	職業分類員	職業分類員	職業奉仕員	職業奉仕員	社会奉仕	広報	親睦(長)	親睦	出席(長)
会計	雑誌会報員	会計	雑誌会報	会計	国際奉仕員	(退会)				
社会奉仕	職業奉仕	親睦(副)	(退会)							

各年度会員役職一覧表

会員名	入会年月日	(昭和39年度) 1964・3	(昭和40年度) 1965	(昭和41年度) 1966	(昭和42年度) 1967	(昭和43年度) 1968	(昭和44年度) 1969	(昭和45年度) 1970	(昭和46年度) 1971	(昭和47年度) 1972
今村伊之次	47. 9. 21									親睦
福島 良問	47. 9. 21									プログラム
山下 昇	47. 9. 21									職業奉仕
浦 雄一郎	47. 9. 21									国際奉仕
三浦 二男	48. 7. 6									
石井 勇	48. 7. 13									
佐々野源一郎	49. 4. 19									
近藤 俊樹	49. 7. 19									
井上 晃	49. 7. 19									
福島 義範	49. 7. 19									
道津 安石	51. 6. 18									
塙塚 昭雄	51. 12. 17									
松下留之助	51. 12. 17									
平山久仁俊	51. 12. 17									
長谷川庫一	53. 4. 28									
貞方 利夫	53. 4. 28									
才津 祐造	53. 8. 11									
久米 哲彦	53. 8. 11									
松本 繁男	53. 10. 20									
宇田 和馬	54. 4. 20									

(昭和48年度) 1973	(昭和49年度) 1974	(昭和50年度) 1975	(昭和51年度) 1976	(昭和52年度) 1977	(昭和53年度) 1978	(昭和54年度) 1979	(昭和55年度) 1980	(昭和56年度) 1981	(昭和57年度) 1982	(昭和58年度) 1983
会員増強	親睦(副)	職業奉仕	社会奉仕(副)	ロータリー財団(副)兼社会奉仕	副会長	会員選考(副)	広報	青少年奉仕	ロータリー財団(長)	国際奉仕
職業奉仕	S. S. A 兼副幹事	記録保存(副) 兼職業奉仕	幹事	記録保存(副) 出席	理事会務 奉	会員増強(副)	社会奉仕(副)	国際奉仕	副会長	社会奉仕 (副)
国際奉仕(副)	理事会務 奉	プログラム	S. A. A	職業奉仕	雑誌会報(副)	会員増強(副)	副会長	会エレクト	会長	国際奉仕(副)
親睦	国際奉仕(副)	国際奉仕(副)	理事会務 奉	広報	(退会)					
会員選考	会計	会員増強(副)	(退会)							
親睦	青少年ローターアクト	社会奉仕	(退会)							
	親睦	雑誌会報(副)	親睦(長)	会員増強(副)	青少年ローターアクト	青少年ローターアクト	(死亡)			
	青少年ローターアクト	国際奉仕(副) 兼青少年ローターアクト	(死亡)							
	国際奉仕	出席(長)	国際奉仕(副) 記録保存	理事会務奉仕 (副)記録保存	幹事	広報(副)	記録保存(副)	記録保存(副)	記録保存	国際奉仕(副)
	社会奉仕	雑誌会報(副) 兼記録保存	会員選考	記録保存(副)	記録保存(副)	記録保存(副)	ロータリー財団(長)	プログラム (副) 記録保存	記録保存(副)	記録保存(副)
			会計	副幹事(兼) プログラム	会計	(退会)				
			青少年ローターアクト	社会奉仕	出席(長)	S. A. A	幹事	社会奉仕(副) 兼国際奉仕	社会奉仕(副)	青少年奉仕 (副)
			親睦	親睦(副)	広報(長)	出席(長)	社会奉仕	(死亡)		
			職業奉仕	プログラム (副)	プログラム (長)	社会奉仕(副)	S. A. A 兼記録保存	(退会)		
				青少年ローターアクト	親睦	プログラム (長)	親睦(副)	社会奉仕(副) 兼ロータリー情報	ロータリー情報 (長)	雑誌会報(副)
				社会奉仕	社会奉仕	職業奉仕	出席(長)	S. A. A	プログラム	社会奉仕(副)
					社会奉仕	雑誌会報	職業奉仕(副)	雑誌会報(副)	ロータリー情報	ロータリー情報 (副)
					雑誌会報	雑誌会報(副)	社会奉仕	社会奉仕	幹事	ロータリー情報
				国際奉仕	会員増強	職業分類	職業分類(副)	青少年奉仕 (長)	青少年奉仕 (長)	青少年奉仕 ローターアクト(副)
					親睦	会員 兼職業奉仕 親睦	計	出席(長)	(退会)	

各年度会員役職一覧表

会員名	入会年月日	(昭和39年度) 1964・3	(昭和40年度) 1965	(昭和41年度) 1966	(昭和42年度) 1967	(昭和43年度) 1968	(昭和44年度) 1969	(昭和45年度) 1970	(昭和46年度) 1971	(昭和47年度) 1972
平山 徳一	54. 10. 5									
牟田 宣昭	54. 10. 5									
森田 栄次	54. 8. 24									
池田 忠志	56. 2. 13									
杉山 巍	56. 2. 20									
佐々野邦久	56. 9. 4									
秋元 隆雄	56. 9. 25									
藤田 七郎	57. 3. 12									
安永 克己	57. 9. 17									
平山平八郎	57. 12. 1									
井関 哲郎	57. 12. 1									
牟田 恒昭	58. 4. 8									
江川 京次	58. 9. 30									
的野 圭志	58. 9. 30									
松林 行一	58. 12. 2									
川尻伊之昭	58. 12. 16									
水田 亘昭	59. 3. 9									
引地 寛	59. 4. 27									

(昭和48年度) 1973	(昭和49年度) 1974	(昭和50年度) 1975	(昭和51年度) 1976	(昭和52年度) 1977	(昭和53年度) 1978	(昭和54年度) 1979	(昭和55年度) 1980	(昭和56年度) 1981	(昭和57年度) 1982	(昭和58年度) 1983
						雑誌会報	雑誌会報(回) 一 情 報	雑誌会報副 刊ロータリ ー 情 報	理事会務 奉仕	ロータリー 情 報 (長)
						社会奉仕	職業分類(回)	職業分類(回)	S. A. A	幹 事
						会 計	出 席	会 計	(退 会)	
								出席 (副) 兼青少年奉 仕	出席 (長)	S. A. A
								社会奉仕	雑誌会報(回)	雑誌会報
								社会奉仕	親 瞳	青少年奉仕 (長)
								会 計 (兼) ロー タリ ー 情 報	職業奉仕副	会計兼親睦
								出 席	会 計 (兼) 出席 (副)	プログラム (副)
									国際奉仕	親 瞳 (副) 兼青少年奉仕
									青少年奉仕	親 瞳
									青少年奉仕	青少年奉仕
										青少年奉仕
										親 瞳
										雑誌会報
										親 瞳
										S. A. A (副)
										出 席
										会 計

会員プロフィール



佐々野 利一郎

広島、長崎の原爆の日が続いて核兵器廃絶の平和宣言が高く叫ばれている時である。偶然テレビのスイッチを入れたらあの原爆を運んで来たB29の操縦士のインタビューがあって居た。彼は「決して悪いことをしたとは今も思ってない、当時米国民も日本国民も戦争の終ることを切願していた。あれはこの願いを達成したものであった」からと。そこには被爆した数十万の人々の悲惨さは全く考えられていない。世の中にはこうした一方的な判断が少なくはないのではないか。しかもその是非を断定する絶対者はいない。吾々も言動をようく反省したいものである。



西津繁矢

福江ロータリークラブに入会して早18年、その間毎年7月1日の誕生日は、年度当初の誕生祝をいただき、その都度感激致しております。

74才と云う高令ではございますが、益々ロータリー精神を勉強して皆様の友情をいただきながら身体の動ける限りつとめて行きたいと思って居ります。



松岡三十郎

生年月日 明治38.12.16
住 所 福江市上大津町193
職 業 (有)松岡材木店社長
家 族 6人
ロータリー歴 チャーターメンバー

現在病気で自宅静養中



清瀧実雄

クラブ認証から20年の歳月を経て種々と角度を変え反省すると会員資格として一業種一名、尚、地域社会に於て信望あることの条件を余り意識過剰気味に受止め又地区ガバナーの年度一回の公式訪問に対しても緊張し年間を終始精神的に重荷を背負い通した感であった事が想い出となって残る。現今は創立当時と比較すれば公式訪問時のガバナーの指導のあり方と会員諸々の活動の在り方が開放的で明るく諸規約に対しても柔軟に受止め殊に会員の親睦を基に且会員数も遂年増強されその結果は今昔の感を深くする、人生も二十年を迎えて成人しクラブも同じ歴史を経て成長したことと考えるべきでしょう。年々若い世代の会員諸氏が増強されるたびに新鮮味を加え歴史を更新して居ります。当クラブの益々の充実した発展を祈念し乍ら今日此の頃の雑感を述べてみました。



野田久雄

私共のクラブも20周年の歳月の間に、ロータリー創立の理念を基盤としてさまざまな奉仕活動に努力して参りましたが、カンセコR I会長は更にロータリアンおよびロータリークラブに奉仕の輪を拡げることを要請し、そのためには具体的に何をなすべきかといいくつかの提案を示しております。

私共福江ロータリークラブも20年を機に過去の業績をふまえ、築きあげた輝かしい伝統に誇りを持ちながら、さらに多くの人々のニーズに一層応える方法を探究し、奉仕の新生面を見つけようではありませんか。



伊達仲一

生年月日 大正4.1.16
住所 富江町田尾
職業 田尾鉱山社長
ロータリー歴 チャーターメンバー
ポールハリスフェロー

第4代会長

現ロータリー財団副委員長



堀本一造

入会当初は福江に来て、日も浅く友も少く例会出席も苦になっていた。17年過ぎて、多くの友を得て喜びを感じている。始めは、勉強しても容易にわからなかったが、役を担当するようになって、少しほとロータリーの理解も出来るようになった。全会員が夫々1年交替で役を持つのがロータリーの特長だと思う。私も各種の役に所属して会員と共に、実践した奉仕作業や年中行事、特に多数の会員、家族と共に参加した東京国際大会、その他の大会は忘れ得ない思いである。今年は古稀をむかえ皆様に御祝を受けました。年齢を意識せず健康に留意して、会員の友情を御願いして奉仕をしていきたいと思います。



山下弥太郎

“ロータリーは先づ出席から”
ということで19年間努めて皆勤で通す事が出来た。最近は仕入の旅行も少なくなったが、以前はよく出掛け、一回か二回か、都市でメーキャップしたものだ。都会のクラブは、必ず卓話があり楽しく出掛けた。会員の中に専門家が多く、地域に適当な人が多いので出来るのだろう。

メーキャップを予定すると、旅行の日程が一日長くなり、二回も受けて帰ると、ホームクラブに長くご無沙汰するので、役をもって忙しい時には、途中で副の人にお願いすることもあった。都会では一流ホテルの例会場が多いので、早目に出掛け見物したり、ロータリアンということで優遇され居心地は悪くない。皆様も機会があったらどうぞ！



長谷川 庫一

私はクラブへ入会して7年目に入っています。学校教育で云々中学に入ったばかりと云うことになりますか、まだ教科書が必要なので「ロータリーの友」を興味深く読んでいます。記事には「一貫性と多様性」と「自負性と若干の独善性」があります。

私はそこから自分のロータリアンとしての進むべき道は自ら選べばよいのではないかと思っています。



平山 徳一

人間、その人の間は無限である。
その間をいかに埋めるかが、
人間の価値と生きがいを決定づけるような気がしてなりません。

ロータリーは、その間に奉仕を埋めました。その奉仕はもちろん知性と道徳に支えられたものでなくてはなりますまい。

その奉仕を、生きる基盤として今後も生き続けてゆきたいものです。

—○春風をもって、人に接し

秋霜をもって、己れを蕭しむ○—
この格言を座右の銘として。



山口 七之助

交通事故防止に心がけましょう。

シートベルトを着用しましょう。

シートベルトは救命ベルト。

(下五島安全協会会長)



杉山 嶽

出 生 大正7年7月30日長崎市で生まれる
現 住 所 福江市上大津町327番地
職 業 五島自動車学校 校長
家 族 3人のこどもはみんな県外に居住
趣 味 カメラ
私の好きな言葉 誰知黙々不言裡
山是青々花是紅



宇 本 功

10年誌のなかの10年前の自分の写真を眺めて若いなあと感嘆しました。来年は65才になります。28年前に五島の病院へ行ってこいという教授のお話で2~3年のつもりで赴任しました。日赤病院における8年間は私の一生の中で一番充実した時期の様に思います。その御縁で当地に開業して今年で20年になります。沢山の方々と出会い御知己を得ました。この出会いを大切にして体の続く限り医師の仕事を通じて五島の方々の健康に奉仕したいと思っております。

創立20年記念誌の編纂に当っている昨今で御座いますが、各年度、会員の皆様の熱心な奉仕活動にたゞたゞ感心致しております。



青 山 岩 夫

20周年式典並に行事も盛会の裡に終りましたが、各委員の方方の並々ならぬ御苦労に対し感謝申し上げます。

次の目標は30周年ですが、健康に留意し、男子の平均年令まで達すれば迎えることができます。奉仕の理想を貫くため努力いたします。宜敷く御指導下さい。

故塩塚昭雄氏はクラブの中堅で、将来を嘱望されていましたが、急逝され誠に残念でした。御冥福をお祈り申し上げます。



嵩 則 雄

昭和47年第9代会長をつとめた。創立10周年を次年度に迎え、記念事業の準備の年でもあった。

今迄に、国際奉仕委員長だけは経験がない。井関会長の下で、社会奉仕委員長をつとめたが、事業としては、

- (1) 空港道路に、ロータリー桜の並木道を、100本の桜を植樹した。
- (2) 六方海水浴場の監視鉄塔を建設して、市に寄贈した。



畠 中 一 徳

「健康は何ものにも勝る宝」とよく云われております。元気な時はその言葉の持つ深い意味をさりげなく考えましたが、自分が大変な病気になり、しみじみとこの言葉が心に強くさせられました。本当に人間は健康が何よりも、何事にも勝る宝である事と、幸福を得る一番の元であることを深く考える様になりました。

天職の菓子業に努力しながら、健康になって幸せな生活がいとなんで行ける事を祈りつゝ過して居ります。



今 村 伊之次

私は50才でロータリークラブに入会致しそれから12年、退会しようとくじけた時もありましたが地域のトップの方々におつき合いいただきクラブの奉仕活動を通じて人徳にふれどうにか今日に至りました。まさに親子孫と一緒に明治、大正、昭和1けた、2けた、戦後生まれた人も年の隔たりを感じず愉快にできる集いはロータリーならではと思っております。

今後も初心にかえって世のため人のため奉仕に心がけてゆきたいと思っております。



池 田 敏 郎

20年前、当クラブ認承状伝達式。福江の海と空は荒れた。船も飛行機もフイ。式典は一日延期された。その時の幹事だった私は、お前の精進が悪いからだと言われ、ひたすら恐縮した。そして10年目でまた幹事を拝命。創立10周年式典。またまた雨も雨のドシャ降り。ガバナーも大村空港に足止め。長崎北クラブの特別代表代理、脇山君の挨拶でも早速『雨幹事』と指摘された。私のロータリーの想い出は、この雨につきまとわれることだろう。



的 野 圭 志

入会の58年9月の初の例会日はガバナー公式訪問の日でした。まづもって記念すべきロータリーアン第一歩の日がありました。例会終了後村上分区代理が「頑張って」と握手をされました。紹介を聞いていて私が学校の後輩だということがわかったのでしょう。

さて59年度は雑誌会報の委員長をお受けつかりました。元、前委員長さんたちから「いや一胃が痛くなりましたよ」の慨嘆の言葉を聞くたびに、「これは大へんなことになったぞ」と頭をかゝえていましたが、今のところまだ胃の調子に異状はありませんので安心しています。ロータリーの勉強にはこの委員会が最適です。よかったですと思っています。



江 川 京 次

昨年9月に入会させて頂き、親睦委員をやらせて頂きましたが、親睦はロータリーの基になるのではないかと思いました。本年は社会奉仕委員をやらせて頂くことになりましたが、ロータリーに於ける奉仕とは何か、理解してなかったので、本年はこのロータリーの根本精神とも言うべき奉仕について勉強させて頂き度いと思って居ります。すばらしい方々との出逢い、又、暖かい御指導に対し諸先輩に対しまして心より感謝申し上げます。



才 津 卵喜男

入会して15年余り、多くの方と身近かにして頂き健康で今までこれた事を心より感謝しております。奉仕活動も色々とあるが、数人の方と鬼岳桜公園に連日手入れに行った事は思い出の一つ。なかでも私が幹事時代東京で世界大会が行われた時当クラブ（含む御夫人）より27名が参加し国際的民族衣装で5万人の人が参加したのは一生の思い出。



山 田 和 嘉

早いもので10周年記念誌編集の一員として働いたのも、つい、この前のような気がする。資料不足で大弱りした。そんなことで「記録保存委員会」がつくられた。今でこそ、めずらしくない委員会だろうが、おそらくこの種の第一号ではなかったろうか。

20周年誌編纂の一員に再度加えられたが、今回は資料や写真などが、あまりにも沢山で、むしろ選び出すのに苦労した位である。自分が撮った写真なのに、その時の状況を思いだせず、記憶というものの曖昧さを思い知らされたのと同時に、記録や写真を確実にとって保存していくことの重要性を改めて思い知らされたのである。



福 嶋 義 範

入会は昭和49年7月19日、蟻川ガバナー公式訪問の日であった。後日10周年記念誌編集委員の記念写真を撮ってお手伝いしたのが仕事の始まりで、間もなく真田雑誌会報委員長のかわりに会報を担当、当時中央クラブ創立準備中で、むづかしいロータリー用語が続出し入会ほやほやの私には会報作りに大変困難でしたが、会の動きの理解と共に大変勉強になった。

今年は、20周年記念誌作成に当り、記録保存委員長として、記録写真提供の1員として参加でき、10周年、20周年と自分の手形が残るのは、本当に有難い御縁であると、心から感謝しています。



才 津 祐 造

歴史ある福江ロータリークラブの20周年の御成功をお祝い申し上げます。

ロータリークラブに入会して、6年(53.8)!!漸く、ロータリーの意義を、「奉仕を志す者の集りで、これら同志に、奉仕を実践する勇気と、便宜を与える為の、機関である」ということが理解出来るようになりました。

今年度(1984~1985)は情報委員長をつとめる訳で、未熟者ではありますが、私なりにロータリーの目的を解し「よりよい社会を創り、平和な世界を築くため、同志が深い信頼と友情を深めるよう親睦活動につとめ同時に会員同志にロータリアンとしての必要な智識を啓発しつつ、私の奉仕のつとめを進めてまいりたいと思います。

友を得 友を知り 友をゆるし 共に語り
共に生きることは本当に美しく楽しいものです。



山 下 異

10周年の行事に参加したのは、入会した翌年のこと。竹下会長の下に10周年を迎えた若々しい福江クラブの姿が目にしみついている。早いもので今年は20周年である。福江クラブも20才の成人式を了えて大人の仲間入りをしたわけである。子供の頃の天才は往々にして大人になると凡人になりがちであるといわれている。福江クラブだけは前人の諺をくつがえして行くことだろう。

先輩の訓えに従って、職業を通じて出来る奉仕に徹することが願いである。



才 津 炳 夫

入会して18年になるが、今まで役員としては親睦を担当した期間が最も長かった。

ロータリーは親睦からと云われています。その間会員の多くの皆様と親睦を深めることができたと思います。

今年度も親睦委員ですので、大いに活躍し親睦を深め真に充実したクラブとして楽しくやっていきたいと念願しています。



中 村 繁 春

当クラブは創立20周年を迎えたが、当時39才だった私も来年は早くも還暦である。

悔いのない人生を、と思うのは万人の願いであろうが、更に楽しい人生を、と欲ばるのも亦人情である。楽しいことの大部分は趣味によることが多い。私の趣味はゴルフ、囲碁、麻雀、飲み会、と殆んどが人間相手のものである。それ故に人間関係をことさら大事に思うのである。楽しく生きるために、おつきあいをして頂く友人が不可欠だからである。甚だ手前勝手な考え方のようだが、所詮人間は孤立しては生きられない。豊かな人間交流の中で、これからも友人達と楽しく過ごして行きたいものである。



早瀬 博道

早いもので入会以来17年、いつの間にか、シニアと呼ばれるようになり、2年目を迎えようとしている。ロータリーは先ず、出席からと言われるが、職業柄4月5月は役員会、総会の連続で、例会は欠席がち、メーキャップするにも近隣クラブは、長崎まで行かねばならず、随分苦労したものである。福江中央クラブの誕生で、メーキャップも至便になり今年は、10年間無欠席で、創立20周年記念行事に参加できたのは、望外の幸であった。

親睦と友愛、奉仕の心を忘れず、初心にかえり、精進をつづけたいと念願している。



北島千代福

昭和42年9月29日入会以来、今年度始めて親睦委員会に配属され、委員長を命ぜられた。親睦はロータリーの原動力であり、クラブ奉仕の役割が「親睦から奉仕へ」が基本であると言われるように、会員相互の友情を深め、ロータリーの原動力になるよう親睦に努めた。

創立20周年の式典会場、並びに祝賀会場の会場及び舞台の設営の折は、会員多数の御協力により立派な会場ができたが、これこそ会員相互の友情であり、「親睦から奉仕」があったからこそと、会員皆様方のご奉仕に感謝申し上げる次第。今後共宜敷く御指導をお願いします。



川口博正

入会後15年が過ぎ去りました。智性と行動力に乏しい私を、導いて下さる会員の皆様方に深く感謝申し上げます。

今後は、自分の天職を通じて地域社会に役立ちたいと思います。



福島良間

歩いても歩いても、長い遠い一本道であった。道の両側はすべて畠で誠にどのかな田園風景であった。家にたどり着いた時には子供の足は心良い疲労を覚えた。私の少年時代の記憶です。そのもっと昔は乗合馬車が走っていました。富江小学校より黒瀬郷に至る南北一直線に走る約半里の土埃のたつ道です。

盆すぎの或る日、往診の途中昔の想い出にひたりながらゆっくり車を運転しながら周囲を眺めると、その昔建物一つなかった道の両側には、高校、生コン工場、赤、青色の屋根の家など、ギッシリと建物が続いている。勿論舗装道路だ。戦後39年、故里五島も随分と変った。しかし余り変って貰いたくないのも本心である。



才津圭策

20周年を迎えお目出度うございます。10年前自分の名前を付けて愛情をこめて育てた桜も今は大樹となって季節がくると花吹きで道行く人を楽しませてくれます。鬼岳の桜も苦労したかいがあってすくすくと成長しています。そのうちに桜の下での花見の宴も開かれることでしょう。

私入会して19年余となりました。その間歴代の会長さん理事の方々会員皆様の御尽力によりこのような立派なクラブに発展したことをお慶び申し上げます。

これからも益々地域社会の発展の要となって御成長されますことをお祈りいたします。



井 上 晃

56才、ロータリー歴10年、昭和39年現在住所にて内科小児科医を開業。

妻 節美、長男 憲一、長女 効子の4人家族。
趣味は多いのが趣味だが特にゴルフ、写真、海釣りを良とする。

幹事、クラブ奉仕委員長、国際奉仕委員長、出席委員長を経験。

昭和20年8月、広島、長崎両地にて被爆、其の後健康にしてシラガなし。



藤 田 七 郎

創立20年の輝かしい歴史を築かれた諸先輩の方々に、心からの敬意とおよろこびを申しあげます。

私達は、自然の恵みと、多くの人々の目に見えない協力と恩恵により、生きていることを決して忘れてはならない。

自然とすべての人々に感謝をしながら、自分の職業に誇りと責任を持ち、ロータリアンとして恥じない行動をし、奉仕の理想に一步でも近づくよう、人々のために、地域社会のために尽して行きたい。



山 本 鶴 男

私の入会は44年2月です。ロータリーは出席からと云われ、出席することによって会員の皆様とお逢いすることが出来、貴重な卓話に接し、人生の指針に触れ、又、親睦をつうじて社会に奉仕する機会により多く恵まれる喜びを知りました。

私は出席委員を初めに社会奉仕、会員増強、S A A、プログラム、幹事と皆様の友情に支えながら、己の微力にむち打ってまいりました。今年は職業奉仕委員です。一番解しにくい部門ですが勉強して見たいと思います。

最後に国際間の理解と親善と平和を推進する国際R Cが、世界の平和を勝ちとることを念願いたします。



平 山 穎 己

チャーターメンバーとして入会、会員の友情に支えられて20周年の式典を迎えることが出来ました。

私は入会以来多くの友人を得たことは何にも替えがたいものだと思います。はからずも1984~1985年度会長に就任することになったのですが、歴代会長、会員の皆様が積み重ねたクラブの名誉と品位を傷つける事のないよう信念をもって努力し、30周年に向け、友情と親睦そして奉仕へのスタートをしたいと思います。



中 村 和 正

月日の流れは早いものです。福江ロータリークラブ10年誌に例会出席6年連続皆勤と書きましたが、20年誌で16年皆勤と書く事が出来、又、20周年記念式典で表彰を受けました事は自分ながらよくやったと思っています。次の30年誌でどうなるか!!

とにかく健康に注意し皆勤記録をどんどん伸ばして行きたいものだと思っております。



松 本 繁 男

創立20周年記念、おめでとうございます。福江ロータリーに入会して、7年になりますが、今だに、ロータリー奉仕について、何をどうなすべきか解りません。ロータリーの奉仕は、宗教団体とは異なり、又、慈善団体でもありませんが、これからロータリーの奉仕も、財政的の寄附だけでこと足りると云う観念は、打破すべきではないだろうか。従って私は、奉仕の精神も、終局的には、表現でもなければ、演説でもない、唯々真心を持って事にあたることだと思いますので、なるだけ、四つのテストに近いロータリアンになるよう努力したいと思いますので、どうぞ、よろしく御指導をお願い致します。



才 津 金 人

「原点に立ちかえり、明日に羽搏け。そして、自分の可能性をためせ」

これは私の最近もっとも好きな言葉であります。クラブ創立より20周年を、かえり見て、当時の情熱を思いおこし、古くからの伝統を守るだけでなく、新時代へ対応する創造の精神が極めて重要な気が致して居ります。

自己の職業を通じての奉仕は勿論であります。ロータリーのコンティニュイティ(continuity)、道統、存続の為の微力を捧げたいと思います。

この20年間に多くの方々との出会いがありました。今日までの友情に感謝致します。



水 田 亘 昭

クラブ創立20周年を、会員の皆様とともによろこびを分ち合うことができたことは大変幸せであり、私自身にとっても思い出深いものとなりました。

ロータリークラブがアメリカに誕生して80になりますが、成人を迎えた当クラブは、80才の親に期待される20才のいでたち〈出発〉になるよう、さらに発展し、充実していくことが望まれると思います。

私も「奉仕の理想」のもとに地域社会のお役にたつことができるよう、努力を続けていきたいと思っています。



向 原 正 雄

光陰矢の如し
ロータリーに入会17年
想い出ばかり 走馬燈



久 米 哲 彦

ヨーロッパに「物言わぬ詩人」という言葉がある。すばらしい詩を作るのであるが、一度もそれを発表した事がない。その為に、誰もその人の才能を知らない。此のような人を詩人だと言えるであろうか、と言う事である。いくら良い詩を作っても、発表しない為に人に感動を与える事がない、社会に役立つ事もない。此のような人は、たとえすばらしい詩の才能を持っていても詩人とは言えない、と言う事である。

奉仕はどうであろうか。奉仕は発表しなくとも、その時既に人に感動を与え、その時既に社会に役立っている。

ロータリーで、奉仕についての話がある度に、この「物言わぬ詩人」を思い出す。



引 地 寛

職業柄、非常に転勤が多い。平均すると、一つの町に2年半位いたことになっている。大変ですねと云われるとおり、大変ではあるが、各地の人との豊かな交流や、その地の歴史の勉強や、食物の賞味など楽しいことも沢山ある。とくに、この福江は、素朴な人柄、土地柄、古い歴史、との外多い海の幸、山の幸で存分に満足させてもらっている。

転勤で困るのは、ロータリーに入っている店に行ったり、入っていない店に行ったり、ライオンズに入っている店に行ったりすることである。その都度、変身（心？）しなくてはならない。福江も福江ロータリークラブも楽しいので「もう転勤はいやよな」である。



井 関 哲 郎

父母が、いつもロータリークラブに入ったら、社会的地位の高い人や、経済界の指導的立場にある人の薰陶を受けることが出来るので、お前も是非入会してみなさいと言って居りました。偶然内科の先輩である福島先生に、色々と内容を教えていただき、やっと二年前に入会することが出来ました。さて先輩方に接してみると、見ると聞くとでは大違い、あまりに国際性を帯びた団体であることに気付き、びっくり致して居ります。幸いにして、田舎の一開業医ですので、私の好きな言葉である『敬天愛人』をモットーとして、先輩方の、この20年間に歩いた道を、少しでも学びとりながら、ついていこうと思って居ります。



松林行一

私は12月の忘年会の時に入会しましたが突然司会を命ぜられまして驚いてしまったのですが、一度指名を受けたらことわることは出来ないということでしたのでなんとかやっては見たのですが…それがきっかけかどうかは解らないのですが早速S.A.Aの担当をさせられ二度驚いています。しかし、与えられたことはやらなければと思い頑張っている現状です。

しかし、入会して8ヶ月が過ぎたのですが、まだ本当の意味が理解出来ず毎例会に出席することで解って来るだろうという考え方で何とか欠席せずに例会に望んでいこうと思っています。時間的に非常に難かしいのですが頑張って行きたいと思っています。



貞方利夫

創立20周年を迎えた歴史ある当クラブのロータリアンであることを非常に誇りに思っています。私も早いもので入会しまして7年になり、ロータリアン個人として、またクラブとして少しは奉仕する新たな領域と道が見えつつあります。この創立20周年を契機にこれからは、先輩各位が築き上げた当クラブを汚がす事のないよう、友愛心と、ユニークな社会観をもって、どうしたらより良い奉仕が出来るかを、志を同じくする皆様と一緒に探究して行きたいと思います。



川尻伊之昭

月日のたつのは早いもので私がロータリーに入会しましてはや8ヶ月に成りますが今日までただ何となくなにもできないまま過ごしてきた感じです。最初はS.A.A、7月から青少年奉仕部会に入りましたが、まだまだロータリアンとして未熟なもので、先輩会員におんぶされている状態です。これから先私自身ロータリアンとしてはずかしくない様に、精一杯がんばって行きたいと思っております。先輩会員のご指導をよろしくお願いします。



池田忠志

ロータリーに入会し、出席率の高い事におどろきました。毎週90%以上の出席で、別の会議等で見られない出席率で例会が出来るということは素晴らしいことだと思います。

私も会員の皆さんと親睦をはかりながら自分自身の勉強のためにもロータリアンとしての自覚を持ち頑張りたいと思います。入会して4年目を迎えますが先輩達がきづいた歴史のある福江クラブのために頑張りたいと思います。今後とも先輩方のご指導をお願いする次第である。



牟田宣昭

いつのまにか、不惑を過ぎ、ますますもって迷い多き日々に、

ただもう、あきれかえっている

次第。

おそらく、つぎの〇〇周年記念誌には、驚くほど髪の薄くなった自らの写真と、まるっきり進歩のない隨想?とを、性懲りもなく載せていただいていることでしょう。

それにしても、「悠々たる天壤、遼々たる古今」に比し、なんともはや、ちいさき己かな。



佐々野邦久

入会2年9ヶ月となりました。

父退会後半年余りで入会させていただきましたが、2代目とい

っても入会当初は、ロータリークラブの知識があるわけでもなく、惑いを感じましたが、最近ようやく毎週の出席にもなれ、クラブの行事等も理解出来るようになりました。父が、クラブ創立以来18年間無欠席であったとのことですので、同じく創立以来無欠席の池田敏郎会員に対し、親子二代による無欠席競争の挑戦をしております。

私自身は微弱な人間で、ロータリークラブに何を出来るかわかりませんが、一生懸命クラブの仕事及び社会に対する奉仕に務めたいと考えております。



安永克巳

福江ロータリー20周年おめでとうございます。私は入会して日も浅く何もわかりませんでしたが、皆様方の暖かい御支援により今日まで来ました。多くの先輩諸氏と語り、私の知らないいろんな事を学びました。特に親睦委員会に於いては独自の炉辺会合を持ち楽しく過ごさせていただきました。坂村真民先生の句に「人間とは人と人との間柄、真実と真実との心のふれあい、愛と慈悲の交流、そこに万物の靈長たる価値がある」と言われています。これからもっともっと知り得なくてはならない多くの事があると思います。微力ながら私の一つの奉仕と思い頑張っていきたいと思いますので、クラブの皆様の御協力を重ねてお願い申し上げます。

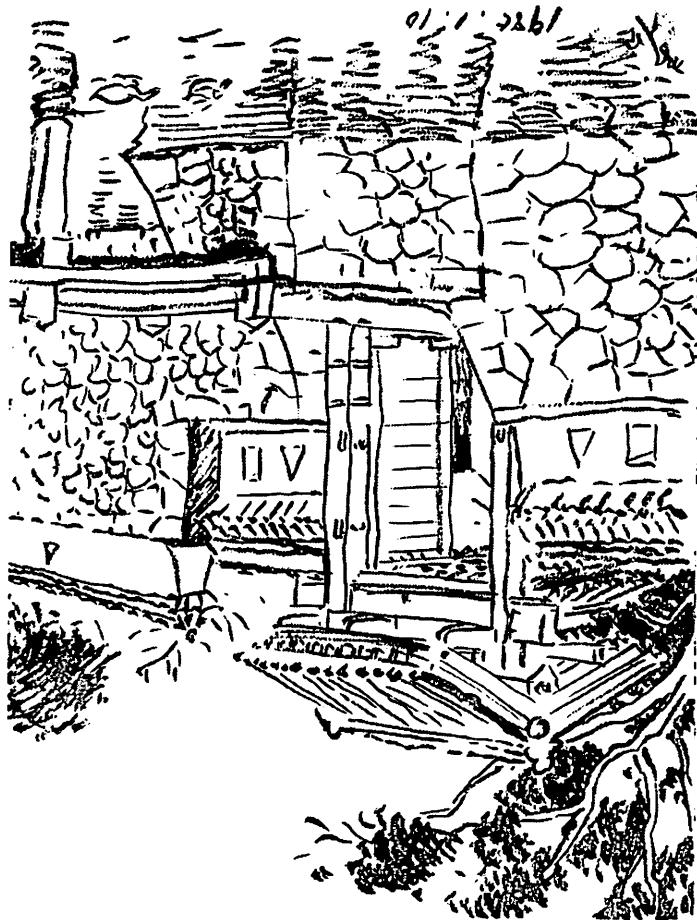


牟田恒昭

昭和24年4月20日生 35才

入会は昭和58年4月

当クラブの最年少で、入会して1年になります。まだロータリーについて、よくわからず、皆様のお手をとっていますが、入会しているんな面で、良かったと感じています。



福江ロータリークラブ会員名簿

事務所 福江市末広町8-4 福江商工会議所内
TEL 09597 ② 3108 (担当 青山とも子)

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

例会場 観光ビル「はたなか」2F ② 3346

	氏名	生年月日	入会年月	業分類	事業所					自宅TEL
					小分類	名称	職名	所在地	TEL	
1	佐々野 利一郎	M 37. 9.16	41. 4	シニア・アクチブ (旅館)	錦 荘	代表	錦町3-1	代 ② 3667	同左	
2	松岡 三十郎	38.12.16	39. 3	シニア・アクチブ (木材)	㈲ 松岡材木店	社長	東浜町 19-61	② 3515	② 3046	
3	西津繁矢	43. 7. 1	41. 11	シニア・アクチブ (建築)	㈱ 西津建設	会長	三尾野町 1301	代 ② 4161	② 2474	
4	清滝 実雄	43.12. 2	39. 3	シニア・アクチブ (石油配布)	㈱ 神田商会	社長	新浜町 19-20	代 ② 4165	② 2658	
5	野田 久雄	44.12.17	39. 3	シニア・アクチブ (歯科医)	五島カントリークラブ	理事長	下大津町 1985	代 ② 4526	② 4376	
6	堀本 一造	T 3.10.15	41. 1	シニア・アクチブ (林業)	㈲ 堀本新建材センター	社長	中央町 1-7	② 2766	② 2918	
7	伊達仲一	4. 1.16	39. 3	シニア・アクチブ (鉱業)	㈱ 田尾鉱山	社長	富江町田尾	09598 ⑥ 1158	同左	
8	山下 弥太郎	5. 6. 3	39. 3	シニア・アクチブ (革袋物及靴配布)	㈲ さのや	社長	栄町 4-3	② 2061	"	
9	長谷川 庫一	5. 7.27	53. 4	シニア・アクチブ (ホテル)	㈲ 大波止ホテル	支配人	栄町 1-33	② 3128	④ 3985	
10	山口 七之助	5.12.25	43. 1	シニア・アクチブ (牛乳配布)				籠淵町 1638	② 2517	
11	平山 徳一	7. 2.13	54. 10	著述業				大荒町 349	② 3421	同左
12	杉山 巖	7. 7.30	56. 2	自動車学校	五島自動車学校	校長	浜町 242-3	代 ③ 5121	② 6378	
13	宇本 功	9. 5.14	46. 1	シニア・アクチブ (病院)	宇本内科・小児科医院	院長	末広町 7-4	② 2827	同 ② 8708	
14	嵩則雄	9. 6.21	41. 4	シニア・アクチブ (眼科医)	嵩眼科医院	院長	末広町 6	② 2138	"	
15	青山岩夫	10. 3.19	39. 3	シニア・アクチブ (電気器具配布)	㈲ 青山電機商会	社長	中央町 6	代 ② 3145	"	
16	畠中一徳	10.11.30	47. 3	シニア・アクチブ (菓子製造)	御菓子司はたなか	社長	中央町 7-20	② 3346	"	
17	今村伊之次	11. 4.29	47. 9	シニア・アクチブ (港湾工業)	㈱ 今村組	社長	東浜町 1416-1	② 3348	② 3064	
18	的野圭志	11. 4.30	58. 9	文房具販売	的野文光堂	社長	栄町 3	② 2068	同左	
19	池田敏郎	12. 2.22	39. 3	シニア・アクチブ (洋服仕立業婦人服)				大荒町 373	② 2610	② 2575
20	江川京次	12. 6.28	58. 9	塗装業	江川看板店	社長	中央町 2-13	② 1323	同左	
21	才津卯喜男	12. 8.30	43. 8	シニア・アクチブ (タクシー業)	㈲ 西海タクシー	社長	江川町 10-10	代 ② 5131	"	
22	福島義範	13. 4.15	49. 7	仏教	宗念寺	住職	福江町 642	② 3024	"	
23	山田和嘉	14. 2. 6	43. 7	シニア・アクチブ (建築設計)	山田建築設計事務所	所長	新浜町 19-95	② 2241	同 ② 3570	

24 才津祐造	14. 3. 3	53. 8	燃 料 配 布	才津プロパン商会	社 長	新浜町 19-15	② 3556	同 左
25 山下昇	14. 7.18	47. 9	外 科 医	山下外科医院	院 長	幸町 1	② 3520	"
26 中村繁春	14. 8.15	39. 3	シニア・アクトブ (鉄鋼配布)	幡山一資材	社 長	東浜町 1327	代 ② 5135	"
27 才津為夫	S 2. 4. 1	41. 11	シニア・アクトブ (道路建設)	幡才津組	社 長	三尾野町 1318	② 4125	② 3855
28 早瀬博道	2. 4.14	42. 9	シニア・アクトブ (司法書士)	早瀬司法事務所	所 長	開田町 481-7	② 3218	② 2940
29 北島千代福	2. 9. 5	42. 9	シニア・アクトブ (金物配布)	北島金物店	代表者	江川町 5-3	② 2548	② 2045
30 福島良岡	2.10.23	47. 9	内 科 医	福島内科医院	院 長	末広町 4-10	② 2276	同 左 (2) 1799
31 川口博正	3. 1.22	44. 1	シニア・アクトブ (食料乾物配布)	まるかわストアー	社 長	末広町 1	② 2401	同 左
32 才津圭策	3. 2.14	40. 9	シニア・アクトブ (印刷経営)	(名) 才津印刷所	社 長	栄町 6-14	代 ② 4171	同 左 (2) 2527
33 井上晃	3. 3. 7	49. 7	小児科医	井上 医院	院 長	仲町 284-1	② 3051	同 左 (2) 3967
34 山本鶴男	3. 3.25	44. 2	シニア・アクトブ (服物配布)	(資) 山本履物店	社 長	中央町 5-1	② 2027	同 左
35 藤田七郎	3. 4.16	57. 3	貯 蓄 銀 行	幡十八銀行福江支店	支店長	中央町	② 2131	② 3359
36 平山禎己	4. 2.18	39. 3	シニア・アクトブ (セメント配布)	(名) 平山木材商事	社 長	栄町 8-3	代 ② 3111	同 左
37 中村和正	4.10. 1	39. 3	シニア・アクトブ (薬局)	幡福江薬局	社 長	中央町 5-11	代 ② 2733	② 4844
38 才津金人	4.12.10	39. 3	シニア・アクトブ (織維配布)	幡マルイ	社 長	中央町 5-4	代 ② 4105	同 左
39 松本繁男	5. 9. 5	53.10	整 形 外 科 医	松本整形外科医院	院 長	中央町 2	② 3838	② 4345
40 水田亘昭	6.11.17	59. 3	電 気 通 信 事 業	福江電報電話局	局 長	末広町 5-1	② 2733	② 4844
41 向原正雄	8. 2. 6	42. 9	シニア・アクトブ (自動車配布)	(商) 五島スバル商会	社 長	紺屋町 209	② 2592	代 ② 2591
42 引地寛	8. 2.21	59. 4	商 業 銀 行	幡親和銀行福江支店	支店長	栄町 3-6	② 2151	② 2224
43 久米哲彦	10. 1.10	53. 8	産 婦 人 科 医	久米産婦人科医院	院 長	錦町 3-7	② 3916	同 左
44 井関哲郎	10. 6.22	57. 12	病 院	井関 医院	院 長	中央町 7	② 2505	"
45 貞方利夫	12.12.28	53. 4	酒 類 販 売	貞方酒の店	代表者	末広町 3-4	② 2320	"
46 松林行一	14.10.31	58.11	事 務 機 配 布	事務機の安福	社 長	下大津町 723	② 2051	"
47 川尻伊之昭	14.12.16	58.12	自動車部品配布	福江中央タイヤサービス	社 長	福江町 152	② 2729	"
48 池田忠志	15. 9.16	56. 2	貨 物 自 動 車 運 輸	(商) 池田運輸	社 長	仲町 282-2	② 2612	"
49 牟田宣昭	18. 1.31	54.10	郵 政 事 業	崎山郵便局	局 長	下崎山町 31	③ 6542	③ 6202
50 安永克己	20. 1.30	57. 9	仏 教	通 福 寺	住 職	岐宿町松山郷 653	09598 ③ 1037	同 左
51 佐々野邦久	24. 1. 5	56.10	税 理 士	佐々野税理士事務所	所 長	福江町 1002	② 2554	② 6383
52 牟田恒昭	24. 4.20	58. 4	幼 稚 園 経 営	学校法人双葉学園	副園長	末広町 2	② 3415	② 7230

編 集 後 記

表紙及びとびらの題字は才津卯喜男会員の揮毫です。

久米哲彦会員操縦の愛機から秋の福江市を俯瞰した航空写真で巻頭を飾りました。

記念誌編纂委員会のメンバーには歴代記録保存委員会の平山禎己、才津圭策、山田和嘉、井上 晃、福島義範各会員並びに平山徳一、的野圭志会員をお願いしました。

本記念誌は各年度の週報、ガバナー公式訪問時のクラブ活動状況報告書、ガバナー月信、創立10、15周年記念誌の資料から編纂しました。

記録保存委員会には沢山の記録写真が保存されておりますが、紙面の都合でその一部しか収載出来ませんでした。

不馴れな私が上梓までこぎつけることが出来たのはひとえに委員会の皆様の御協力、御努力の賜物であり衷心より感謝申し上げます。特に山田会員には終始御尽力を賜わり感謝にたえません。又、会員の皆様からの御鞭撻、御厚情に併せて御礼申し上げます。

発刊が当初の予定より大変遅れて申し訳ございませんが、誤字、誤植、収録もれがない様に万全を期したつもりですが、不備の点がございましたら御寛容の程お願い致します。

ロータリー会員以外の皆様には本記念誌がロータリーへの御理解の一助ともなれば幸甚と存じます。

創立20周年記念誌編纂委員長 宇本 功

福江ロータリークラブ20周年記念誌

発 行 昭和60年4月25日

編 集 福江ロータリークラブ
発 行 〒853 福江市末広町8-14
福江商工会議所内

印 刷 合名会社 才津印刷所
〒853 福江市栄町6-14